

(仮称)上下水道庁舎建設工事

特記事項	 株式会社 藤企画設計 一般建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3295号 管理建築士 一般建築士(大臣) 第335100号 山本 祐一	明石市都市局住宅・建築室 営繕課	製作年月日 2025年 8月	工事名称 (仮称)上下水道庁舎建設工事 図面名称 表紙 縮尺 -	当初・変更・完成 図番 A-00/全葉345
------	--	---------------------	-------------------	---	------------------------------

図面リスト (1)

建築 (新築)			建築 (新築)			構造 (新築)			E V (新築)			什器 (新築)			外構		
図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
A-00	表紙	N.S	A-63	部分詳細図 (4)	1/5, 20, 30	S-01	新構造設計特記仕様書 その1	N.S	EV-01	昇降機設備図 (1)	1/30	L-01	新築棟 1階平面図	1/100	G-01	外構撤去図	1/300
A-01	図面リスト (1)	N.S	A-64	部分詳細図 (5)	1/20	S-02	新構造設計特記仕様書 その2	N.S	EV-02	昇降機設備図 (2)	1/30, 50	L-02	新築棟 2階平面図	1/100	G-02	外構撤去詳細図 (1)	1/10, 20, 30
A-02	図面リスト (2)	N.S	A-65	キッチン詳細図 (参考図)	1/20	S-03	新鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)	N.S	EV-03	昇降機設備図 (3)	1/20	L-03	新築棟 什器リスト (1)	1/100	G-03	外構撤去詳細図 (2)	1/5, 20, 30, 50
A-03	特記仕様書 (1)	N.S	A-66	ユニットシャワー詳細図 (参考図)	1/2.5, 25	S-04	新鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)	N.S				L-04	新築棟 什器リスト (2)	1/100	G-04	外構撤去詳細図 (3)	1/30, 50
A-04	特記仕様書 (2)	N.S	A-67	アルミニウム庇詳細図 (参考図)	1/5, 200	S-05	新鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (3)	N.S				L-05	新築棟 什器リスト (3)	1/100	G-05	外構図	1/300
A-05	特記仕様書 (3)	N.S	A-68	ウッドデッキ詳細図 (参考図)	1/10, 50	S-06	鉄骨構造標準図 (1)	N.S							G-06	外構詳細図 (1)	1/10, 20, 50
A-06	特記仕様書 (4)	N.S	A-69	サインカープラン	1/100	S-07	鉄骨構造標準図 (2)	N.S							G-07	外構詳細図 (2)	1/5, 20, 50
A-07	特記仕様書 (5)	N.S	A-70	サイン詳細図	1/2.4, 10, 20	S-08	ダイヤレンS設計・施工標準仕様書	N.S							G-08	外構詳細図 (3)	1/20, 50
A-08	特記仕様書 (6)	N.S	A-71	日影図	1/300	S-09	ISベース柱脚工法設計・施工標準図 (1)	N.S							G-09	外構詳細図 (4)	1/50, 100
A-09	特記仕様書 (7)	N.S	A-72	日影長さ表	N.S	S-10	ISベース柱脚工法設計・施工標準図 (2)	N.S							G-10	外構詳細図 (5) (参考図)	1/5, 40
A-10	工事区分表	N.S	A-73	敷地全体平均地盤面算定図	1/300	S-11	H・B・M工法 特記仕様書	N.S							G-11	外構詳細図 (6) (参考図)	1/5, 40
A-11	建築工事メーカーリスト	N.S	A-74	1階、2階法チェック図	1/100	S-12	NewJ-BAR仕様書	N.S							G-12	外構詳細図 (7) (参考図)	1/5, 40
A-12	設計概要表、付近見取図	N.S	A-75	3階法チェック図、耐火リスト	1/30, 100	S-13	土質柱状図	N.S							G-13	外構詳細図 (8) (参考図)	図示
A-13	現況配置図	1/300				S-14	杭伏図	1/100							G-14	外構詳細図 (9) (参考図)	1/5, 40
A-14	配置図	1/300				S-15	基礎リスト・基礎柱リスト	1/30							G-15	外構詳細図 (10) (参考図)	1/5, 40
A-15①	現況敷地横断面図 (1)	1/100, 200				S-16	基礎伏図	1/100							G-16	外構詳細図 (11) (参考図)	1/2, 5, 40
A-15②	現況敷地横断面図 (2)	1/100, 200				S-17	1階床梁伏図	1/100							G-17	外構詳細図 (12) (参考図)	1/5, 40
A-16①	計画敷地横断面図 (1)	1/100, 200				S-18	2階床梁伏図	1/100							G-18	外構詳細図 (13) (参考図)	1/50
A-16②	計画敷地横断面図 (2)	1/100, 200				S-19	3、R階床梁伏図	1/100							G-19	雨水排水図	1/300
A-17	敷地面積求積図	1/400				S-20	軸組図 (1)	1/100							G-20	雨水排水詳細図	1/10, 20
A-18	建築面積・床面積求積図	1/100				S-21	軸組図 (2)	1/100							G-21	雨水排水勾配図	1/100
A-19	平均地盤面算定図	1/100				S-22	軸組図 (3)	1/100							G-22	外構拡大図 (1)	1/100
A-20	室面積求積図	1/200				S-23	軸組図 (4)	1/100							G-23	外構拡大図 (2)	1/100
A-21	ALVS表 (1)	N.S				S-24	軸組図 (5)	1/100									
A-22	ALVS表 (2)	N.S				S-25	軸組図 (6)	1/100									
A-23	仕上表	N.S				S-26	鉄骨架構詳細図	1/30									
A-24	ビット平面図	1/100				S-27	杭・柱・基礎梁主筋(下端筋)の納まり図	1/50									
A-25	1階、2階平面図	1/100				S-28	柱リスト	1/30									
A-26	3階平面図、屋根伏図	1/100				S-29	基礎梁リスト	1/30									
A-27	立面図 (1)	1/100				S-30	基礎小梁リスト	1/30									
A-28	立面図 (2)	1/100				S-31	大梁リスト	1/30									
A-29	断面図	1/100				S-32	小梁リスト・壁リスト・床リスト	1/30									
A-30	矩計図 (1)、(2)	1/50				S-33	階段配筋図	1/30									
A-31	矩計図 (3)	1/50				S-34	雑詳細図	1/30									
A-32	屋内階段詳細図	1/20, 50				S-35	架構詳細図	1/30									
A-33	屋外階段詳細図	1/20, 50				S-36	1階スリーブ図	1/100									
A-34	1階平面詳細図 (1)	1/50				S-37	2階スリーブ図	1/100									
A-35	1階平面詳細図 (2)	1/50				S-38	3階スリーブ図	1/100									
A-36	2階平面詳細図 (1)	1/50															
A-37	2階平面詳細図 (2)	1/50															
A-38	展開図 (1) 風除室、倉庫(1)(2) 更衣室(2)	1/50															
A-39	展開図 (2) 湯沸室(1)、倉庫(3) 男子・女子更衣室	1/50															
A-40	展開図 (3) 廊下 男子・女子・多機能便所	1/50															
A-41	展開図 (4) ホール	1/50															
A-42	展開図 (5) 下水道エリア	1/50															
A-43	展開図 (6) 水道エリア	1/50															
A-44	展開図 (7) 工事日報、管理書室 会議室(1)(2)	1/50															
A-45	展開図 (8) 倉庫(4)、男子・女子更衣室 休養室(4)	1/50															
A-46	展開図 (9) 男子・女子・多機能便所 シowerム(女子)	1/50															
A-47	展開図 (10) US1~3、シャワーム(男子) 脱衣室1~3、湯沸室(3)、廊下(1)	1/50															
A-48	展開図 (11) 廊下(2)	1/50															
A-49	1階、2階天井伏図	1/100															
A-50	3階天井伏図	1/100															
A-51	1階、2階建具配置図	1/100															
A-52	3階建具配置図	1/100															
A-53	建具共通事項	N.S															
A-54	建具表 (1)	1/50															
A-55	建具表 (2)	1/50															
A-56	建具詳細図 (1) (参考図)	1/30															
A-57	建具詳細図 (2) (参考図)	1/4															
A-58	建具詳細図 (3) (参考図)	1/3, 30															
A-59	建具詳細図 (4) (参考図)	1/5, 10															
A-60	部分詳細図 (1)	1/10, 20															
A-61	部分詳細図 (2)	1/5, 10, 20, 30, 50															
A-62	部分詳細図 (3)	1/5, 10, 20, 30															

特記仕様書	
I 工事概要	1 1 工事場所 (地名地番) 明石市大道町1丁目211-3、211-69、211-90、212-5
	2 地域・地区 準工業地域 特別用途地区 高度地区 大道町地区地区計画 (公共施設地区)
II 建築工事仕様	1 共通仕様
	2 特記仕様
<p>1 図面及び特記仕様書に記載のない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下「標仕」という。)による。</p> <p>(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び機械設備工事に係る仕様は、それぞれの仕様書を適用する。</p> <p>2 特記仕様</p> <p>(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。</p> <p>○印と◎印が付いた場合は、共に適用する。</p> <p>(3) 特記事項に記載の< >内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>(4) 使用材料は、再生材、F☆☆☆☆、低VOC材料を選択する(各項共通事項)。</p> <p>(5) 構造特記仕様書が別にある場合は、特記なき限り、構造特記仕様書を優先する(各項共通事項)。</p> <p>(6) 工事着工前に埋蔵文化財試掘調査をおこなうものとする。</p>	
章	項目
1 各章共通事項	① 適用基準等
	② 工事実績情報リス(CORINS)への登録
	③ 再生資源利用(促進)関係
	④ 関係法令等の遵守
	⑤ 電気保安技術者
	⑥ 施工条件
	⑦ 発生材の処理等

⑧ 建築材料等	※ 本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、これと同等のものとすることができる。ただし、同等のものとすることは、監督職員の承諾を受ける。 また、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料評価名簿(最新版)」から材料を選定した場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認を得ることとする。
⑨ 特別な材料の工法	※ 標仕に記載のない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。
10 技能士	<1.5.2>
⑩ 化学物質の濃度測定	測定時期 <1.5.9> ・ 工事着手前 ※ 工事完成時 ・ 工事着手前及び完成時 測定対象化学物質 ※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キシレン ※ パラジクロロベンゼン ※ エチルベンゼン ※ スチレン 測定方法 ※ バッシブ採取機器(サンブラー)を使用し、分析機関にて分析 測定対象室(各エリア執務室)測定箇所数(3)箇所 室内空気中化学物質の室内空気濃度基準値 ホルムアルデヒド 100 µg/m3 (0.08ppm) トルエン 260 µg/m3 (0.07ppm) キシレン 200 µg/m3 (0.05ppm) パラジクロロベンゼン 240 µg/m3 (0.04ppm) エチルベンゼン 3,800 µg/m3 (0.88ppm) スチレン 220 µg/m3 (0.05ppm) ※ 化学物質濃度が基準値を超えている場合は、工事部分を引渡すことは不可のため、基準値以下になるまで再測定を行うこと。
⑫ 技術検査	品確法に基づく工事施工中における技術検査(中間技術検査) ※ 行う <1.6.2> 実施回数()回 実施する段階() ○ 工事監督員の指示による。
⑬ 完成図等	※ 完成図 <1.7.1~1.7.3><表1.7.1> 完成図の作成は、CADデータ修正による。 完成図の種類及び記入内容は設計図同等とし、各図面の右下に「完成図」と明記する。 完成図の様式 ・ ニつ折り製本2部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記のこと) ※ JWW形式CADデータ ※ PDF形式データ(印刷物をスキャンしたものは不可) ※ 保全に関する資料 ()部 ※ 2部
⑭ 施工図等の取扱い	※ 施工図等の著作権に関する当該建築物に係る使用権は、発注者に委譲する。 施工図の様式 ・ ニつ折り製本1部(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、受注者名」を記入の上、「施工図」と明記のこと) ・ A3程度で軽微なものは、監督職員の承諾により完成図書に綴じ込みも可とする。
⑮ 工事写真	デジタル写真(カラー、100万画素程度、1200×900pix程度、JPEG) <1.2.4> 記録紙 ※C1用紙(68g/㎡以上) ・ その他() (記録紙は裏写りが無ければ両面印刷可。)
⑯ 完成写真	下記ものを監督職員に提出する。 分類・規格 撮影箇所数 提出部数 原板の大きさ ○ カラー ※ 外観4面 ※ 1 (mm) ・ 八つ切り版 ※ 内観各室2面 ・ 2 ※ 24×36 ○ キャビネ版 撮影業者 ○ 建築完成写真撮影の実績のある業者 ・ 建築完成写真撮影の実績は問わない 装丁 ○ 写真用装飾アルバム(白表紙、金文字) ・ 市販アルバム

⑰ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
⑱ 交通誘導員	※ 要(延べ1204人) 資格要件 ○ 交通誘導員A(1、2級交通誘導警備検定合格者) ◎ 交通誘導員B(警備業者の警備員で、上記以外の交通誘導に従事するもの)
2 仮設工事	1 監督職員事務所 監督職員事務所 ・ 設置する(㎡程度) <2.3.1> 監督職員事務所の仕上げの程度、備品、設備等 <2.3.1> ※ 仕上げは通常のもので、備品は打合せテーブル、椅子、棚、エアコン等通常の工事監理に必要なものとし、監督職員と協議の上、設置すること。 ・ その他の備品、設備() 2 表示板 ※ 設置する(明石市指定様式(900×600)) <2.3.1> (ただし、請負代金1000万円以上かつ契約工期90日以上の工事に限る) 3 工事用水及び電力 工事用水 構内既存施設 ・ 利用不可 ○ 利用可(・有償 ○無償) 工事用電力 構内既存施設 ○ 利用不可 ・ 利用可(・有償 ・無償) 4 仮設物撤去等 ※ 原形に復する
3 土工	1 埋戻し及び盛土 種別、材料及び工法 <3.2.3><表3.2.1> ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 ・ その他() 2 建設発生土の処理 処理方法 <3.2.5> ・ () ※ 工事現場外に搬出し、適切に処理
4 地業工事	1 試験杭 位置 ※ 本杭の最初の1本 ○ 図示 <4.2.2> 本数及び寸法 ※ 図示 <4.2.2> 2 杭及び地盤の載荷試験 杭の載荷試験 ・ 鉛直載荷試験 ・ 水平載荷試験 <4.2.3> 試験杭の載荷荷重 ※ 図示 <4.2.3> 地盤の載荷試験(平板載荷試験) ・ 適用する <4.2.4> 載荷試験の位置及び載荷加重 ※ 図示 <4.2.4> 試験方法及び報告書の記載事項等は、敷地調査共通仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)による。 3 既製コンクリート杭地業 種類、性能、曲げ強度等による区分等 ※ 構造図による <4.3.3> 杭の寸法、継手の箇所数、杭先端部の形状等 <4.3.3> ※ 構造図による 杭の工法 <4.3.1><4.3.4.5> ・ セメントミルク工法 支持層の位置及び土質 ※ 構造図による アースオーガーの支持層への掘削深さ ※ 1.5m以上 ・ 構造図による 杭の支持層への根入れ深さ ※ 1.0m以上 ・ 構造図による 根固め液及び杭周固定液の管理試験() ○ 特定埋込杭工法 支持層の位置及び土質 ※ 構造図による
4 鋼杭地業	杭の精度 根入れ長さの精度 ※ 構造図による <4.3.5> 水平方向の位置ずれの精度 <4.3.5> ※ 再計算による(監督職員に確認要) ・ 杭径/4かつ100mm以下 継手の工法 ※ 構造図による <4.3.6> ※ アーク溶接継手 ・ 無溶接継手(工法等:) 杭頭の処理 <4.3.8> ※ アーク溶接継手 ・ 無溶接継手(工法等:) 鋼杭の材料 ※ 構造図による <4.4.3> 先端部形状及び補強 ※ 構造図による 杭の工法 <4.4.4> ・ 特定埋込杭工法 支持層の位置及び土質 ※ 構造図による 杭の精度 根入れ長さの精度 ※ 構造図による 水平方向の位置ずれの精度 ※ 再計算による(監督職員に確認要) ・ 杭径/4かつ100mm以下 継手の工法 ※ 構造図による <4.4.5> 杭頭の処理 ※ 処理しない(切断しない) ・ 処理する <4.4.6>

5 場所打ちコンクリート杭地業	帯筋の加工及び組立 ※ 構造図による <4.5.4> 鉄筋の最小かぶり厚さ ※ 構造図による <4.5.4> 鉄筋かごの補強 ※ 構造図による <4.5.4> 組み立てた鉄筋の節ごとの継手 ※ 重ね継手 ・ 図示 <4.5.4> セメントの種類 ※ 高炉セメントB種 ・ 図示 <4.5.4> コンクリートの設計基準強度(Fc) ※ 図示 <4.5.4> コンクリートの種別 ・ A種 ・ B種 <4.5.4><表4.5.1> スランブ(cm) ※ 18 ・ 図示 <4.5.4> 構造体強度補正値(S)(N/mm2) ※ 3 ・ 図示 <4.5.4> 鋼管部分の材料 ※ 図示 <4.5.4> 杭の工法 <4.5.5><4.5.6> ・ アースミルク工法 ・ リーフ工法 ・ オールシング工法 ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・ 拡底杭工法 支持層の位置及び土質 ※ 構造図による <4.5.5> 本杭の支持層への根入れ深さ ※ 構造図による <4.5.5> 水平方向の位置ずれの精度 <4.5.5> ※ 再計算による(監督職員に確認要) ・ 杭径/4かつ100mm以下 超音波測定器による孔壁確認 ・ 行う <4.5.5>						
⑥ 砂利、砂、捨コンクリート地業等	砂利地業に使用する砂利 <4.6.2> ○ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 砂利地業に使用する砂 <4.6.2> ・ シット ・ 有機物等の混入しない締固めに適した山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 床下防湿層に使用する材料 <4.6.2> ※ ポリエチレンフィルム(厚さ0.15mm以上) ・ 図示 砂利及び砂地業の範囲 ※ 図示 <4.6.3> 砂利及び砂地業の厚さ ・ 60 ○ 50 捨コンクリートの範囲 ※ 図示 <4.6.4> 捨コンクリートの厚さ ※ 50 ・ 図示 防湿層の適用 ○ 適用する ○ 適用しない 防湿層の範囲 ※ 図示 <4.6.5>						
5 鉄筋工事	① 鉄筋の種類 鉄筋の種類等 <5.2.1><表5.2.1> ※ 構造図(構造特記仕様書)による ② 溶接金網 鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径 <5.2.2> ・ □150 6φ ○ □100 6φ ③ 加工 90°未満の折曲げの内法直径 <5.3.2><表5.3.1> ※ D16以下: 4d以上、D19~25: 6d以上、D29~38: 8d以上 ④ 継手及び定着 呼び径19mm以上の柱、梁の主筋 <5.3.4><5.5.2> ※ ガス圧接 ・ 重ね継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 上記以外の鉄筋 ※ 重ね継手 機械式定着工法の適用 ・ 適用箇所(・ 図示) ・ 種類() 継手位置 ※ 構造図による 柱、梁の主筋、耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ()d 定着長さ ※ 構造図による ・ 標仕 表5.3.4による 仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さが、表5.3.4のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法 ・ 図示 ⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 ※ 最小かぶり厚さは目地底から算定する。 <5.3.5><表5.3.6> ○ 耐久上不利な箇所、軽量コンクリートの場合の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表5.3.6の値に加える寸法(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面</td> <td>※ 10</td> </tr> <tr> <td>軽量コンクリートを使用し、土に接する部分</td> <td>※ 10</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	表5.3.6の値に加える寸法(mm)	柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※ 10	軽量コンクリートを使用し、土に接する部分	※ 10
施工箇所	表5.3.6の値に加える寸法(mm)						
柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※ 10						
軽量コンクリートを使用し、土に接する部分	※ 10						
⑥ 各部配筋	※ 各部配筋参考図による ○ 構造図による <5.3.7>						
⑦ 圧接完了後の圧接部の試験	※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験 <5.4.10> ・ 引張試験の方法等()						

特記事項	株式会社 緯企画設計 一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3396号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第335100号 山本 裕一	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称 (仮称)上下水道庁舎建設工事	当初・変更・完成	
(2024年8月改訂)	管理技術者 (平)	主任技術者 (出)	担当技術者 (出)	技術者	技術者	2025年 8月	図面名称 上下水道庁舎 特記仕様書(1)	縮尺 -	図番 A-03
明石市都市局住宅・建築室営繕課									

<p>④ 塗膜防水</p> <p>⑤ 有機酸系塗布防水</p> <p>⑥ 防水保証及び施工標識</p> <p>⑦ シーリング</p>	<p>接着工法におけるプレキャストコンクリート下地の場合の目地処理 <9.4.4> ※図示</p> <p>S-F1又はSI-F1の場合のプレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り <9.4.4> ※図示</p> <p>機械的固定工法における建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※適用する <9.4.4> (固定金具の引張試験を3箇所行い、計算書作成の上仕様を決定する)</p> <p>立上り部の保護モルタル塗厚 (mm) <9.4.4> ※7mm以下 図示</p> <p>防水層の種類及び工程 <9.5.3><表9.5.1~表9.5.2></p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>ウレタン系塗膜防水</td> <td>X-1 (絶縁工法) ○X-2 (密着工法)</td> </tr> <tr> <td>ポリアスファルト系塗膜防水</td> <td>Y-1 Y-2</td> </tr> </table> <p>仕上塗料の種類及び使用量 <表9.5.1> ※主材料の製造所の仕様による 図示</p> <p>X-1における脱気装置の種類及び設置数量 <9.5.3> ※主材料の製造所の仕様による 図示</p> <p>ポリアスファルト系塗膜防水における工程数及び各工程の使用量 ※主材料製造所の仕様による 図示</p> <p>保護層の仕様 (Y-2工法) 図示 <9.5.3></p> <p>壁及び天井部の防水層下地の仕上げ <9.6.4> ※コンクリート打放し仕上げ (B種) 図示</p> <p>防水層下地のコンクリートの打継ぎ箇所の処理 <9.6.4> ※30×30程度の目地棒を用い、除去後水洗い清掃し製造所の仕様によりポリマーセメントモルタルを充填 図示</p> <p>標仕の規定以外の下地処理 ※図示 <9.6.4></p> <p>※三者連名防水保証の保証期間 工事完成日の翌日から ※10年 5年</p> <p>※7ヶ所 (200×150×3.0、ステンレス止め、インサート文字書き込み) (工事年度、工事名称、受注者名、施工業者名、メーカー名、施工部位、防水種別、商品 (工法) 名、保証期間を記入)</p> <p><9.7.2.3></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (幅×深さ) mm</th> </tr> <tr> <td>図示 ()</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>図示 ()</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>図示 ()</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>仕上げを行わない場合 ※図示 <表9.7.1> 2成分形シーリング材のカブリング ※不要 要 接着性試験 <9.7.5> ○行う (※簡易接着性試験 引張接着性試験) 行わない</p>	工法	種別	ウレタン系塗膜防水	X-1 (絶縁工法) ○X-2 (密着工法)	ポリアスファルト系塗膜防水	Y-1 Y-2	種類	施工箇所	寸法 (幅×深さ) mm	図示 ()			図示 ()			図示 ()			<p>4 その他の材料</p> <p>5 工法</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>石材厚さ (mm)</th> <th>石表面、裏打ち処理の適用</th> <th>下地ごしらえ</th> <th>一般目地幅 (mm)</th> <th>伸縮調整目地位置</th> <th>伸縮調整目地寸法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>外壁湿式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>内壁空積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>乾式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床及び階段</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊部位</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	工法	石材厚さ (mm)	石表面、裏打ち処理の適用	下地ごしらえ	一般目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置	伸縮調整目地寸法		外壁湿式								内壁空積								乾式							床及び階段								特殊部位								<p>④ 内部間仕切軸壁及び床組</p> <p>⑤ 窓、出入口その他</p> <p>⑥ 床板張り</p> <p>13 屋根及びとい工事</p> <p>① 長尺金属板葺</p> <p>2 折板葺</p> <p>3 粘土瓦葺</p> <p>④ とい</p>	<p>14 金属工事</p> <p>15 左官工事</p>	<p>1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 <14.2.1> <表14.2.1></p> <p>2 鉄鋼の亜鉛めっき <14.2.2><表14.2.2> A種 B種 C種 D種 E種 F種</p> <p>③ 軽量鉄骨天井下地 <14.2.2><表14.4.1> 野縁等の種類 <14.4.2> ※19形 (屋内) ※25形 (屋外) 図示 屋外の場合の野縁受け、つりボルト及びビスの取付間隔 <14.4.3> ※図示 屋外の場合の野縁の間隔 ※図示 <14.4.3> ダクト等により吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 <14.4.4> 天井のふとところ3mを超える場合の補強方法 ※図示 <14.4.4> 天井下地材における耐震性を考慮した補強 ※図示 <14.4.4> 屋外の軒、庇等の天井における耐風圧性を考慮した補強 ※図示 <14.4.4></p> <p>④ 軽量鉄骨壁下地 <14.5.3> スリット、ランナーの種類 ※表14.5.11による 図示 スリットの高さが5.0mを超える場合のスリット等の種類 <14.5.3> ※図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※14.5.4(5)による 図示 <14.5.4></p> <p>5 金属成形板張り <14.6.2> 金属成形板の種類及び表面処理 ※図示 <14.6.2> 取付け用下地 ※標仕14章4節による 図示 <14.6.3> 伸縮調整継手 適用する <14.6.3></p> <p>⑥ アルミニウム製笠木 <14.7.2><表14.7.1> 部材の種類 <14.7.2><表14.7.1> 250形 ○300形 350形 笠木本体材料の表面処理の種類 <14.7.2><表14.2.1> AB-1種 AB-2種 AC-1種 AC-2種 BA-1種 BA-2種 BB-1種 ○BB-2種 BC-1種 BC-2種 C種 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 <14.7.3> ○適用する</p>	<p>① 下地 <15.2.4> スス下地の種類 (通気工法)・二層下地 単層下地 (直張り工法)・スス下地 ラシート下地 外張断熱工法で断熱材の外側に網織を施工する形式の通気構法 適用する <15.2.4> スス及び補強用平瓦 材料記号 ※K ※波形700、こぶスス、カ骨付きスス (二層下地通気構法の場合) ※ガラスCに裏打ち材と一体化したスス (単層下地通気構法の場合) 図示 <15.2.4> ラスシート <15.2.4> 山高、山低、質量及び溶接パッチによる区分 ※LS4 (建築基準法に基づく耐力壁) 図示 スス材の形状及び寸法 ※L925TS以上 (リガラスの場合) <15.2.4> ※L1019JS以上 (波形ススの場合) 図示 二層下地通気構法における防水紙の換気口部の措置 <15.2.4> ※木造標仕11.4.3による 図示 直張り工法ラスシート下地のラスシート <15.2.4> 建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合の施工方法 ※図示 せっこうボード及びびせっこうボードの種類及び厚さ <15.2.5> ※図示 木質セメント板の種類及び厚さ ※図示 <15.2.5> こまい下地の建築基準法に基づく耐力壁の指定 <15.2.6> 指定あり 木ずり用小幅板の樹種 <15.2.7> ※杉 (心去り材) () モルタル塗り <15.3.2> モルタルの材料 現場調合材料 既調合材料 () <15.3.2> 既製目地材の形状 図示 <15.3.2></p>	<p>株式会社 練企画設計</p> <p>一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3396号 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第335100号 山本 裕一</p> <p>課長 担当課長 係長 担当</p> <p>製作年月日 2025年 8月</p> <p>工事名称 (仮称) 上下水道庁舎建設工事</p> <p>図面名称 上下水道庁舎 特記仕様書 (3)</p> <p>縮尺 -</p> <p>図番 A-05</p> <p>当初・変更・完成</p>
	工法	種別																																																																							
	ウレタン系塗膜防水	X-1 (絶縁工法) ○X-2 (密着工法)																																																																							
	ポリアスファルト系塗膜防水	Y-1 Y-2																																																																							
	種類	施工箇所	寸法 (幅×深さ) mm																																																																						
	図示 ()																																																																								
	図示 ()																																																																								
	図示 ()																																																																								
	施工箇所	工法	石材厚さ (mm)	石表面、裏打ち処理の適用	下地ごしらえ	一般目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置	伸縮調整目地寸法																																																																	
		外壁湿式																																																																							
	内壁空積																																																																								
	乾式																																																																								
床及び階段																																																																									
特殊部位																																																																									
<p>10 石工事</p> <p>1 施工一般</p> <p>2 石材</p> <p>3 取付け金物</p>	<p>11 タイル工事</p> <p>① 一般事項</p> <p>② 材料、工法等</p> <p>③ 下地及びタイルごしらえ</p> <p>④ 有機系接着剤によるタイル張り</p> <p>12 木工事</p> <p>① 材料</p> <p>2 防腐・防蟻処理</p> <p>3 防虫処理</p>	<p>④ 内部間仕切軸壁及び床組</p> <p>⑤ 窓、出入口その他</p> <p>⑥ 床板張り</p> <p>13 屋根及びとい工事</p> <p>① 長尺金属板葺</p> <p>2 折板葺</p> <p>3 粘土瓦葺</p> <p>④ とい</p>	<p>14 金属工事</p> <p>15 左官工事</p>	<p>1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 <14.2.1> <表14.2.1></p> <p>2 鉄鋼の亜鉛めっき <14.2.2><表14.2.2> A種 B種 C種 D種 E種 F種</p> <p>③ 軽量鉄骨天井下地 <14.2.2><表14.4.1> 野縁等の種類 <14.4.2> ※19形 (屋内) ※25形 (屋外) 図示 屋外の場合の野縁受け、つりボルト及びビスの取付間隔 <14.4.3> ※図示 屋外の場合の野縁の間隔 ※図示 <14.4.3> ダクト等により吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 <14.4.4> 天井のふとところ3mを超える場合の補強方法 ※図示 <14.4.4> 天井下地材における耐震性を考慮した補強 ※図示 <14.4.4> 屋外の軒、庇等の天井における耐風圧性を考慮した補強 ※図示 <14.4.4></p> <p>④ 軽量鉄骨壁下地 <14.5.3> スリット、ランナーの種類 ※表14.5.11による 図示 スリットの高さが5.0mを超える場合のスリット等の種類 <14.5.3> ※図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※14.5.4(5)による 図示 <14.5.4></p> <p>5 金属成形板張り <14.6.2> 金属成形板の種類及び表面処理 ※図示 <14.6.2> 取付け用下地 ※標仕14章4節による 図示 <14.6.3> 伸縮調整継手 適用する <14.6.3></p> <p>⑥ アルミニウム製笠木 <14.7.2><表14.7.1> 部材の種類 <14.7.2><表14.7.1> 250形 ○300形 350形 笠木本体材料の表面処理の種類 <14.7.2><表14.2.1> AB-1種 AB-2種 AC-1種 AC-2種 BA-1種 BA-2種 BB-1種 ○BB-2種 BC-1種 BC-2種 C種 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 <14.7.3> ○適用する</p>	<p>① 下地 <15.2.4> スス下地の種類 (通気工法)・二層下地 単層下地 (直張り工法)・スス下地 ラシート下地 外張断熱工法で断熱材の外側に網織を施工する形式の通気構法 適用する <15.2.4> スス及び補強用平瓦 材料記号 ※K ※波形700、こぶスス、カ骨付きスス (二層下地通気構法の場合) ※ガラスCに裏打ち材と一体化したスス (単層下地通気構法の場合) 図示 <15.2.4> ラスシート <15.2.4> 山高、山低、質量及び溶接パッチによる区分 ※LS4 (建築基準法に基づく耐力壁) 図示 スス材の形状及び寸法 ※L925TS以上 (リガラスの場合) <15.2.4> ※L1019JS以上 (波形ススの場合) 図示 二層下地通気構法における防水紙の換気口部の措置 <15.2.4> ※木造標仕11.4.3による 図示 直張り工法ラスシート下地のラスシート <15.2.4> 建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合の施工方法 ※図示 せっこうボード及びびせっこうボードの種類及び厚さ <15.2.5> ※図示 木質セメント板の種類及び厚さ ※図示 <15.2.5> こまい下地の建築基準法に基づく耐力壁の指定 <15.2.6> 指定あり 木ずり用小幅板の樹種 <15.2.7> ※杉 (心去り材) () モルタル塗り <15.3.2> モルタルの材料 現場調合材料 既調合材料 () <15.3.2> 既製目地材の形状 図示 <15.3.2></p>	<p>株式会社 練企画設計</p> <p>一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3396号 管理建築士 一級建築士 (大臣) 第335100号 山本 裕一</p> <p>課長 担当課長 係長 担当</p> <p>製作年月日 2025年 8月</p> <p>工事名称 (仮称) 上下水道庁舎建設工事</p> <p>図面名称 上下水道庁舎 特記仕様書 (3)</p> <p>縮尺 -</p> <p>図番 A-05</p> <p>当初・変更・完成</p>																																																																			

<p>合わせガラス <16.14.2> 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※図示 強化ガラス <16.14.2> 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類 ※図示 熱線吸収板ガラス <16.14.2> 板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ※図示 複層ガラス <16.14.2> 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ、耐熱性による区分、日射取得性、日射遮蔽性による区分及び乾燥気体の種類 ※図示 熱線反射ガラス <16.14.2> 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類並びに日射熱遮へい性及び耐久性による区分 ※図示 倍強度ガラス <16.14.2> 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※図示 ガラスネット <16.14.2> ※ガラスネット用フィルム(アルミニウム製建具に用いる引違い及び片引き障子の場合) ※図示 板ガラスをはめ込む溝の大きさ <16.14.3> ※図示 ※建具製造所の仕様 ガラスブロックの表面形状、呼び寸法及び厚さ ※図示 <16.14.5> 壁用金属枠及び補強材 ※図示 <16.14.5> 力骨の材質、寸法及び形状 <16.14.5> ※図示 ※ステンレス鋼(SUS304)、径5.5mmのはしご形状複筋及び単筋 化粧目地材の色 ※図示 <16.14.5> シーリング材の種類 ※図示 <16.14.5> 金属製化粧カバーの材質、寸法及び形状 ※図示 <16.14.5> 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ・適用する <16.14.5> 壁用金属枠の留付け間隔(木下地の場合) ※図示 <16.14.5> ガラスブロックの目地幅の寸法 <16.14.5> ※図示 ※8mm以上15mm以下(平積みの場合) ※曲率半径をガラスブロックの幅寸法の10倍以上、外側15mm以下、内側6mm以上(曲面積の場合) 伸縮調整目地の位置 <16.14.5> ※図示 ※6m以下ごとに幅10~25mmのものを設置 伸縮調整目地の目地部の横力骨の納まり <16.14.5> ※図示 ※ガラスブロック製造所の仕様</p>	<p>鉄筋の種類 ・ () ※ SD295A <17.3.2> 補強鉄線の径及び網目寸法 ※ 図示 <17.3.2> シーリング材の種類 ※ 図示 <17.3.2> 耐火目地材の仕様等 ※ 図示 <17.3.2> 断熱材の仕様等 ※ 図示 <17.3.2> 先付け材料の仕上げ材(タイル等)、建具枠、ゴンドラ用ガイド レール等 ※ 図示 <17.3.2> 製品の見え掛り部の寸法許容差 <17.3.3><表17.3.1> ※ 図示 ※ 表17.3.1による PCカーテンウォールの仕上げ ※ 図示 <17.3.3> アンカー溝の寸法及び寸法許容差 ※ 図示 <17.3.3> 配筋 ※ 図示 ・ 計算書による監督職員の承諾 <17.3.4> カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 ※ 図示 ※ 表17.3.2による <17.3.5><表17.3.2> ガラスの取付け方法 ※ 図示 <17.3.6> 耐火被覆 <17.3.7></p> <table border="1" data-bbox="1003 499 1478 583"> <tr><th>部位</th><th>種類</th><th>材料</th><th>工法</th></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>18 ① 素地ごしらえ 木部の素地ごしらえ <18.2.2> ・ A種(不透明塗料塗り) ・ B種(透明塗料塗り) 鉄鋼面の素地ごしらえ ・ A種 ・ B種 ※ C種 <18.2.3> 垂鉛めっき鋼面の素地ごしらえ ・ A種 ・ B種 <18.2.4> モルタル及びせっこうラス面の素地ごしらえ <18.2.5> ・ A種 ※ B種 コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ <18.2.6> ・ A種 ※ B種 せっこうボード面及びその他ボード面の素地ごしらえ <18.2.7> せっこうボードの目地工法が継目処理工法の場合 ※ A種 ・ 図示 せっこうボードの目地工法が上記以外の工法の場合 ※ B種 ・ 図示 ② 錆止め塗料塗り 鉄鋼面錆止め塗料の種類(仕上げ塗料がEP-Gに限る) ・ A種 ※ B種 <18.3.2><表18.3.1> 垂鉛めっき鋼面錆止め塗料の種類(仕上げ塗料がSOPに限る) ※ A種 ・ B種 <18.3.2><表18.3.2> 鉄鋼面錆止め塗料塗り(仕上げ塗料がSOP、EP-Gに限る) ※ A種(見え掛り) ※ B種(見え隠れ) <18.3.3><表18.3.3> 垂鉛めっき鋼面錆止め塗料塗り(仕上げ塗料がSOP、EP-Gに限る) ※ A種(鋼製建具等) ※ B種(その他) <18.3.3><表18.3.5> 3 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 木部合成樹脂調合ペイント塗り(多孔質広葉樹除く) <18.4.2> ※ A種(屋外) ※ B種(屋内) ・ 図示 <表18.4.1> 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗り <18.4.3><表18.4.2> ・ A種 ※ B種 4 クリヤラッカー塗り(CL) クリヤラッカー塗り ・ A種 ※ B種 <18.5.2><表18.5.1> 5 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAF) アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り <18.6.2><表18.6.1> ・ A種 ※ B種 ⑥ 耐候性塗料塗り 鉄鋼面上塗り塗料の等級 ※ 図示 <18.7.2><表18.7.1> 垂鉛めっき鋼面上塗り塗料の等級 ※ 図示 <18.7.3><表18.7.2> コンクリート面及び押出成形セメント板面耐候性塗料塗り ・ A種 ・ B種 ・ C種 <18.7.4><表18.7.3> ⑦ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) コンクリート面、モルタル面、ラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り ・ A種 ※ B種 <18.8.2><表18.8.1> ⑧ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) 屋内の鉄鋼面つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り ・ A種 ※ B種 <18.8.4><表18.8.3> ⑨ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) 合成樹脂エマルジョンペイント塗り ・ A種 ※ B種 <18.9.2><表18.9.1> 9 ウレタン樹脂ワニス塗り <18.10.2><表18.10.1> ・ A種 ※ B種 ⑩ ステン塗り オイルステイン塗料の仕様等 ※ 図示 <18.11.2> ⑪ 木材保護塗料塗り(WP) 木材保護塗料塗り ・ A種 ※ B種 <18.12.2><表18.12.1></p>	部位	種類	材料	工法													<p>19 ① ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り ② カーペット敷き 3 合成樹脂塗床 4 フローリング張り</p>	<p>① ビニル床シート <19.2.2> 種類・記号 ※ FS ・ 図示 色柄 ※ 図示 厚さ(mm) ※ 2.0 ・ 図示 ・ ビニル床タイル <19.2.2> 種類・記号 ※ KT ・ 図示 色柄 ※ 図示 厚さ(mm) ※ 2.0 ・ 図示 ・ 帯電防止床シート <19.2.2> 種類、性能、厚さ等 ※ 図示 ・ 帯電防止床タイル <19.2.2> 種類、性能、寸法、厚さ等 ※ 図示 ② 視覚障害者用床タイル <19.2.2> 種類、形状等 ※ 図示 ・ 耐動荷重性床シート <19.2.2> 種類、厚さ等 ※ 図示 ③ 防滑性床シート <19.2.2> 種類、厚さ等 ※ 図示 ・ 防滑性床タイル <19.2.2> 種類、寸法、厚さ等 ※ 図示 ビニル幅木の材質の種類 ※ 図示 <19.2.2> ビニル幅木の厚さ及び高さ(mm) ※ 厚さ1.5以上、高さ60 ・ 図示 ・ ゴム床タイル <19.2.2> 色柄、種類、厚さ、寸法等 ※ 図示 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 <19.2.2><表19.2.2> ビニル床シート及びビニル床タイル用接着剤の種類 ※ 図示 ゴム床タイル用接着剤の種類 ※ 図示 モルタル塗り下地、コンクリート下地、モルタルリング材塗り下地、木下地以外の下地の工法 ※ 図示 <19.2.3> ビニル床シート張りの接合部の処理 <19.2.3> ・ 図示 ※ 熱溶接工法 織じゅうたんの織り方及びパイルの形状 ※ 図示 <19.3.2> 織じゅうたんの色柄 <19.3.2><表19.3.1> ・ 図示 ※ 模様のない無地のもの 織じゅうたんのパイル糸の種類 <19.3.2><表19.3.1> ・ A種 ・ B種 ・ C種 帯電性(人体帯電圧の値3kV以下) ・ 適用する <19.3.2> タフテッドカーペットのパイルの形状及びパイル長 <19.3.2> ※ 図示 帯電性(人体帯電圧の値3kV以下) ・ 適用する <19.3.2> タイルカーペットの種類及びパイルの形状 <19.3.2> ※ 第一種のルーブリックパイル ・ 図示 タイルカーペットの寸法及び総厚さ(mm) <19.3.2> ※ 500角、総厚さ6.5 ・ 図示 下敷き材 <19.3.2> ※ 第2種第2号(JISL3204)の反毛フェルト(呼び厚さ8mm) ・ 図示 見切り、押え金物の材質、種類及び形状 ※ 図示 <19.3.2> タフテッドカーペットの工法 <19.3.3> ・ グリッパー工法 ・ 全面接着工法 織じゅうたん(タリッパ工法)の接合方法 <19.3.3> ※ ヒートソール工法 ・ 丈夫な綿糸、垂麻糸又は合成繊維糸を手縫いでつづり縫い タイルカーペットの敷き方 <19.3.3> ※ 市松敷き(平場) ※ 模様流し(階段部分) ・ 図示 3 合成樹脂塗床 弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げの種類 <19.4.3><表19.4.4> ※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ エポキシ樹脂系塗床の工法及び仕上げの種類 <19.4.3> ・ 薄膜流しのペ工法(平滑・防滑) ・ 厚膜流しのペ工法(平滑・防滑) ・ 樹脂モルタル工法(平滑・防滑) 4 フローリング張り フローリングの種類 <19.5.2> ・ 単層フローリング(フローリングボード1等 ・ フローリングブロック1等) ・ 複合フローリング 工法 <19.5.3> ・ 釘留め工法(根太張り工法 ・ 直張り工法) ・ 接着工法 フローリングの樹種 ・ 図示 <19.5.4> 複合フローリングの種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 <19.5.4></p>	<p>⑤ 畳敷き ⑥ せっこうボード、その他ボード及び合板張り ⑦ 壁紙張り ⑧ 断熱・防露 20 ① フリーアセア707 ② 可動間仕切</p> <p>フローリングブロックの樹種、厚さ及び長さ ※ 図示 <19.5.5> フローリング裏面の不陸緩衝材の仕様等 <19.5.5> ※ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 畳の種類 <19.6.2><表19.6.1> ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 D種の場合 ○ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N 衝撃緩和型畳の畳表の仕様(JIS A5902) <19.6.2> ・ C1 ○ C2 ⑥ せっこうボード、その他ボード及び合板張り せっこうボード、その他のボードの種類、厚さ等 <19.7.2> ※ 図示 ボード表面への化粧張り仕上げ等 <19.7.2> ※ 図示 普通合板の表板の樹種名、板面の品質及び厚さ <19.7.2> ※ 図示 普通合板の防虫処理 ・ 行う <19.7.2> 天然木化粧合板の化粧板の樹種名及び厚さ <19.7.2> ※ 図示 天然木化粧合板の防虫処理 ・ 行う 特殊加工化粧合板の化粧加工の方法、表面性能及び厚さ <19.7.2> ※ 図示 特殊加工化粧合板の防虫処理 ・ 行う <19.7.2> 天井ボードの重ね張り(ロックウール吸音板を除く) ・ 行う 合板類の張付け ・ A種 ・ B種 <19.7.3><表19.7.3> せっこうボードの目地工法の種類 <19.7.3><表19.7.5> ・ 継目処理工法 ・ 突付け工法 ○ 目透し工法 目地工法に応じたせっこうボードのエッジの種類 (突きつけ工法及び目透し工法の場合) <19.7.3><表19.7.5> ・ ベベルエッジ ○ スクエアエッジ ⑦ 壁紙張り 壁紙の種類 ※ 図示 <19.8.2> 壁紙の防火性能 ※ 図示 <19.8.2> モルタル面及びせっこうラスター面の素地ごしらえ <19.8.3> ・ A種 ※ B種 コンクリート面の素地ごしらえ <19.8.3> ・ A種 ※ B種 せっこうボード面及びけい酸カルシウム板面の素地ごしらえ <19.8.3> ・ A種 ※ B種 断熱材の種類及び厚さ ※ 図示 <19.9.3> 断熱材現場発泡工法における断熱材の種類 ※ A種I又はA種IH ・ 図示 <19.9.4> 断熱材の吹付け厚さ ※ 図示 <19.9.4></p> <table border="1" data-bbox="2374 1186 2849 1312"> <tr><td>表面仕上の寸法</td><td>フリーアセア707</td><td>高さ(mm)</td><td>耐震性能(Ks)</td><td>所定加重(N)</td><td>帯電防止性能(U)</td><td>漏えい抵抗</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td>0.6</td><td>3,000</td><td>≥1.2</td><td>()Ω</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td>1.0</td><td>5,000</td><td>≥0.6</td><td>(1×10)Ω</td></tr> </table> <p>試験方法 <20.2.2> ・ 耐荷重性能(mm) ※変形5.0以下、残留変形3.0以下 ・ 図示 ・ 耐衝撃性能 ※残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと ・ 図示 ・ ローリングロード性能(mm) ※残留変形3.0以下 ・ 図示 ・ 耐燃焼性能 ・ 建築基準法に基づく不燃材料の指定又は認定を受けたもの ・ 燃焼終了後の残炭時間が0秒であること 寸法精度 ・ 図示 <20.2.2> <20.2.3></p> <table border="1" data-bbox="2374 1564 2849 1816"> <tr><th rowspan="2">構造形式</th><th colspan="2">構成基材</th><th rowspan="2">遮音性(透過損失)</th><th rowspan="2">パネル表面仕上げ</th></tr> <tr><th>スタッド</th><th>パネル(7'含む)</th></tr> <tr><td>・スタッド式(内蔵)</td><td rowspan="3">・7'系 ・7'系</td><td>・木質系 ○7'系</td><td rowspan="3">・15dB ・30dB ○36dB以上</td><td rowspan="3">※図示</td></tr> <tr><td>・スタッド式(露出)</td><td>・7'系 ・7'系</td></tr> <tr><td>○パネル式</td><td>・() ・樹脂系</td></tr> <tr><td>・スタッドパネル式</td><td>・()</td><td>・せっこう系 ・パネル系</td><td>・()dB</td><td></td></tr> </table> <p>パネルの放散量 ※F☆☆☆☆ <20.2.3> パネル内に取り付ける建具寸法及び形状 ・ 図示 <20.2.3></p>	表面仕上の寸法	フリーアセア707	高さ(mm)	耐震性能(Ks)	所定加重(N)	帯電防止性能(U)	漏えい抵抗				0.6	3,000	≥1.2	()Ω				1.0	5,000	≥0.6	(1×10)Ω	構造形式	構成基材		遮音性(透過損失)	パネル表面仕上げ	スタッド	パネル(7'含む)	・スタッド式(内蔵)	・7'系 ・7'系	・木質系 ○7'系	・15dB ・30dB ○36dB以上	※図示	・スタッド式(露出)	・7'系 ・7'系	○パネル式	・() ・樹脂系	・スタッドパネル式	・()	・せっこう系 ・パネル系	・()dB	
部位	種類	材料	工法																																																											
表面仕上の寸法	フリーアセア707	高さ(mm)	耐震性能(Ks)	所定加重(N)	帯電防止性能(U)	漏えい抵抗																																																								
			0.6	3,000	≥1.2	()Ω																																																								
			1.0	5,000	≥0.6	(1×10)Ω																																																								
構造形式	構成基材		遮音性(透過損失)	パネル表面仕上げ																																																										
	スタッド	パネル(7'含む)																																																												
・スタッド式(内蔵)	・7'系 ・7'系	・木質系 ○7'系	・15dB ・30dB ○36dB以上	※図示																																																										
・スタッド式(露出)		・7'系 ・7'系																																																												
○パネル式		・() ・樹脂系																																																												
・スタッドパネル式	・()	・せっこう系 ・パネル系	・()dB																																																											
<p>17 カーターンウォール工事 1 共通事項 2 マルチカーテンウォール 3 PCカーテンウォール</p>	<p>カーテンウォールの諸性能値 ※ 図示 <17.1.3> 性能の確認方法及び判定方法 <17.1.3> ※ 資料提出による監督職員の承諾 ・ 図示 金属系材料の種類 ※ 図示 <17.2.2> シーリング材の種類 ※ 図示 ガラス取付け材の種類 ※ 図示 <17.2.2> 構造ガasketの材質、形状等 ※ 図示 <17.2.2> 断熱材の仕様等 ※ 図示 <17.2.2> 製品の寸法許容差 <17.2.3> ・ 図示 ※ 表17.2.1による(アルミニウム合金積物の場合を除く) 製品の見え掛り部分の仕上げ ※ 図示 ガラス溝の寸法、形状等 ・ 図示 ※ カーテンウォール製造所の仕様 躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 <17.2.5> ・ 図示 ※ 表17.2.2による カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差 ・ 図示 ※ 表17.2.3による ガラスの取付け方法 ※ 図示 <17.2.6> コンクリートの種類 <17.3.2> ・ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート コンクリートの品質 <17.3.2> 設計基準強度(Fc) ・ () N/mm2 ※ 30N/mm2 スランプ ・ () cm ※ 12cm 気乾単位容積質量 ・ () t/m3 ※ 2.1t/m3超2.5t/m3以下 単位水量の最大値 ・ () kg/m3 ※ 185kg/m3</p>	<p>① 素地ごしらえ ② 錆止め塗料塗り 3 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 4 クリヤラッカー塗り(CL) 5 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAF) ⑥ 耐候性塗料塗り ⑦ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) ⑧ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) 9 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) 10 ステン塗り ⑪ 木材保護塗料塗り(WP)</p>	<p>① ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り ② カーペット敷き 3 合成樹脂塗床 4 フローリング張り</p>	<p>⑤ 畳敷き ⑥ せっこうボード、その他ボード及び合板張り ⑦ 壁紙張り ⑧ 断熱・防露 20 ① フリーアセア707 ② 可動間仕切</p>																																																										
<p>特記事項</p>	<p>株式会社 練企画設計 一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3396号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第335100号 山本 裕一</p>	<p>課長 担当課長 係長 担当</p>	<p>製作年月日 2025年 8月</p>	<p>工事名称 (仮称)上下水道庁舎建設工事 図面名称 上下水道庁舎 特記仕様書(5) 縮尺 図番 A-07</p>																																																										

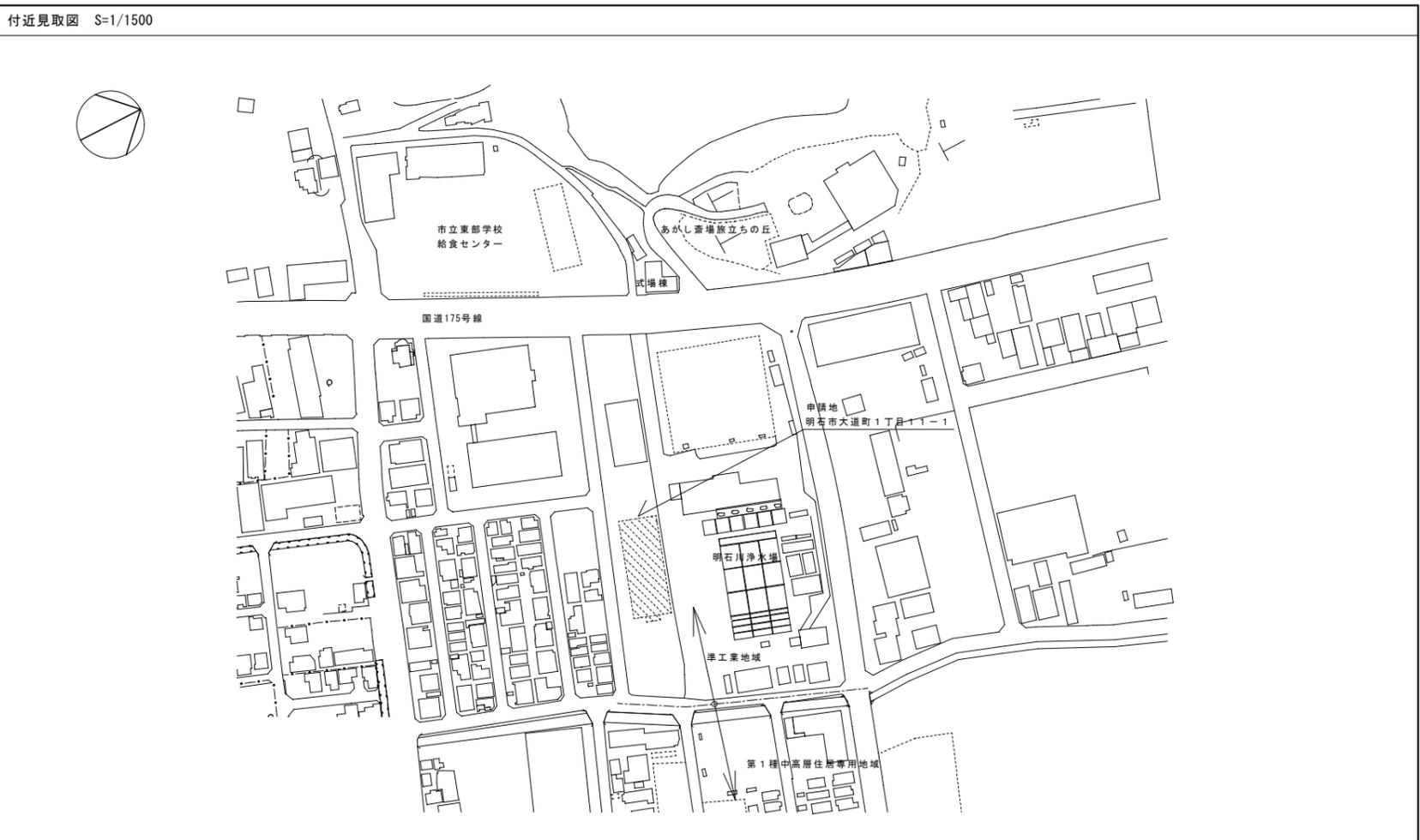
<p>④ 芝張り、吹付けは種及び地被類</p> <p>5 屋上緑化</p>	<p>支柱 <23. 3. 3> ・添え柱形 ・鳥居形 ・ハツ掛け形 ・布掛け形 ・ワケ掛け形 ・地下埋設形</p> <p>新植樹木の枯れ補償期間 <23. 3. 4> ・図示 ※引渡しの日から1年</p> <p>移植樹木の枯損処置を行う期間 <23. 3. 6> ・図示 ※引渡しの日から1年</p> <p>芝の種類 ※コウライガの類 ・ノシバの類 <23. 4. 2> 吹付けは種用種子の種類 ※洋芝類 ・図示 <23. 4. 2> 吹付けは種用種子の量 ※図示 <23. 4. 2> 地被類の種類、芽立数、径及び単位面積当たりの株数 <23. 4. 2> ※図示</p> <p>芝張りの工法 <23. 4. 3> ※目地張り(平地) ※べた張り(法面) ・図示</p> <p>枯損した芝及び地被類の処置 <23. 4. 7> ※23. 3. 4に準ずる</p> <p>土壌層の厚さ ※図示 <23. 5. 2> 排水層の種類 <23. 5. 3> ・軽量骨材(層の厚さ mm) ・透水排水管 ・板状成形品</p> <p>土壌層の植込み用土の種類 <23. 5. 3> ・人工軽量土 ※改良土</p> <p>樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数並びに刈込みもの の数量 ・図示 <23. 5. 3></p> <p>見切り材、舗装材、排水孔、マフン材等 ※図示 <23. 5. 3></p> <p>「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」に基づく風圧力に対応した工法 ・適用する <23. 5. 4></p> <p>支柱の設置及び形式 ※図示 <23. 5. 4></p> <p>かん水装置の設置及び種類 ※図示 <23. 5. 4></p> <p>新植樹木の枯れ補償期間 <23. 5. 5> ・図示 ※引渡しの日から1年</p> <p>芝及び地被類の枯補償期間 <23. 5. 5> ・図示 ※引渡しの日から1年</p>	<p>建設副産物の搬出走行中は、積載物が落下しないよう十分な養生・保護をするとともに、安全運転に留意すること。</p> <p>門、塀、池等の撤去に当たっては、個々にその規模、構造等を確認すること。また、これらの撤去については、基礎部分を含めて完全に撤去すること。なお、これらを撤去することにより、隣接地に影響を及ぼす可能性がある場合は、監督職員と協議すること。</p> <p>建設副産物の処分については、建設廃棄物等(変更)処理計画書により速やかに場外搬出処分すること。ただし、特定建設資材については、再資源化施設に搬出すること。</p> <p>建設副産物は現場において分別し、処理・再生利用に応じた搬出処分を基本とすること。</p> <p>なお、コンクリート躯体解体前に、内部造作、既存備品、ガラス、7Mシッキン等を解体、分別、収集すること。</p> <p>地上部(上屋)の解体完了後、順次掘削しながら地中梁、基礎の解体撤去を行うこと。なお、近隣への振動等の影響を考慮の上、解体部分の順序を計画すること。</p> <p>鉄筋コンクリート造の建築物の解体用重機は、油圧式圧搾機の性能を有するものとし、解体は安全で能率的な作業方法により順次解体すること。</p> <p>なお、圧搾機の使用不可能な場所については、監督職員と打合せの上、適切な機械(道具)を用いること。</p> <p>鉄骨、鉄筋の切断については、切断方法を含め監督職員と事前に十分協議すること。</p> <p>解体撤去用の外部足場により発生する可能性がある電波障害について十分配慮すること。</p> <p>排水施設の撤去については、経路等を調査の上、既存法面、周辺隣接地に影響を及ぼさないよう撤去計画を立てること。</p> <p>会所及び排水管は全て掘り起こし、完全に撤去すること。なお、既存排水施設等との取合いがある場合は、適切に補修すること。また、既存のまま存置する会所、排水管、雨水側溝等は清掃し、排水機能を確保すること。</p> <p>原則として、樹木等の撤去は根株を含めて掘り起こし、場外搬出処分すること。また、移植する場合は、監督職員の指示する位置に移植すること。</p> <p>除却工事の施工者は、「建築物除却届(建築基準法第15条第1項)」を兵庫県知事に届け出ること(明石市の所管課へ提出)。</p> <p>特別管理産業廃棄物については、関係法令、都道府県の条例の厳守、関係官公署への手続を速やかに行うとともに、適正に処理すること。</p>						
<p>24 解体工事</p> <p>① 一般事項</p> <p>② 共通事項</p>	<p>受注者は、解体工事に先立ち近隣住民に対して十分な説明を行うと共に、苦情等が発生した場合には、誠意をもって対応すること。</p> <p>受注者は、誤って工事現場内に第三者が立ち入らないよう十分に注意すること。</p> <p>解体工事に係る重機及び仮設材の搬出入については、監督職員と事前に打合せを行うこと。</p> <p>作業時間は原則として午前9時から午後5時までとし、土曜・日曜・祝日は作業しないこととするが、詳細については関係各所と打合せの上、決定すること。</p> <p>解体工事に先立ち、工事範囲外の建物(近隣も含む)及び監督職員が指示するものについては、着工前に現況写真撮影等による事前調査を行い、工事施工に起因して破損、汚染等が生じた場合は、原則として受注者の責任において速やかに原状復旧を行うこと。</p> <p>地中埋設物(埋設管等を含む)の事前調査を行い、必要な諸手続きを延滞なく行うとともに安全管理に万全の処置を講ずること。なお、不審な点があれば監督職員に報告の上、監督職員の指示に従うこと。</p> <p>設計図に記載の寸法と現地測量との間に大幅な差異がある場合は、監督職員にその旨を報告の上、協議すること。</p> <p>解体工事に伴い発生する建設副産物の処分は、「建築工事に係る資源の再資源化等に関する法律」のほか、関連法規に従い適正に搬出処分を行うこと。</p> <p>建設副産物は中間処理を行い、再生利用、減量化等を図るよう努めること。</p> <p>塵埃防止として、場内に加圧ホップ付散水栓を設置し、適宜散水すること。なお、上階散水が必要な場合は、揚水ホップの使用も併せて考慮すること。</p> <p>枠組足場による防音バール(鋼製、7M製)又は防音シートを設置する場合は、設計図書で定められた位置及び高さまで設置すること。</p> <p>原則として、足場控えは建築物の柱・梁に堅固に緊結し、強風時の転倒防止を図るとともに随時取り外しが可能になるよう配慮すること。</p> <p>全ての建設副産物は、処分地が指定する寸法以下に破砕し、受注者の責任において所定の手続きの上、速やかに搬出処分すること。</p> <p>埋戻し及び整地の状態は、監督職員の指示に従うこと。また、埋戻しには良質土を使用し、7Mマ-類で十分締め固めを行うこと。なお、転圧はその土質、使用機器等に応じ、締め固めに適した含水状態で行うこと。</p>							<p>① 一般事項</p> <p>② 共通事項</p>
<p>特記事項</p>	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>	<p>株式会社 練企画設計</p> <p>一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3396号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第335100号 山本 裕一</p> <p>管理技術者 (平) 主任技術者 (出) 担当技術者 担当技術者</p>	<p>課長</p> <p>担当課長</p> <p>係長</p> <p>担当</p>	<p>製作年月日</p> <p>2025年 8月</p>	<p>工事名称</p> <p>(仮称) 上下水道庁舎建設工事</p> <p>図面名称</p> <p>上下水道庁舎 特記仕様書(7)</p>	<p>縮尺</p> <p>-</p>	<p>図番</p> <p>A-09</p>	<p>当初・変更・完成</p>
<p>(2024年8月改訂)</p>		<p>明石市都市局住宅・建築室営繕課</p>						

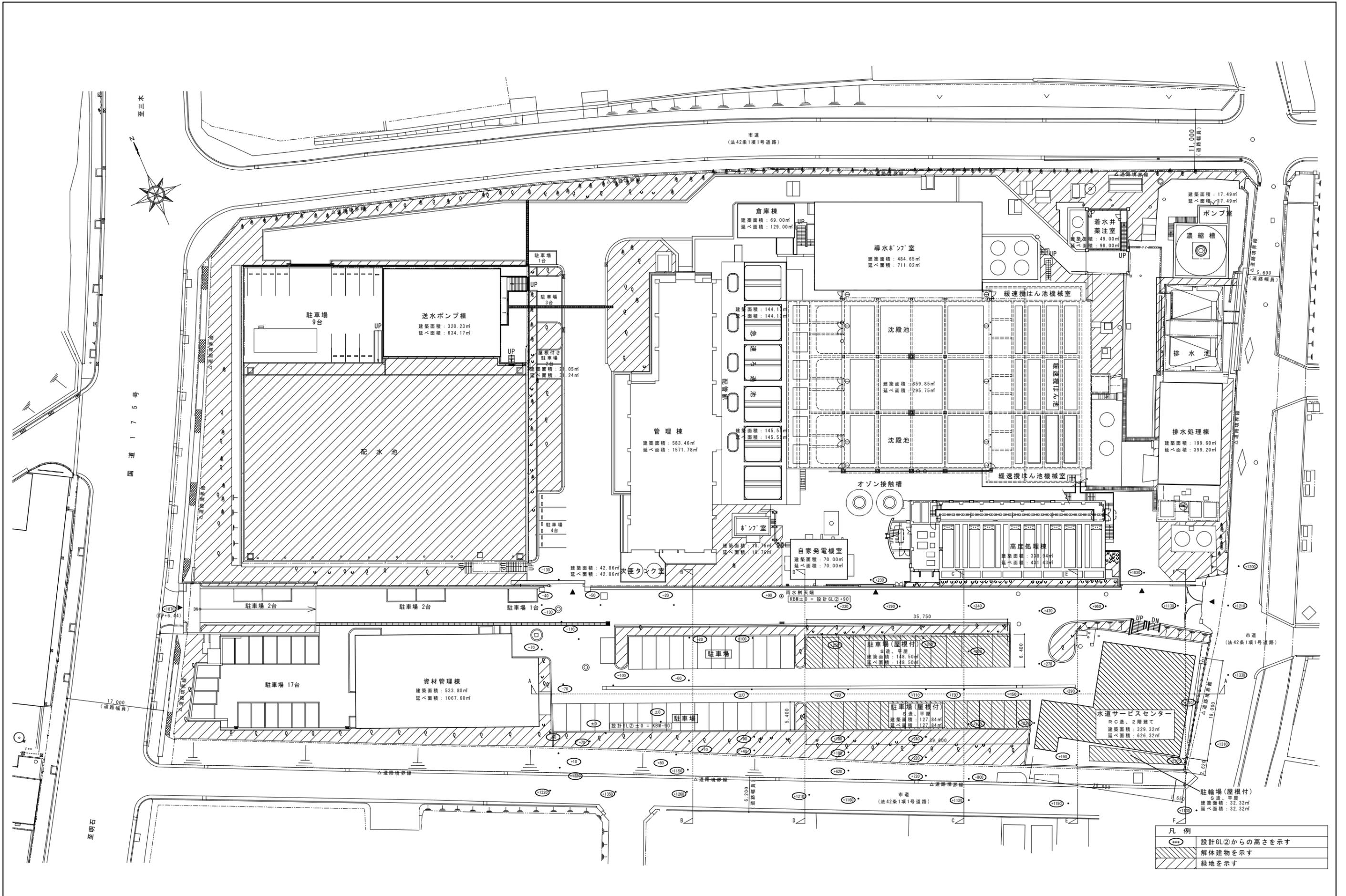
建築工事メーカーリスト		※建築工事の使用材料及び施工については、本メーカーリストの中より選択することを原則とし、記載がないものについては、監督員の承諾を得るものとする。(参考：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・社団法人「公共建築協会」発行 建築材料等評価名簿)						
	名称・品名	会 社 名			名称・品名	会 社 名		
防水工事	アスファルト及び改質アスファルトシート	・七王工業㈱ ・日新工業㈱ ・田島ルーフィング㈱ ・東亜工業㈱ ・昭化工業㈱ ・㈱A Rセンター		塗装工事	一般塗装	・関西ペイント㈱ ・日本ペイント㈱ ・大日本塗料㈱ ・ロックペイント㈱ ・㈱トウベ ・大同塗料㈱ ・神東塗料㈱ ・大谷塗料㈱		
	合成高分子ルーフィング	加硫ゴム系ルーフィングシート	・三ツ星ベルト㈱ ・シバタ工業㈱ ・田島ルーフィング㈱ ・日新工業㈱ ・ニッタ化工品㈱ ・アサヒゴム㈱		吹付塗装	・菊水化学工業㈱ ・エスケー化研㈱ ・A G Cコーテック㈱ ・関西ペイント㈱ ・日本ペイント㈱ ・神東塗料㈱ ・大日本塗料㈱ ・㈱ハマキャスト(天然石調)		
		塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート	・アーキヤマデ㈱ ・ロンシール工業㈱ ・田島ルーフィング㈱ ・日新工業㈱ ・早川ゴム㈱		内外装工事	フローリング	・大建工業㈱ ・朝日ウッドテック㈱ ・㈱ウッドワン ・天龍木材㈱ ・永大産業㈱ ※県産木材の指定があれば木工事の項による。	
	塗膜防水(塗布)	ウレタンゴム系	・保土谷建材㈱ ・ニッタ化工品㈱ ・三ツ星ベルト㈱ ・AGCポリマー建材㈱			ビニル床タイル	・東リ㈱ ・田島ルーフィング㈱ ・ロンシール工業㈱ ・㈱エービーシー商会 ・㈱サンゲツ	
		ゴムアスファルト系	・成瀬化学工業 ・日新工業㈱ ・田島ルーフィング㈱ ・東亜工業㈱ ・㈱ウォータータイト			ビニル床シート	・東リ㈱ ・田島ルーフィング㈱ ・ロンシール工業㈱ ・㈱エービーシー商会 ・タキロンシーアイ㈱ ・㈱サンゲツ	
		ケイ酸質系及びポリマーセメント系・EVA系	・大関化学工業㈱ ・昭和電工建材㈱ ・大日化成㈱ ・ユニオン建材工業㈱			カーペット	・東リ㈱ ・田島ルーフィング㈱ ・ロンシール工業㈱ ・㈱サンゲツ ・㈱スミノエ ・アスワン㈱	
	シーリング	・コニシ㈱ ・セメダイン㈱ ・サンスター技研㈱ ・日本シーカ㈱ ・横浜ゴム㈱		クロス		・リリカラ㈱ ・㈱サンゲツ ・㈱シンコール ・東リ㈱ ・㈱スミノエ		
※各防水種別でリストになくても、メインとなる防水工法のメーカーにその種別の防水の取り扱いがあれば使用可とする。				メラミン不燃化粧板(抗菌)	・アイカ工業㈱ ・イビケン㈱ ・日本デコラックス㈱			
石工事	石	・関ヶ原石材㈱ ・矢橋大理石㈱ ・神戸大理石工業㈱ ・㈱池西石材		ユニット及びその他の工事	カーテン・舞台幕	・㈱スミノエ ・アスワン㈱ ・㈱川島織物セルコン ・㈱シンコール ・東リ㈱ ・㈱サンゲツ		
	人工大理石	・㈱アドヴァン ・㈱エービーシー商会 ・アイカ工業㈱ ・㈱シブタニ			流し台	・ナスラック㈱ ・㈱L I X I L ・タカラスタンダード㈱ ・㈱トーヨーキッチンスタイル		
タイル工事	タイル	・㈱L I X I L ・㈱ダントー ・K Yタイル㈱ ・T O T O ㈱ ・ニッタイ工業㈱		シャワーユニット	・T O T O ㈱ ・㈱L I X I L ・パナソニック㈱ ・日ポリ化工㈱			
木工事	兵庫県産木材	・兵庫県木材業協同組合連合会(兵庫県木連県産木材供給部会)会員メーカーによる。		教育施設用家具	・㈱西尾家具工芸社 ・㈱内田洋行			
屋根・樋工事	金属板	・J F E 鋼板㈱ ・㈱淀川製鋼所 ・日鉄住金鋼板㈱ ・元旦ビューティー工業㈱ ・三晃金属工業㈱		ブラインド	・立川ブラインド工業㈱ ・㈱ニチベイ ・トーソー㈱			
	シングル	・田島ルーフィング㈱ ・日新工業㈱		舞台装置	・㈱博電舎 ・㈱シネマ工房 ・㈱オーエス ・日本スクリーン㈱			
	塩化ビニル製樋	・ケイミュー㈱ ・三菱ケミカルインフラテック㈱ ・タキロンシーアイ㈱ ・積水化学工業㈱		屋内運動場椅子収納台車	・フジタス工業㈱ ・㈱丸橋鉄工(代理店㈱カンサイ) ・セノー㈱			
金属工事	アルミ笠木EXP・Jカバー	・㈱エービーシー商会 ・理研軽金属工業㈱ ・三協立山㈱ ・㈱バラキャップ社 ・カネソウ㈱		体育器具	・セノー㈱ ・㈱小川長春館 ・㈱ニシオカ ・日本体器㈱			
	天井・床点検口	・ナカ工業㈱ ・理研軽金属工業㈱ ・㈱ダイケン		屋外附帯工事	フェンス	・J F E 建材㈱ ・朝日スチール工業㈱ ・日鉄建材㈱		
	グレーチングステンレス金物排水金物等	・カネソウ㈱ ・㈱ニムラ ・福西鋳物㈱ ・㈱中部コーポレーション			防球ネット	・㈱センターコード ・塚本商事機械㈱ ・朝日スチール工業㈱ ・㈱アスノ		
	建築金物(手摺・ノブ等)(見切金物等)	・ナカ工業㈱ ・ワイエム工業㈱ ・ケージーバルテック㈱ ・㈱シンドウ工業 ・杉田エース㈱ ・㈱ナスタ ・㈱ダイケン ・神栄ホームクリエイト㈱(旧新協和) ・㈱アシスト		外壁改修工事	外壁改修【施工】	・㈱コンステック ・菊水化学工業㈱ ・ショーボンド建設㈱ ・大成工材㈱ ・㈱伏見工業		
建具工事	シャッターオーバーヘッドドア	・文化シャッター㈱ ・三和シャッター工業㈱ ・東洋シャッター㈱ ・金剛産業㈱			ピンネット工法【施工】	・コニシ㈱(ボンドカーボンネット) ・㈱リノテック(ネットリテ) ・全日本外壁ピンネット工業協同組合(ネットネット) ※第三者賠償責任保険付		
	自動ドア開閉駆動装置	・ナブテスコ㈱ ・扶桑電気工業㈱			7Sベスト含有塗材等除去工法【施工】	・ダイオーテック㈱(ハキューラスト) ・㈱マルホウ(ウォータークリーン) ・㈱アシレ(ハキューウォータージェット) ※集塵装置付除去工法		
	鍵	・㈱ゴール ・美和ロック㈱						
	ハンガードア	・文化シャッター㈱ ・三和シャッター工業㈱ ・㈱くろがね工作所 ・小松ウォール工業㈱ ・コマニー㈱						
	スライディングウォール	・㈱ニチベイ ・立川ブラインド工業㈱ ・コマニー㈱ ・小松ウォール工業㈱						
	トイレブース	・コマニー㈱ ・小松ウォール工業㈱ ・信越ファインテック㈱ ・三和シャッター工業㈱ ・文化シャッター㈱						
	ガラス	・A G C ㈱ ・セントラル硝子㈱ ・日本板硝子㈱						
	ガラスブロック	・日本電気硝子㈱(電気硝子建材㈱)						
	スクールパーテーション(鋼製軽量建具)	・コマニー㈱ ・文化シャッター㈱ ・三和シャッター工業㈱ ・小松ウォール工業㈱						
	防煙垂壁	・A G C ㈱ ・セントラル硝子㈱ ・日本板硝子㈱ ・㈱ミヨシ ・三和シャッター工業㈱ ・文化シャッター㈱						

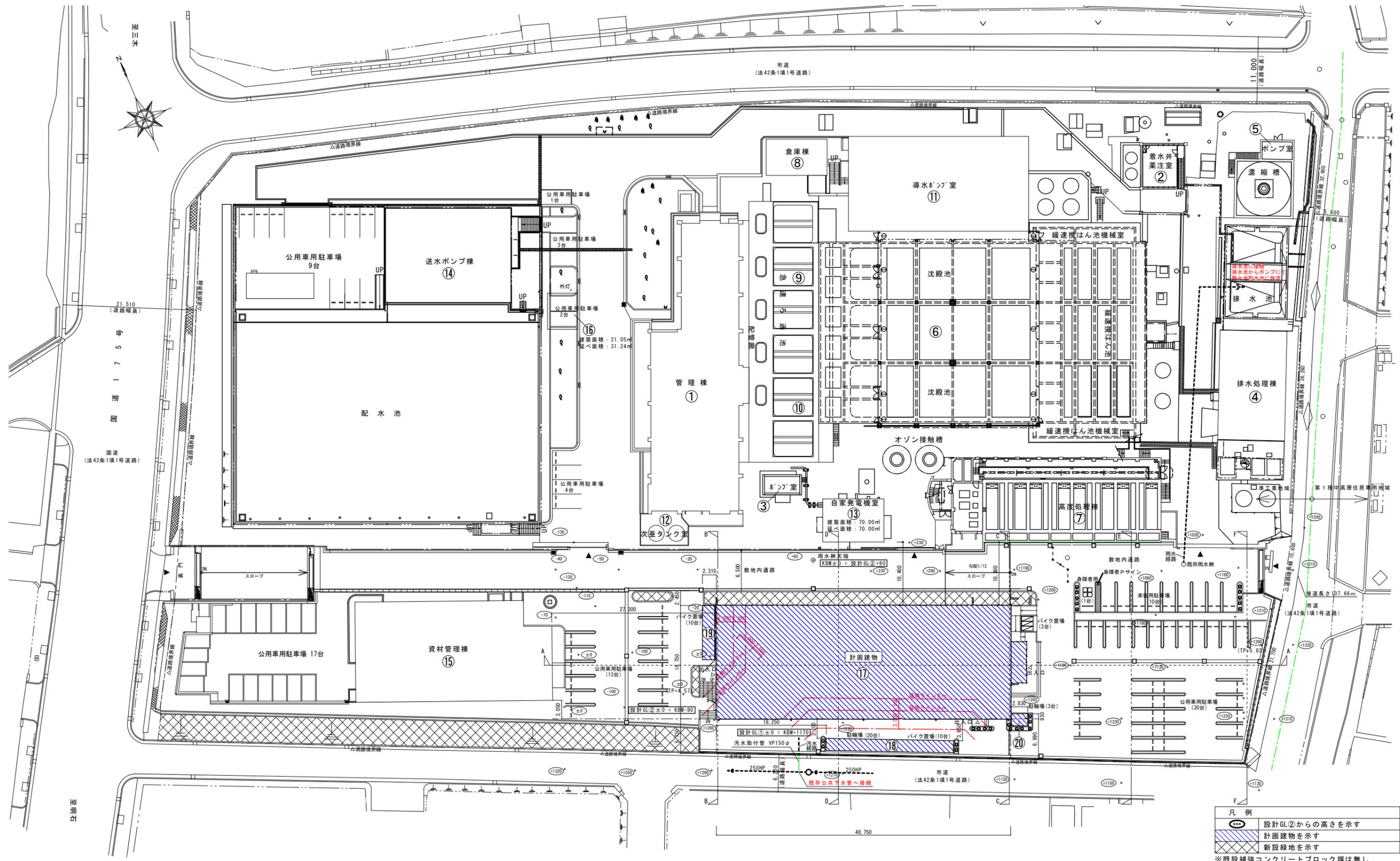
令和6年(2024年)9月改訂

特記事項	・	 株式会社 総企画設計 <small>一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3396号 管理建築士 一級建築士(大臣)第335100号 山本 裕一</small>	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称 (仮称)上下水道庁舎建設工事	当初・変更・完成
(2024年8月改訂)	・		 明石市都市局住宅・建築室営繕課	2025年 8月	図面名称 上下水道庁舎 建築工事メーカーリスト	縮尺 -	図番 A-11		

設計概要表									
工事名称	(仮称)上下水道庁舎建設工事								
建築場所	地名地番：兵庫県明石市大道町1丁目211-3、211-69、211-90、212-5 住居表示：兵庫県明石市大道町1丁目11-1								
敷地面積	19,368.29 m ²								
用途地域	都市計画区域内	市街化区域							
	用途地域	敷地面積	建蔽率	容積率	備考				
	準工業地域	19,368.29 m ²	60	200					
防火地域	法第22条区域								
その他地域	特別用途地区 4種高度地区 大道町地区地区計画 宅造成規制区域								
道路幅員	前面道路	東側：5.6m	南側：6.2m	北側：11.0m	西側：17.0m	接道長さ	107.66m		
主要用途	上水道施設	区分	08320						
用途区分	建基法別表1区分	庁舎	消防法防火対象物用途区分			(15)項			
収容人員	1階	124人		2階	76人				
工事種別	増築								
建蔽率	60.00%	許容建築面積	11,620.97 m ²			設計建蔽率	25.42%		
容積率	200.00%	許容延床面積	38,736.58 m ²			設計容積率	38.71%		
建築物の数	申請に係わる建築物の数		3		同一敷地内の他の建築物の数		16		
建築物の高さ等	最高高さ	14.45 m	軒高	13.75 m					
	階数	地上 3階	地下	0階					
	構造	R C造	一部 S造	地業	杭基礎				
日影規制	規制の有無	(有)	(5 m	5時間	10 m	3時間)	測定面の高さ	4.0 m	
高さ制限	道路斜線	有		1/1.5 (適用距離20m)					
	隣地斜線	有		31+(1/2.5)m					
	壁面後退による緩和採用の有無	無							
建築面積	合計	4,922.79 m ²		申請部分	1,024.42 m ²		申請以外の部分	3,898.37 m ²	
床面積	階	申請部分 (m ²)		申請以外の部分 (m ²)		合計 (m ²)			
	3階	55.98 m ²		既存建物面積一覧表による					
	2階	914.06 m ²							
	1階	944.29 m ²							
	駐輪場 +n'位置場	42.21 m ²							
	n'位置場	18.21 m ²							
	駐輪場	5.41 m ²							
延べ床面積	①	合計	1,980.16 m ²						
容積対象の延べ床面積	②	昇降路部分	14.06 m ²		0 m ²		14.06 m ²		
	③	駐輪場 +n'位置場	42.21 m ²		0 m ²		42.21 m ²		
	④	n'位置場	18.21 m ²		0 m ²		18.21 m ²		
	⑤	駐輪場	5.41 m ²		0 m ²		5.41 m ²		
	⑥	n'位置場	11.93 m ²		0 m ²		11.93 m ²		
	⑦	駐車場	m ²		既存建物面積一覧表により 31.24 m ²		31.24 m ²		
	⑧	自家発電機室	m ²		既存建物面積一覧表により 70.00 m ²		70.00 m ²		
			①-(②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)		7,497.08 m ²				

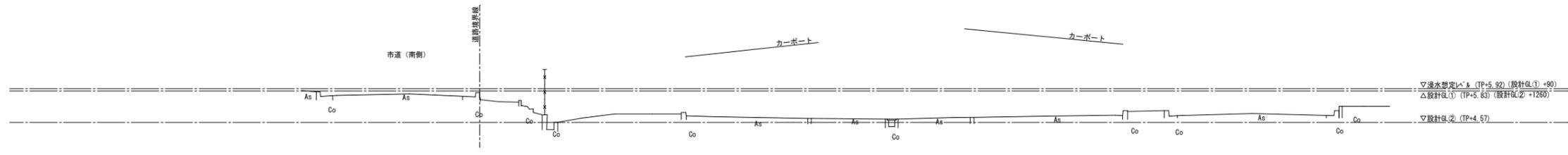






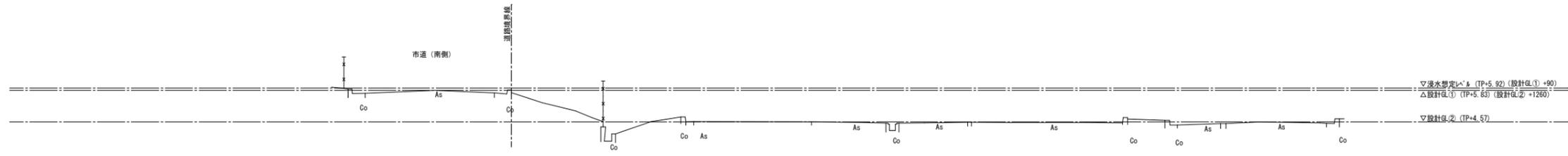
凡例	
	設計GL②からの高さを示す
	計画建物を示す
	新設緑地を示す

※既設補強コンクリートブロック塀は無し



C-C断面図 S=1/100

DL=0.00



B-B断面図 S=1/100

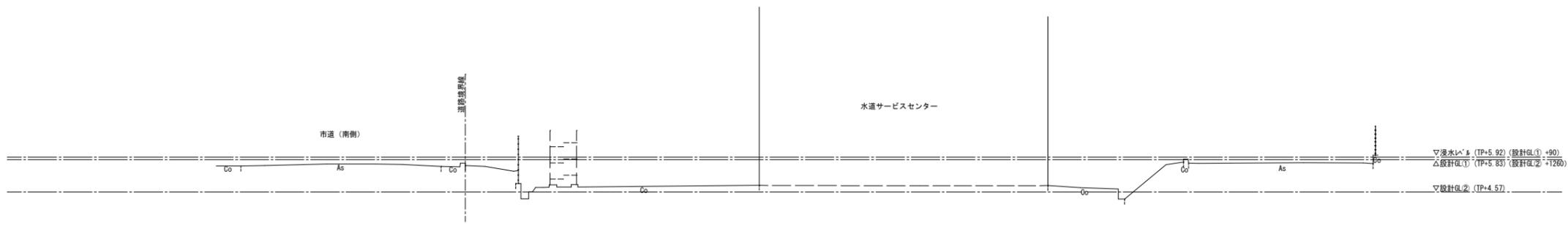
DL=0.00



A-A断面図 S=1/200

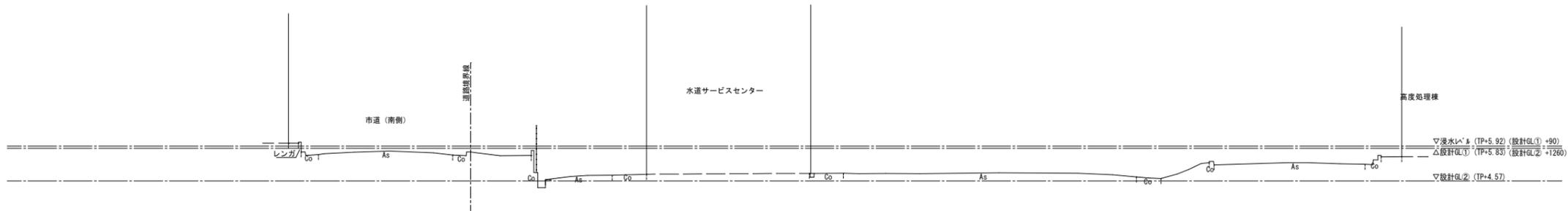
DL=0.00

特記事項		課長 担 係 担 主任 係 係 係	製作年月日 2025年 8月 工事名称 (仮称)上下水道庁舎建設工事	当初・変更・完成
	一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第335100号 山本 裕一		図面名称 上下水道庁舎 現況敷地横断面図(1) 縮尺 A1:1/100,200 A3:1/200,400	図番 A-15①



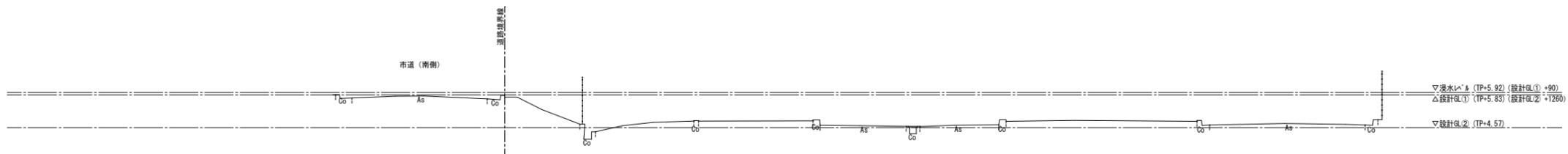
F-F断面図 S=1/100

DL=0.00



E-E断面図 S=1/100

DL=0.00

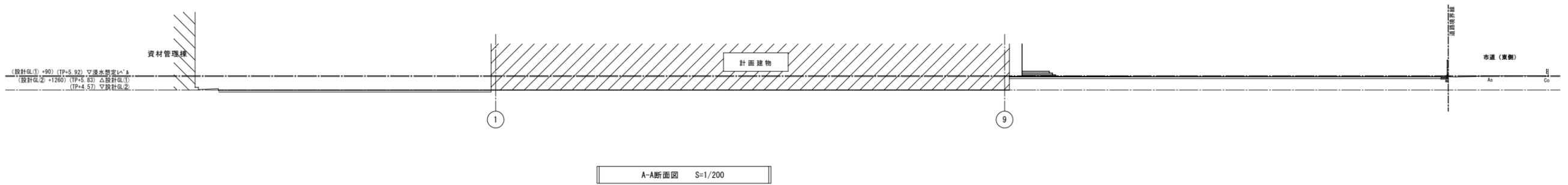
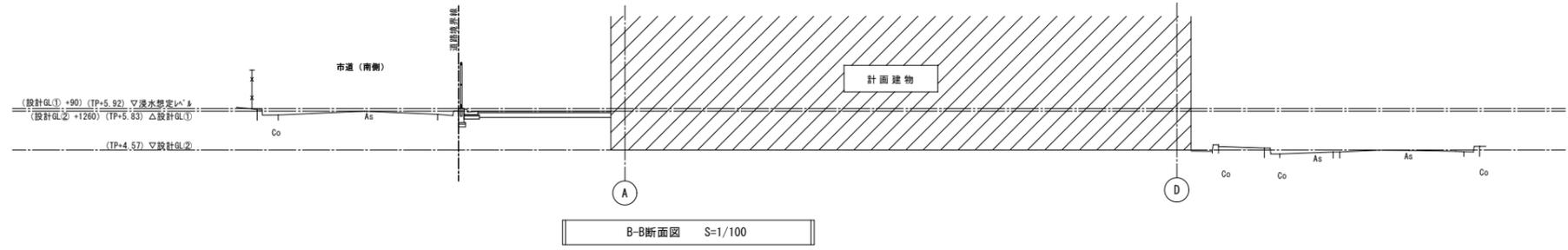
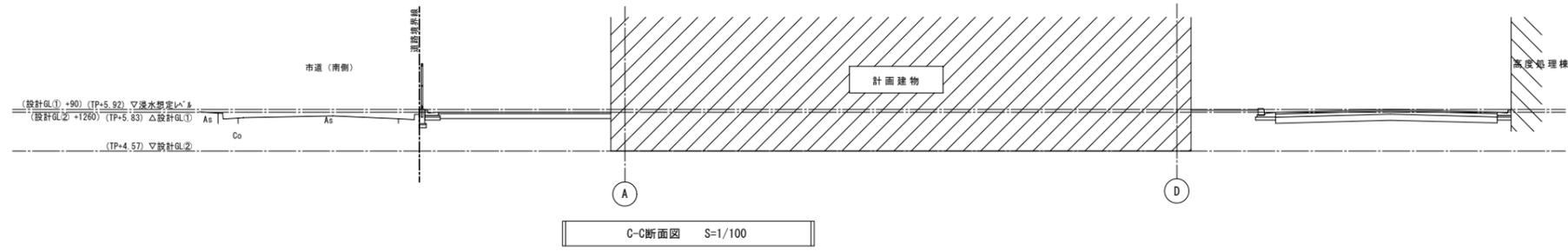


D-D断面図 S=1/100

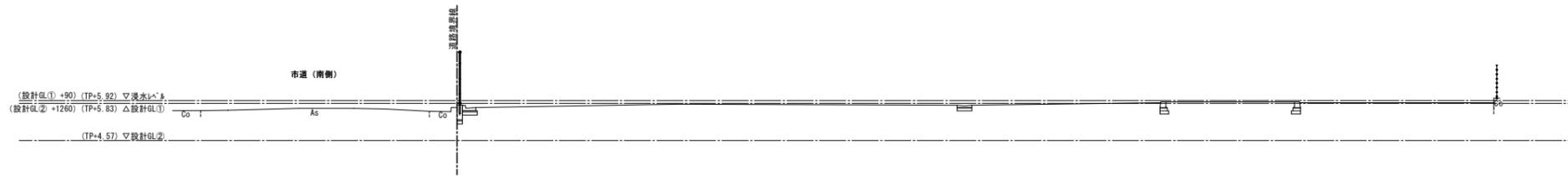
DL=0.00

特記事項	株式会社 緑企画設計 一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号 管理建築士 (大臣) 第325100号 山本 裕一	課長 担 係 担 担当 担当 担当 担当	製作年月日	工事名称	<input checked="" type="checkbox"/> 当初 · 変更 · 完成
			2025年 8月	(仮称) 上下水道庁舎建設工事	

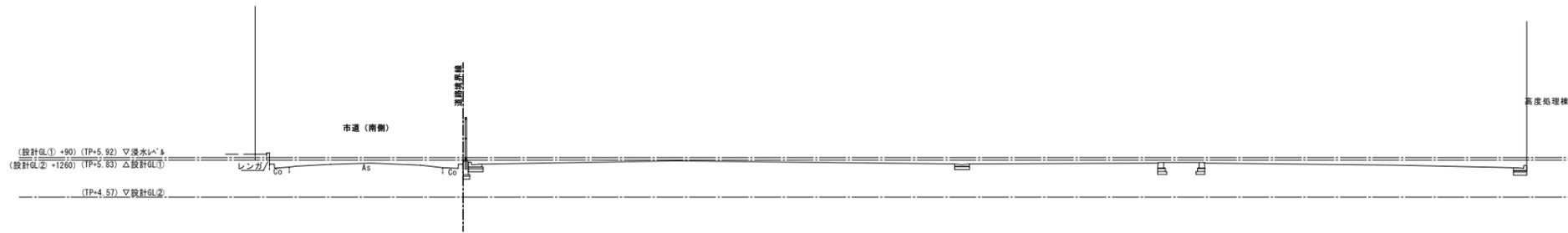
明石市都市局住宅・建築室営繕課



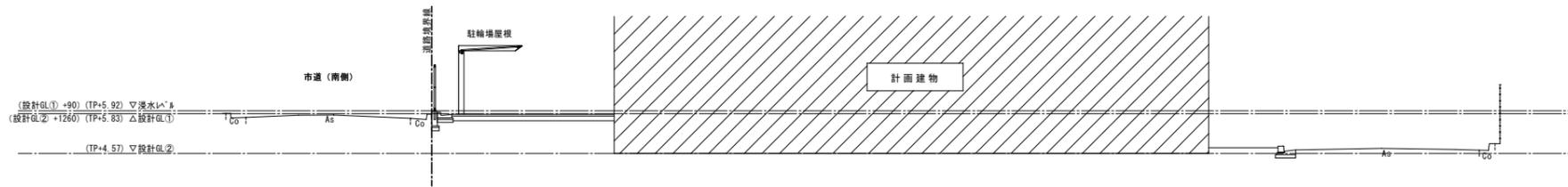
特記事項	株式会社 緯企画設計 一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第335100号 山本 隆一	製作者 明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日 2025年 8月	工事名称 (仮称)上下水道庁舎建設工事 図面名称 上下水道庁舎 計画敷地横断面(1)	縮尺 A1:1/100,200 A3:1/200,400	当 初
						変 更
						完 成 A-16①



F-F断面図 S=1/100

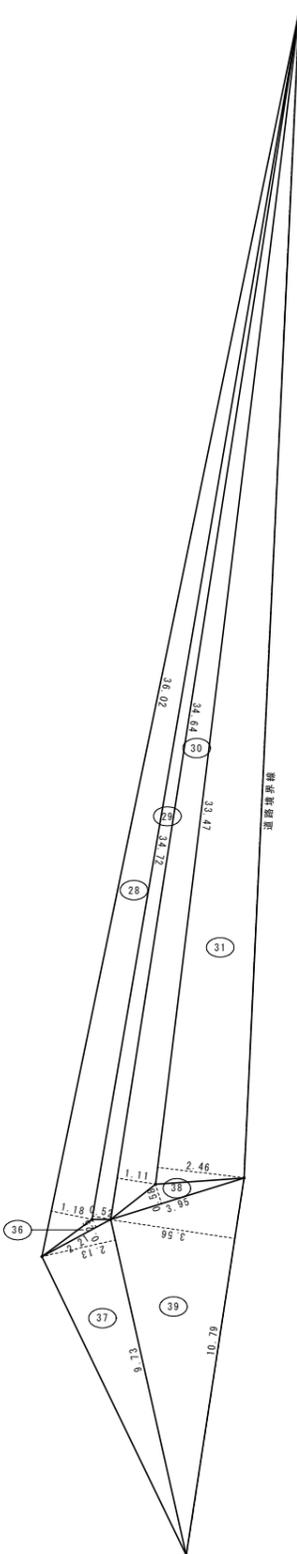


E-E断面図 S=1/100

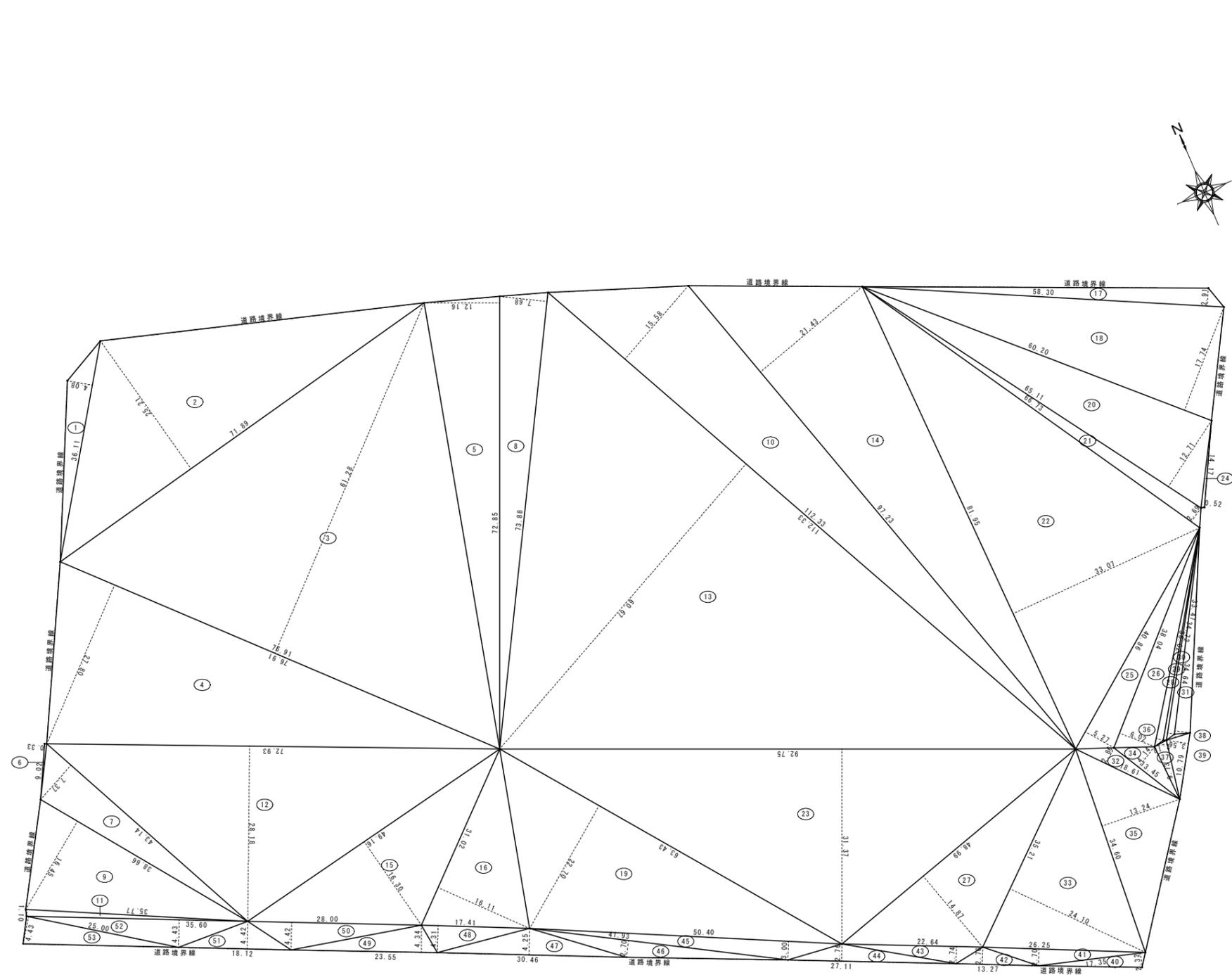


D-D断面図 S=1/100

特記事項		株式会社 緯企画設計 一般建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号 管理建築士 一般建築士(大臣) 第335100号 山本 裕一	製作者 明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日 2025年 8月	工事名称 (仮称)上下水道庁舎建設工事 図面名称 上下水道庁舎 計画敷地横断面(2)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 A-16②	当初・変更・完成 <input type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 完成
			図名 上下水道庁舎 計画敷地横断面(2)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 A-16②	当初・変更・完成 <input type="checkbox"/> 当初 <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 完成		

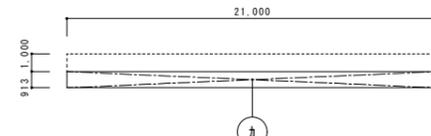


拡大図 1/100



敷地求積図 1/400

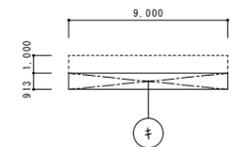
番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	36.11	4.08	147.3288	73.66440
2	71.89	25.21	1,812.2469	906.17345
3	76.91	61.28	4,713.0448	2,356.52240
4	76.91	27.80	2,138.0980	1,069.04900
5	72.85	12.16	885.8560	442.92800
6	9.02	0.33	2.9766	1.48830
7	43.14	7.37	317.9418	158.97090
8	73.88	7.68	567.3984	283.69920
9	38.66	16.45	635.9570	317.97850
10	112.33	15.58	1,750.1014	875.05070
11	35.77	1.10	39.3470	19.67350
12	72.93	28.18	2,055.1674	1,027.58370
13	112.33	60.67	6,815.0611	3,407.53055
14	97.23	21.43	2,083.6389	1,041.81945
15	49.16	16.30	801.3080	400.65400
16	31.02	16.11	499.7322	249.86610
17	58.30	2.91	169.6530	84.82650
18	60.20	17.74	1,067.9480	533.97400
19	63.43	22.70	1,439.8610	719.93050
20	65.11	12.71	827.5481	413.77405
21	66.73	2.69	179.5037	89.75185
22	81.95	33.07	2,710.0865	1,355.04325
23	92.75	31.37	2,909.5675	1,454.78375
24	14.17	0.52	7.3684	3.68420
25	40.86	5.27	215.3322	107.66610
26	38.04	6.02	229.0008	114.50040
27	48.99	14.87	728.4813	364.24065
28	36.02	1.18	42.5036	21.25180
29	34.72	0.52	18.0544	9.02720
30	34.64	1.11	38.4504	19.22520
31	33.47	2.46	82.3362	41.16810
32	18.61	2.86	53.2246	26.61230
33	35.21	24.10	848.5610	424.28050
34	13.45	4.14	55.6830	27.84150
35	34.60	13.24	458.1040	229.05200
36	2.21	0.25	0.5525	0.27625
37	9.73	2.13	20.7249	10.36245
38	3.95	0.58	2.2910	1.14550
39	10.79	3.56	38.4124	19.20620
40	17.35	2.32	40.2520	20.12600
41	26.25	2.70	70.8750	35.43750
42	13.27	2.76	36.6252	18.31260
43	22.64	2.74	62.0336	31.01680
44	27.11	2.76	74.8236	37.41180
45	50.40	3.00	151.2000	75.60000
46	41.93	2.70	113.2110	56.60550
47	30.46	4.25	129.4550	64.72750
48	17.41	4.31	75.0371	37.51855
49	23.55	4.34	102.2070	51.10350
50	28.00	4.42	123.7600	61.88000
51	18.12	4.42	80.0904	40.04520
52	35.60	4.43	157.7080	78.85400
53	25.00	4.43	110.7500	55.37500
合 計				19,368.29035
敷地面積				19,368.29 m ²



建築面積積算表(駐輪場+n'位置)

建築面積算定根拠		
記号	計算式(m×m)	面積(m ²)
㉓	21,000 × 0.913	19,173
改め		19.17

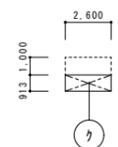
建築面積積算図(駐輪場+n'位置) S=1/200



建築面積積算表(n'位置)

建築面積算定根拠		
記号	計算式(m×m)	面積(m ²)
㉔	9,000 × 0.913	8,217
改め		8.22

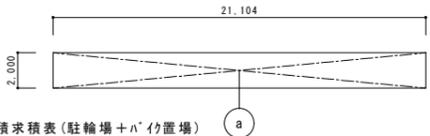
建築面積積算図(n'位置) S=1/200



建築面積積算表(駐輪場)

建築面積算定根拠		
記号	計算式(m×m)	面積(m ²)
㉕	2,600 × 0.913	2,374
改め		2.37

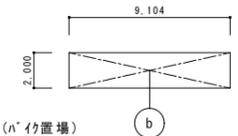
建築面積積算図(駐輪場) S=1/200



床面積積算表(駐輪場+n'位置) ㉖

記号	計算式(m×m)	面積(m ²)
㉖	21,104 × 2,000	42,208
改め		42.21

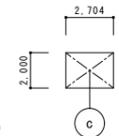
床面積積算図(駐輪場+n'位置) S=1/200



床面積積算表(n'位置) ㉗

記号	計算式(m×m)	面積(m ²)
㉗	9,104 × 2,000	18,208
改め		18.21

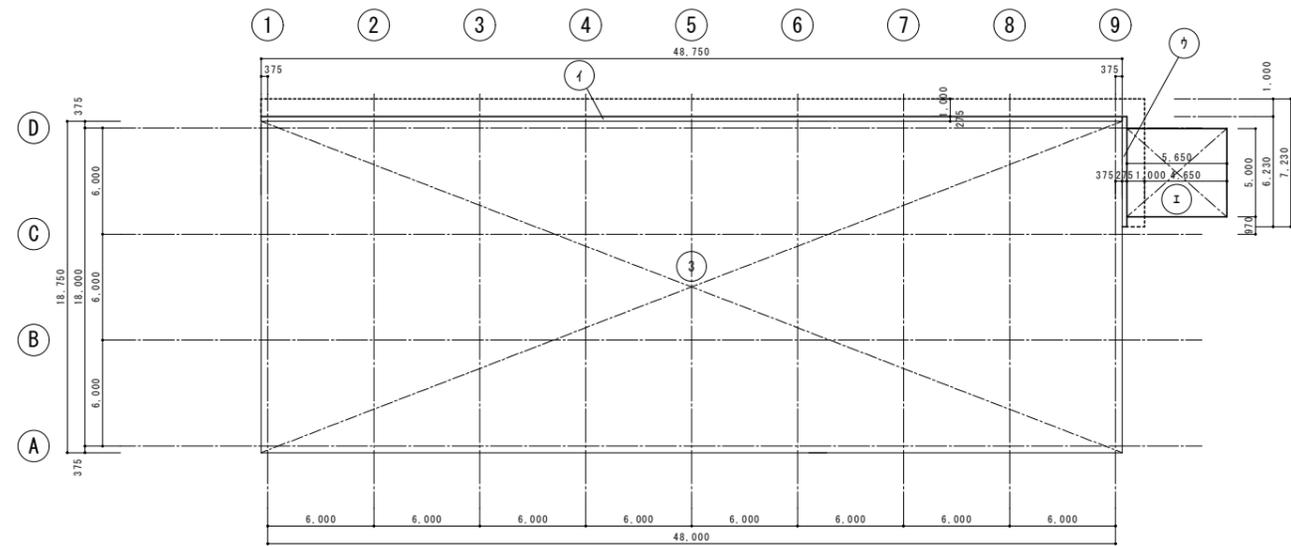
床面積積算図(n'位置) S=1/200



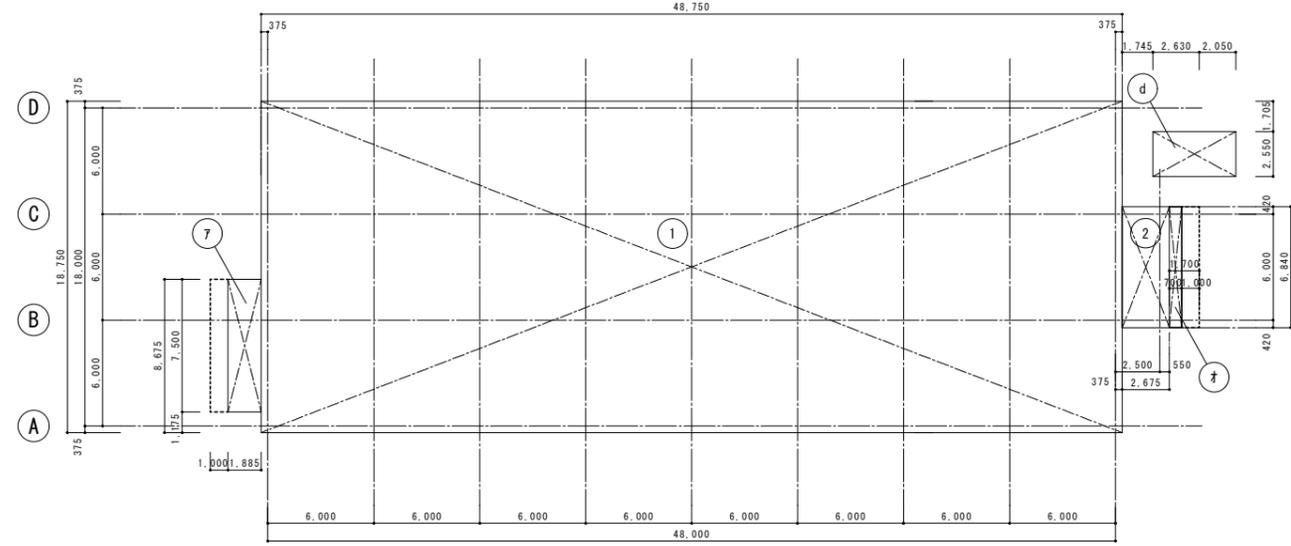
床面積積算表(駐輪場) ㉘

記号	計算式(m×m)	面積(m ²)
㉘	2,704 × 2,000	5,408
改め		5.41

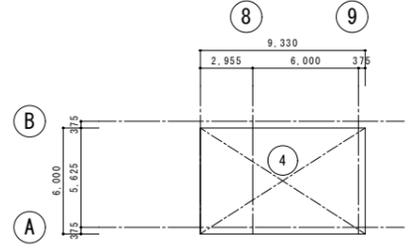
床面積積算図(駐輪場) S=1/200



2階床面積積算図(庁舎) S=1/200



1階床面積積算図(庁舎) S=1/200



3階床面積積算図(庁舎) S=1/200

床面積積算表(庁舎)

3階 床面積算定式		
記号	計算式(m×m)	面積(m ²)
㉙	9,330 × 6,000	55,980
改め		55.98

2階 床面積算定式		
記号	計算式(m×m)	面積(m ²)
㉚	48,750 × 18,750	914,063
改め		914.06

1階 床面積算定式		
記号	計算式(m×m)	面積(m ²)
㉛	48,750 × 18,750	914,063
㉜	2,675 × 6,840	18,297
㉝	4,680 × 2,550	11,934
㉛ + ㉜ + ㉝		944,294
改め		944.29

延べ床面積 (m ²)		
1階		944.29
2階		914.06
3階		55.98
合計		1,914.33

建築面積積算表(庁舎)

建築面積算定根拠		
記号	計算式(m×m)	面積(m ²)
㉞	1,885 × 7,500	14,138
㉟	48,750 × 0.275	13,406
㊱	0.275 × 6,230	1,713
㊲	5,650 × 5,000	28,250
㊳	0.700 × 6,840	4,788

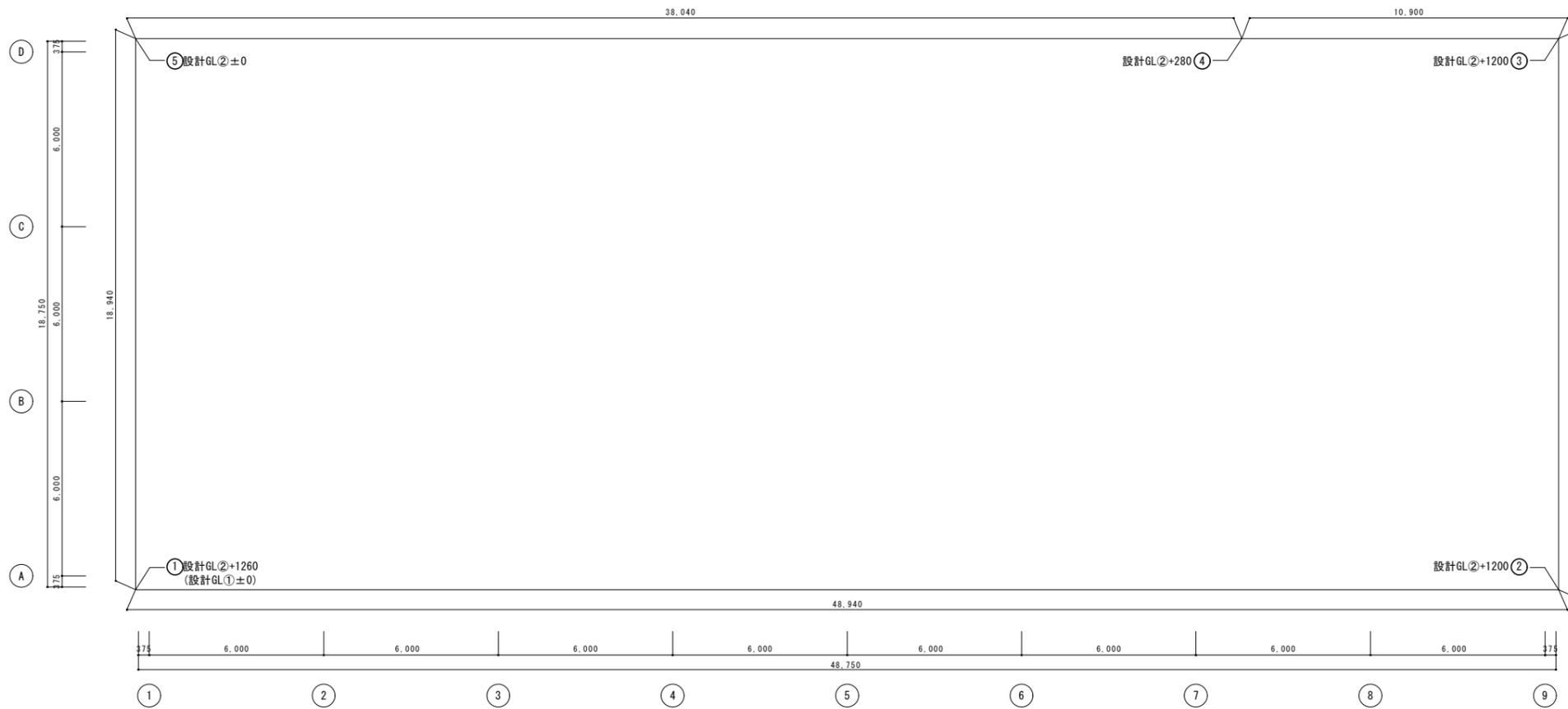
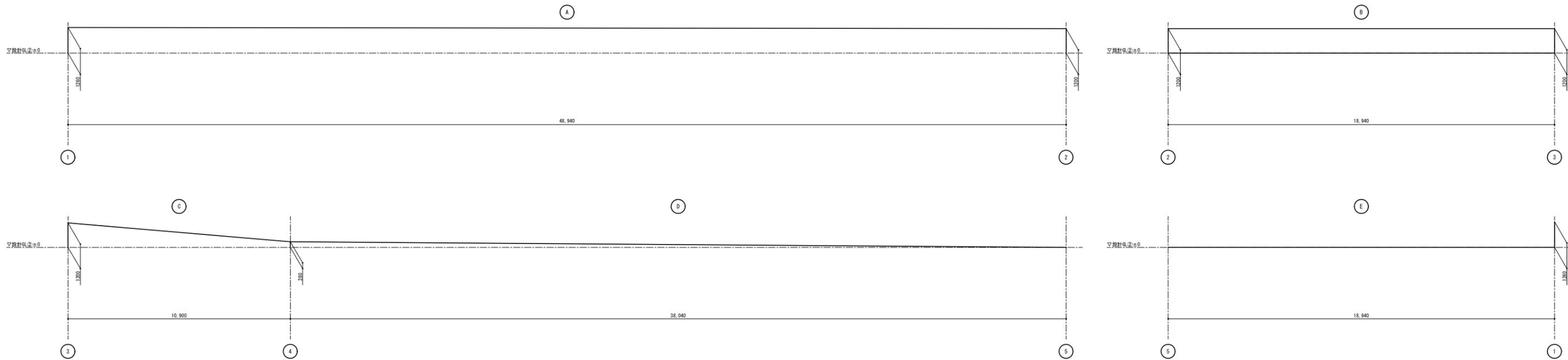
建築面積算定式 (m ²)		
㉛ + ㉜ + ㉞ + ㉟ + ㊱ + ㊲ + ㊳		994,655
改め		994.66 ㉟

面積表

床面積(庁舎)	1,914.33
床面積(駐輪場+n'位置)	42.21 ㉖
床面積(n'位置)	18.21 ㉗
床面積(駐輪場)	5.41 ㉘
合計	1,980.16
延べ床面積 (m ²)	1,980.16 ㉟
床面積(n'位置)	11.93 ㉜
E V (昇降路) (m ²)	
7.03 + 7.03	14.06 ㉝
容積対象の延べ床面積 (m ²)	
㉟ - (㉖ + ㉗ + ㉘ + ㉜ + ㉝)	1,888.34

面積表

建築面積 (m ²)	
㉖ + ㉗ + ㉘ + ㉟	1,024.42



Ⓐ	$(1.260 + 1.200) \times 48.940 \times 0.5 = 60.1962$
Ⓑ	$1.200 \times 18.940 = 22.7280$
Ⓒ	$(1.200 + 0.280) \times 10.900 \times 0.5 = 8.066$
Ⓓ	$38.040 \times 0.290 \times 0.5 = 5.5158$
Ⓔ	0
合計 96.506	

平均地盤面の計算

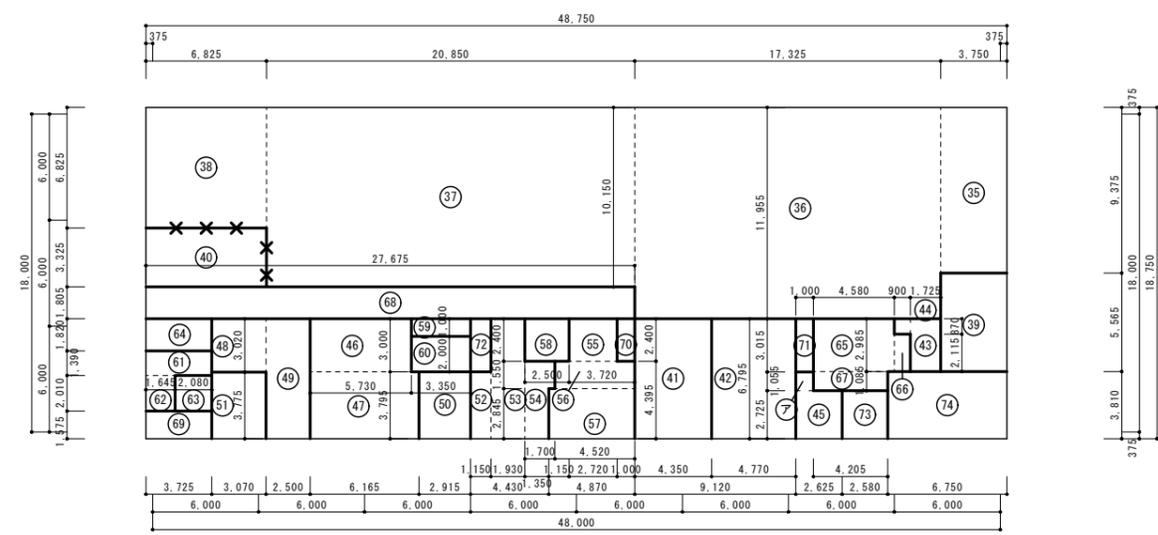
面積合計	96.506 m ²
全周長	48.940+18.940+10.900+38.040+18.940=135.760 m
平均地盤面	$96.506 \div 135.76 = 0.710\text{m}$

よって平均地盤面=設計GL②+710

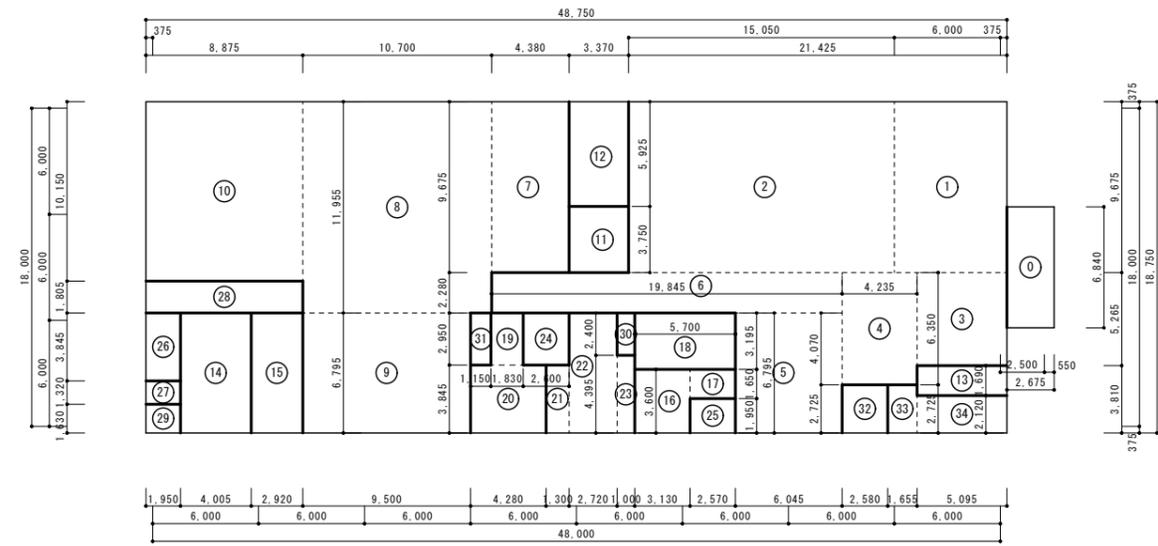


※(40)の×部分の間仕切りを取止め、水道エリアとする。
 以後の図面で訂正されていない「管理者室」は「水道エリア」と読み替える。

3階求積図 S=1/200



2階求積図 S=1/200



1階求積図 S=1/200

1階	風除室	①	2.675 × 6.840 = 18.297	18.297 → 18.30
	ホール 台帳閲覧コーナー お客様センター	②	6.375 × 9.675 = 61.678	
		③	15.050 × 9.675 = 145.609	
		④	5.095 × 5.265 = 26.825	
		⑤	4.235 × 6.350 = 26.892	
		⑥	6.045 × 6.795 = 41.076	
	⑦	19.845 × 2.280 = 45.247		
				347.327 → 347.33
	下水道エリア	⑧	4.380 × 9.675 = 42.377	
		⑨	10.700 × 11.955 = 127.919	
		⑩	9.500 × 6.795 = 64.553	
		⑪	8.875 × 10.150 = 90.081	
	倉庫(1)	⑫	3.370 × 3.750 = 12.638	12.638 → 12.64
		⑬	3.370 × 5.925 = 19.967	19.967 → 19.97
⑭		5.095 × 1.690 = 8.611	8.611 → 8.61	
男子更衣室	⑮	4.005 × 6.795 = 27.214	27.214 → 27.21	
	⑯	2.920 × 6.795 = 19.841	19.841 → 19.84	
女子更衣室	⑰	3.130 × 3.600 = 11.268		
	⑱	2.570 × 1.650 = 4.240	15.508 → 15.51	
更衣室(1)	⑲	5.700 × 3.195 = 18.212	18.212 → 18.21	
	⑳	1.830 × 2.950 = 5.399		
更衣室(2)	㉑	4.280 × 3.845 = 16.457		
	㉒	2.185 × 2.850 = 6.227	21.856 → 21.86	
男子便所	㉓	1.300 × 3.845 = 4.999		
	㉔	2.720 × 6.795 = 18.482		
	㉕	1.000 × 4.395 = 4.395	27.876 → 27.88	
女子便所	㉖	2.600 × 2.950 = 7.670	7.670 → 7.67	
	㉗	2.570 × 1.950 = 5.012	5.012 → 5.01	
多機能便所	㉘	1.950 × 3.845 = 7.498	7.498 → 7.50	
	㉙	1.950 × 1.320 = 2.574	2.574 → 2.57	
湯沸室(1)	㉚	8.875 × 1.805 = 16.019	16.019 → 16.02	
	㉛	1.950 × 1.630 = 3.179	3.179 → 3.18	
湯沸室(2)	㉜	1.000 × 2.400 = 2.400	2.400 → 2.40	
	㉝	1.150 × 2.950 = 3.393	3.393 → 3.39	
倉庫(6)	㉞	2.580 × 2.725 = 7.031	7.031 → 7.03	
	㉟	1.655 × 2.725 = 4.510		
廊下	㊱	5.095 × 2.120 = 10.801	15.311 → 15.31	
	㊲			

来客エリア部分収容人員算定表

ホール	②	6.375 × 9.675 = 61.678
台帳閲覧コーナー	③	5.095 × 5.265 = 26.825
	④	4.235 × 6.350 = 26.892
	⑤	19.845 × 2.280 = 45.247
	⑥	
		160.642 → 160.64
		外来収容人員算定
		160.64/3=53.54→54人

2階	水道エリア	⑳	3.750 × 9.375 = 35.156	
		㉑	17.325 × 11.955 = 207.120	
		㉒	20.850 × 10.150 = 211.628	
		㉓	6.825 × 6.825 = 46.581	
				500.485 → 500.49
	工事日報	㉔	3.750 × 5.565 = 20.869	20.869 → 20.87
		㉕	6.825 × 3.325 = 22.693	22.693 → 22.69
	/MAP端末ルーム	㉖	4.350 × 6.795 = 29.558	29.558 → 29.56
		㉗	4.770 × 6.795 = 32.412	32.412 → 32.41
	管理書室(間仕切り取止)	㉘	1.725 × 2.985 = 5.149	5.932 → 5.93
		㉙	0.900 × 0.870 = 0.783	8.208 → 8.21
	水道エリアとする。	㉚	2.625 × 2.725 = 7.153	7.153 → 7.15
		㉛	1.000 × 1.055 = 1.055	1.055 → 1.05
	会議室(1)	㉜	8.208 × 8.21	17.190 → 17.19
		㉝	5.730 × 3.000 = 17.190	23.396 → 23.39
倉庫(4)	㉞	6.165 × 3.795 = 23.396	40.586 → 40.59	
	㉟	3.070 × 3.020 = 9.271	9.271 → 9.27	
倉庫(5)	㊱	2.500 × 6.795 = 16.988	16.988 → 16.99	
	㊲	2.625 × 2.725 = 7.153	26.259 → 26.26	
男子更衣室	㊳	2.915 × 3.795 = 11.062	11.062 → 11.06	
	㊴	3.070 × 3.775 = 11.589	11.589 → 11.59	
女子更衣室	㊵	1.150 × 3.795 = 4.364		
	㊶	1.930 × 6.795 = 13.114		
休養室(男子)	㊷	1.700 × 1.550 = 2.635		
	㊸	1.350 × 2.845 = 3.841	23.954 → 23.95	
休養室(女子)	㊹	2.720 × 2.400 = 6.528	6.528 → 6.53	
	㊺	4.520 × 1.550 = 7.006	7.006 → 7.01	
男子便所	㊻	4.870 × 2.845 = 13.855	13.855 → 13.86	
	㊼	2.720 × 2.400 = 6.528	27.389 → 27.39	
女子便所	㊽	4.870 × 2.845 = 13.855	13.855 → 13.86	
	㊾	2.500 × 2.400 = 6.000	6.000 → 6.00	
多機能便所	㊿	6.000 × 6.000 = 36.000	36.000 → 36.00	
	㊱	3.350 × 1.000 = 3.350	3.350 → 3.35	
シャワールーム(男子)	㊲	3.350 × 1.000 = 3.350	3.350 → 3.35	
	㊳	3.350 × 2.000 = 6.700	6.700 → 6.70	
更衣室(男子)	㊴	6.700 × 6.700 = 44.890	44.890 → 44.89	
	㊵	3.725 × 1.390 = 5.178	5.178 → 5.18	
ユニットシャワー(男子)	㊶	1.645 × 2.010 = 3.306	3.306 → 3.31	
	㊷	8.484 × 8.484 = 72.068	72.068 → 72.07	
シャワールーム(女子)	㊸	2.080 × 2.010 = 4.181	4.181 → 4.18	
	㊹	4.181 × 4.181 = 17.478	17.478 → 17.48	
更衣室(女子)	㊺	3.725 × 1.820 = 6.780	6.780 → 6.78	
	㊻	3.725 × 1.820 = 6.780	6.780 → 6.78	
ユニットシャワー(女子)	㊼	4.580 × 2.985 = 13.671	13.671 → 13.67	
	㊽	0.900 × 2.115 = 1.904	1.904 → 1.90	
湯沸室(3)	㊾	4.205 × 1.085 = 4.562	4.562 → 4.56	
	㊿	1.000 × 1.055 = 1.055	1.055 → 1.06	
廊下(1)	㊱	21.192 × 21.192 = 448.112	448.112 → 448.11	
	㊲	27.675 × 1.805 = 49.953	49.953 → 49.95	
廊下(2)	㊳	49.953 × 49.953 = 2495.520	2495.520 → 2495.52	
	㊴	3.725 × 1.575 = 5.867	5.867 → 5.87	
PS	㊵	5.867 × 5.867 = 34.412	34.412 → 34.41	
	㊶	1.000 × 2.400 = 2.400	2.400 → 2.40	
PS	㊷	2.400 × 2.400 = 5.760	5.760 → 5.76	
	㊸	1.000 × 3.015 = 3.015	3.015 → 3.02	
PS	㊹	3.015 × 3.015 = 9.090	9.090 → 9.09	
	㊺	1.150 × 3.000 = 3.450	3.450 → 3.45	
EPS	㊻	3.450 × 3.450 = 11.903	11.903 → 11.90	
	㊼	2.580 × 2.725 = 7.031	7.031 → 7.03	
EV	㊽	7.031 × 7.031 = 49.435	49.435 → 49.44	
	㊾	6.750 × 3.810 = 25.718	25.718 → 25.72	
階段室	㊿	25.718 × 25.718 = 661.212	661.212 → 661.21	
	㊱	9.330 × 6.000 = 55.980	55.980 → 55.98	
3階	㊲	55.980 × 55.980 = 3133.764	3133.764 → 3133.76	
	㊳			

採光・換気・排煙検討

階	室名	面積	採光計算							換気計算							排煙計算												
			採光率 (分母)	必要面積	建具符号	採光補正	W	H	箇所	有効面積	判定	換気率 (分母)	必要面積	建具符号	W	H	開口係数	箇所	有効面積	判定	排煙率 (分母)	必要面積	建具符号	W	H	開口係数	箇所	有効面積	判定
1	風除室	18.297			-																							告示 1436-4-ハ(2)	
	合計	18.30	-	-																								OK	
	ホール 台機間置コーナー お客様センター	347.327			AW-1 AW-2 AW-5A AW-7.7A	3	0.870 0.713 0.870 0.870	1.860 1.860 1.860 1.860	4 4 1 2	19.418 15.914 4.855 9.709			AW-1 AW-1 AW-2 AW-7.7A	0.870 0.713 0.713 0.870	1.860 1.860 1.860 1.860	1.0 1.0 1.0 1.0	4 8 4 2	6.473 3.936 5.305 3.236					AW-1 AW-2 AW-5A AW-7.7A	0.713 0.713 0.713 0.675	0.690 0.760 0.690 0.690	1.0 1.0 1.0 1.0	8 4 2 4	3.936 2.168 0.984 1.863	
	合計	347.33	20	17.367					49.896	OK	20	17.367					18.950	OK	50	6.947							8.951	OK	
	下水道エリア	324.930			AW-1 AW-5	3	0.870 0.870	1.860 1.860	12 2	58.255 9.709			AW-1 AW-5	0.870 0.870	1.860 1.860	1.0 1.0	12 2	19.418 3.236					AW-1 AW-5	0.713 0.713	0.690 0.690	1.0 1.0	24 2	11.807 0.984	
	合計	324.93	20	16.247					67.964	OK	20	16.247					22.654	OK	50	6.499							12.791	OK	
	倉庫(1)	12.638			-																							告示 1436-4-ハ(2)	
	合計	12.64	-	-																50	0.253							OK	
	倉庫(2)	19.967			-																							告示 1436-4-ハ(2)	
	合計	19.97	-	-																50	0.399							OK	
	倉庫(3)	8.611			-																							告示 1436-4-ハ(2)	
	合計	8.61	-	-																50	0.172							OK	
	男子更衣室	27.214			-																		AW-12	0.765	0.460	1.0	3	1.056	
	合計	27.21	-	-																50	0.544							1.056	OK
	女子更衣室	19.841			-																		AW-13	0.713	0.460	1.0	2	0.656	
	合計	19.84	-	-																50	0.397							0.656	OK
	更衣室(1)	15.508			-																							告示 1436-4-ハ(2)	
	合計	15.51	-	-																50	0.310							OK	
	更衣室(2)	18.212			-																							告示 1436-4-ハ(2)	
	合計	18.21	-	-																50	0.364							OK	
	男子便所	21.856			-																							告示 1436-4-ハ(2)	
	合計	21.86	-	-																50	0.437							OK	
	女子便所	27.876			-																							告示 1436-4-ハ(2)	
	合計	27.88	-	-																50	0.558							OK	
	多機能便所	7.670			-																							告示 1436-4-ハ(2)	
	合計	7.67	-	-																50	0.153							OK	
	湯沸室(1)	5.012			-																							告示 1436-4-ハ(2)	
	合計	5.01	-	-																50	0.100							OK	
	湯沸室(2)	7.498			-																							告示 1436-4-ハ(2)	
	合計	7.50	-	-																50	0.150							OK	
	倉庫(6)	2.574			-																							告示 1436-4-ハ(2)	
	合計	2.57	-	-																50	0.051							OK	
	廊下	16.019			-																		SD-1	1.350	0.760	1.0	1	1.026	
	合計	16.02	-	-																50	0.320							1.026	OK

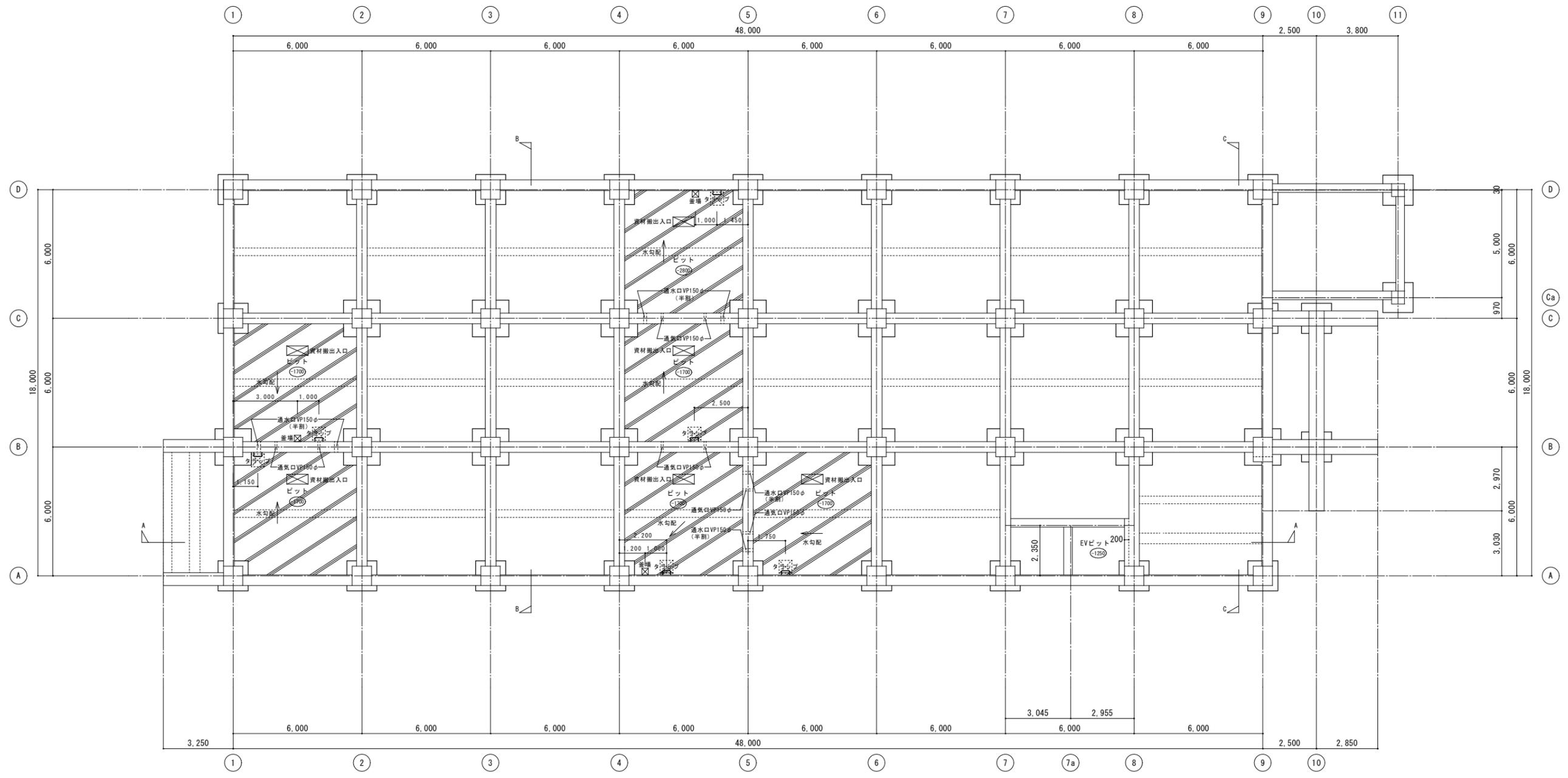
※ P.S.、E.P.Sの排煙については告示1436-4-ハ(2)を適用するものとする

階	床面積	消防法無窓階計算												
		開口率 (分母)	必要面積	建具符号	W	H	開口係数	箇所	有効面積	判定				
1	944.29			AW-1 AW-1	0.870 1.495	1.860 1.100	1.0 1.0	10 10	16.182 16.445					
合計	944.29	30	31.476							32.627	OK			
2	914.06			AW-3 AW-3	0.870 1.495	1.760 1.100	1.0 1.0	12 12	18.374 19.734					
合計	914.06	30	30.469							38.108	OK			
3	55.98			AW-17	0.800	1.260	1.0	2	2.016					
合計	55.98	30	1.866							2.016	OK			

採光・換気・排煙検算

階	室名	面積	採光計算							換気計算							排煙計算										
			採光率 (分母)	必要面積	建具符号	開口部			有効面積	判定	換気率 (分母)	必要面積	建具符号	開口部			判定	排煙率 (分母)	必要面積	建具符号	開口部			判定			
						採光補正	W	H						箇所	W	H					開口係数	箇所	有効面積		W	H	開口係数
2	水道エリア	500.485			AW-3 AW-4	3	0.870 0.713	1.760 1.760	16 10	73.498 37.646			AW-3 AW-4	0.870 0.713	1.760 1.760	1.0 1.0	16 10	24.499 12.549			AW-3 AW-4	0.713 0.713	0.590 0.660	1.0 1.0	32 6	13.461 2.823	
	合計	500.49	20	25.025					111.144	OK	20	25.025						37.045	OK	50	10.010					16.284	OK
	工事日報 /MAP端末ルーム	20.869			AW-4	3	0.713	1.760	2	7.529			AW-4	0.713	1.760	1.0	2	2.510			AW-4	0.713	0.660	1.0	2	0.941	
	合計	20.87	20	1.044					7.529	OK	20	1.044						2.510	OK	50	0.417					0.941	OK
	管理倉庫(間仕切り取止め) ⇒水道エリア	22.693			AW-6	3	0.870	1.760	1	4.594			AW-6	0.870	1.760	1.0	1	1.531			AW-6	0.713	0.590	1.0	2	0.841	
	合計	22.69	20	1.135					4.594	OK	20	1.135						1.531	OK	50	0.454					0.841	OK
	会議室(1)	29.558			AW-9 AW-10	3	0.870 0.870	1.760 1.760	1 1	4.594 4.594			AW-9 AW-10	0.870 0.870	1.760 1.760	1.0 1.0	1 1	1.531 1.531			AW-9 AW-10	0.524 0.870	0.590 0.660	1.0 1.0	2 1	0.618 0.574	
	合計	29.56	20	1.478					9.188	OK	20	1.478						3.062	OK	50	0.591					1.192	OK
	会議室(2)	32.412			AW-8	3	0.870	1.760	1	4.594			AW-8	0.870	1.760	1.0	1	1.531			AW-8	0.675	0.590	1.0	2	0.797	
	合計	32.41	20	1.621					4.594	OK	20	1.621						2.328	OK	50	0.648					0.797	OK
	倉庫(4)	5.932			-							-								-							告示 1436-4-(2)
	合計	5.93	-	-								-															OK
	倉庫(5)	8.208			-							-								-							告示 1436-4-(2)
	合計	8.21	-	-								-															OK
	男子更衣室	40.586			-							-								-							告示 1436-4-(2)
	合計	40.59	-	-								-															OK
	女子更衣室	26.259			-							-								-							告示 1436-4-(2)
	合計	26.26	-	-								-															OK
	休養室(男子)	11.062			AW-14	3	0.600	1.310	2	4.716			AW-14	0.600	1.310	1.0	2	1.572			AW-14	0.600	0.460	1.0	2	0.552	
	合計	11.06	20	0.553						4.716	OK	20	0.553					1.572	OK	50	0.221					0.552	OK
	休養室(女子)	11.589			AW-14	3	0.600	1.310	2	4.716			AW-14	0.600	1.310	1.0	2	1.572			AW-14	0.600	0.460	1.0	2	0.552	
	合計	11.59	20	0.580						4.716	OK	20	0.580					1.572	OK	50	0.232					0.552	OK
	男子便所	23.954			-							-								-							告示 1436-4-(2)
	合計	23.95	-	-								-															OK
	女子便所	27.389			-							-								-							告示 1436-4-(2)
	合計	27.39	-	-								-															OK
	多機能便所	6.000			-							-								-							告示 1436-4-(2)
	合計	6.00	-	-								-															OK
	シャワールーム(男子)	3.350			-							-								-							告示 1436-4-(2)
	合計	3.35	-	-								-															OK
	脱衣室(男子)	6.700			-							-								-							告示 1436-4-(2)
	ユニットシャワー(男子)	6.70			-							-								-							告示 1436-4-(2)
	合計	6.70	-	-								-															OK
	シャワールーム(女子)	8.484			-							-								-							告示 1436-4-(2)
	合計	8.48	-	-								-															OK
	脱衣室(女子)	4.181			-							-								-							告示 1436-4-(2)
	合計	4.18	-	-								-															OK
	湯沸室(3)	6.780			-							-								-							告示 1436-4-(2)
	合計	6.78	-	-								-															OK
	廊下(1)	21.192			-							-								-							告示 1436-4-(2)
	合計	21.19	-	-								-															OK
	廊下(2)	49.953			-							-								-							告示 1436-4-(2)
	合計	49.95	-	-								-															OK

※P.S.、EPSの排煙については告示1436-4-(2)を適用するものとする



ピット平面図 1/100

(凡例)

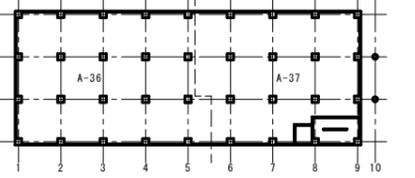
	FLからの仕上げ高さを示す
	コンクリート押入の上浸透性塗布防水(357'厚及び配筋は構造図参照)

※各ピットに資材搬出入口1000×450程度を設けるため開口補強を6ヶ所見込むこと
 ※各ピット以外の部分は埋戻しとする。



2階平面図 1/100

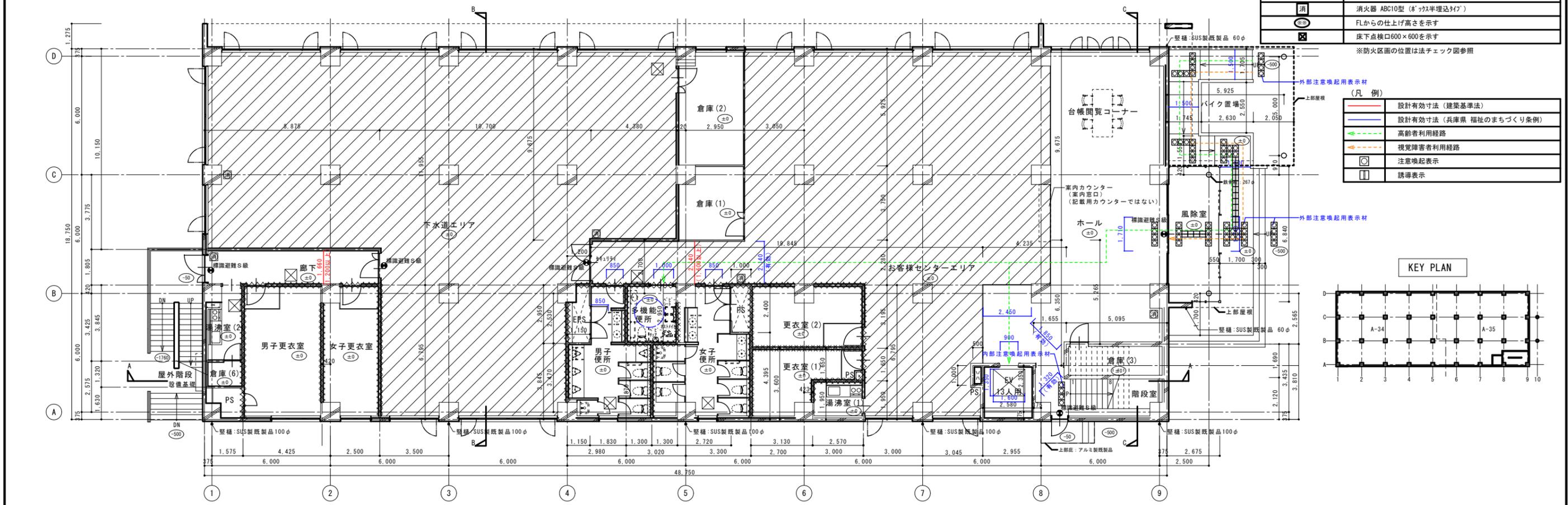
KEY PLAN



(凡例)

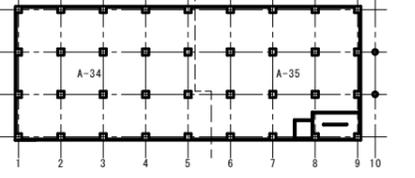
	鉄筋コンクリート壁
	軽鉄壁 (一般LGS90 GB-R t=12.5+GB-R t=12.5 両面)
	軽鉄壁 (遮音壁)
	(一般LGS90 GB-R t12.5+GB-R t12.5+仕上 両面) (GW32K t=75充填) (一般LGS90 GB-R t12.5+GB-S t12.5+仕上 両面) (GW32K t=75充填) ※遮音壁は天井裏又は小屋裏まで隙間無く施工すること
	OAファン範囲を示す
	消火器: SUS製既製品100φ、60φ (備み金物: SUS製焼付塗装品#1,200)
	消火器: ABC10型 (ホック半埋込型)
	FLからの仕上げ高さを示す
	床下点検口600×600を示す

※防火区画の位置は法チェック図参照



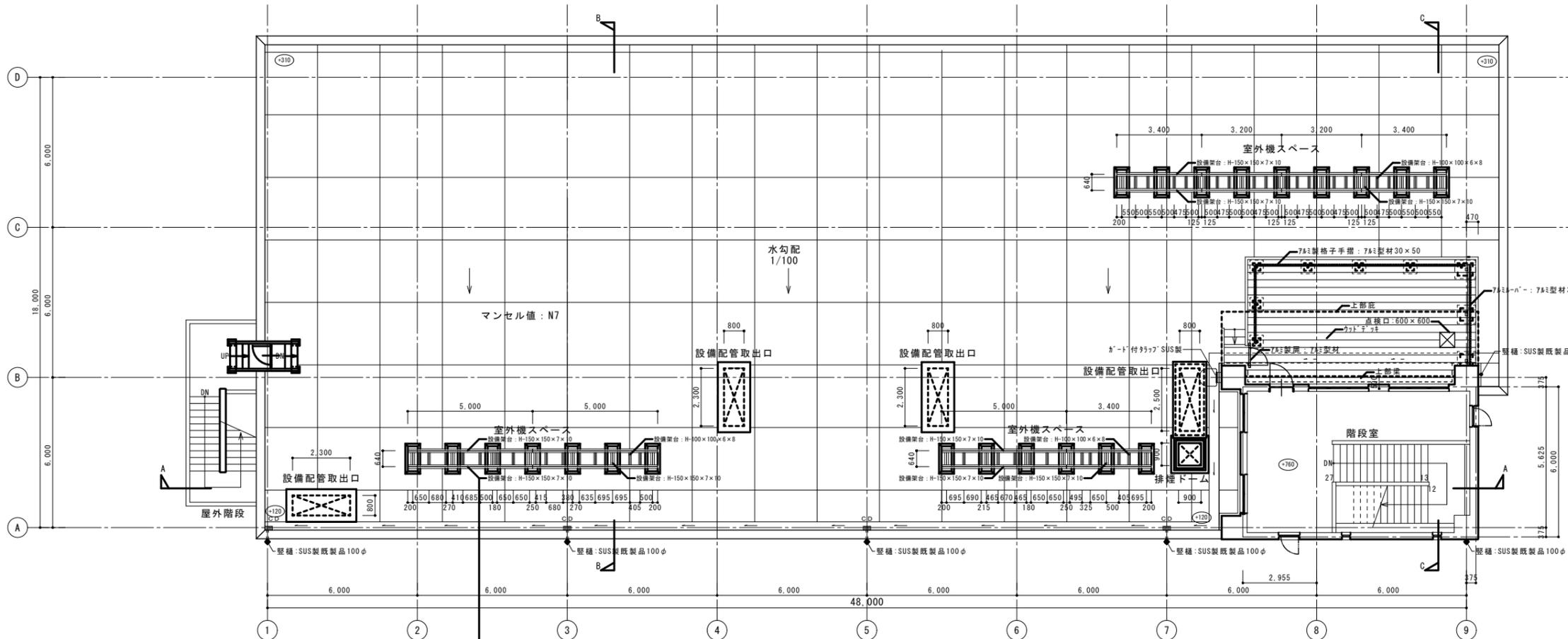
1階平面図 1/100

KEY PLAN



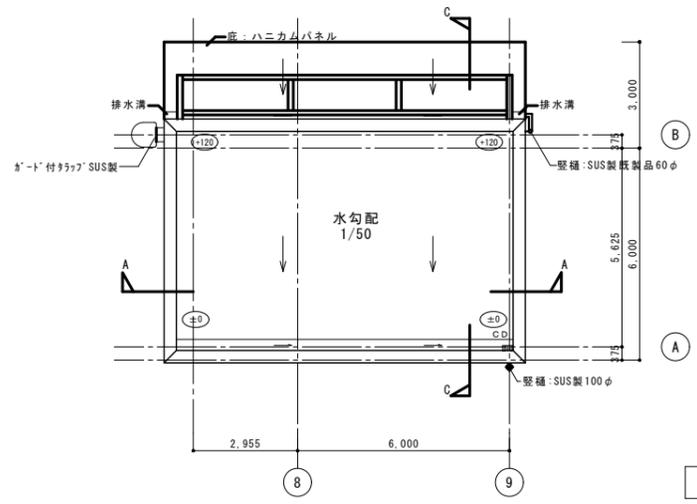
(凡例)

	設計有効寸法 (建築基準法)
	設計有効寸法 (兵庫県 福祉のまちづくり条例)
	高齢者利用経路
	視覚障害者利用経路
	注意喚起表示
	誘導表示



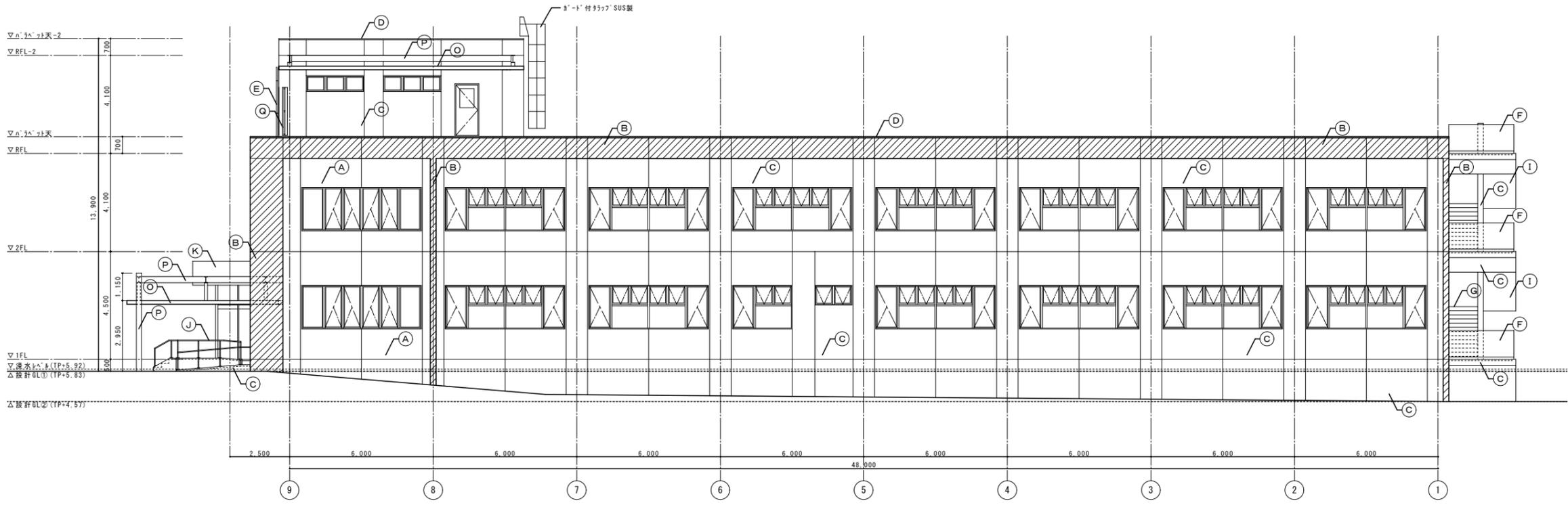
3階平面図、屋根伏図 1/100

● RFLからの仕上げ高さを示す

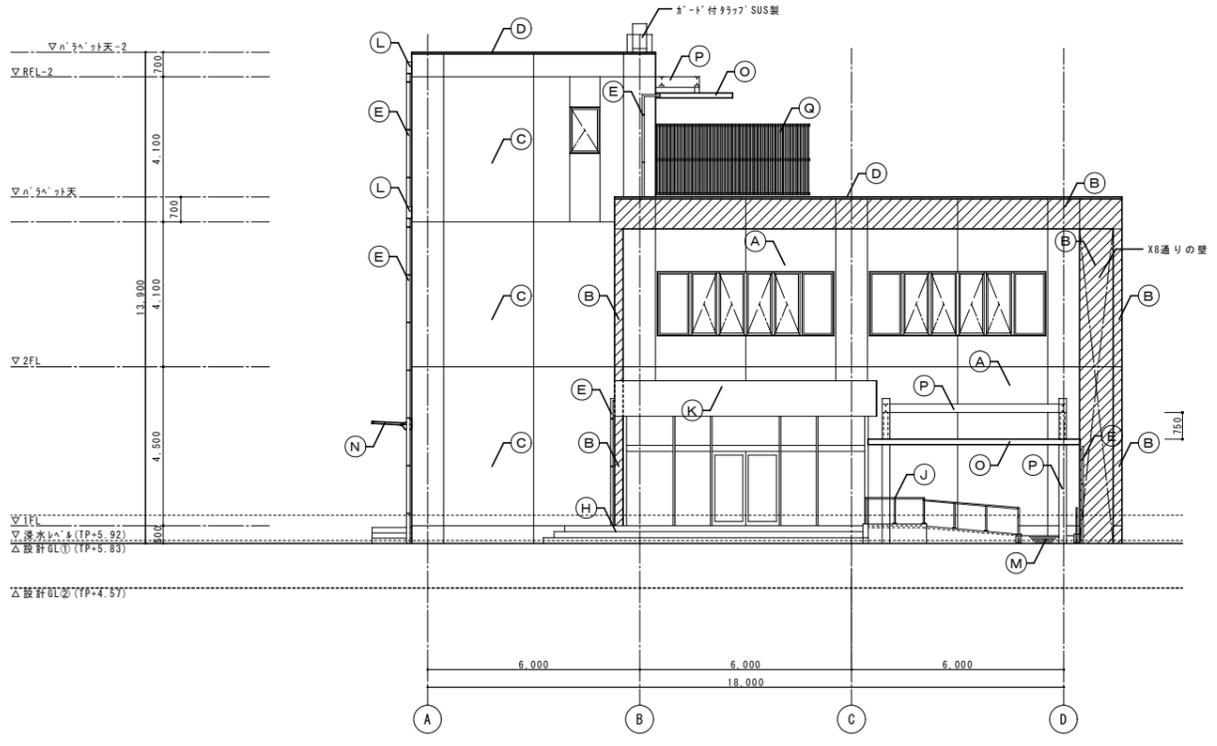


3階屋根伏図 1/100

● RFL-2からの仕上げ高さを示す



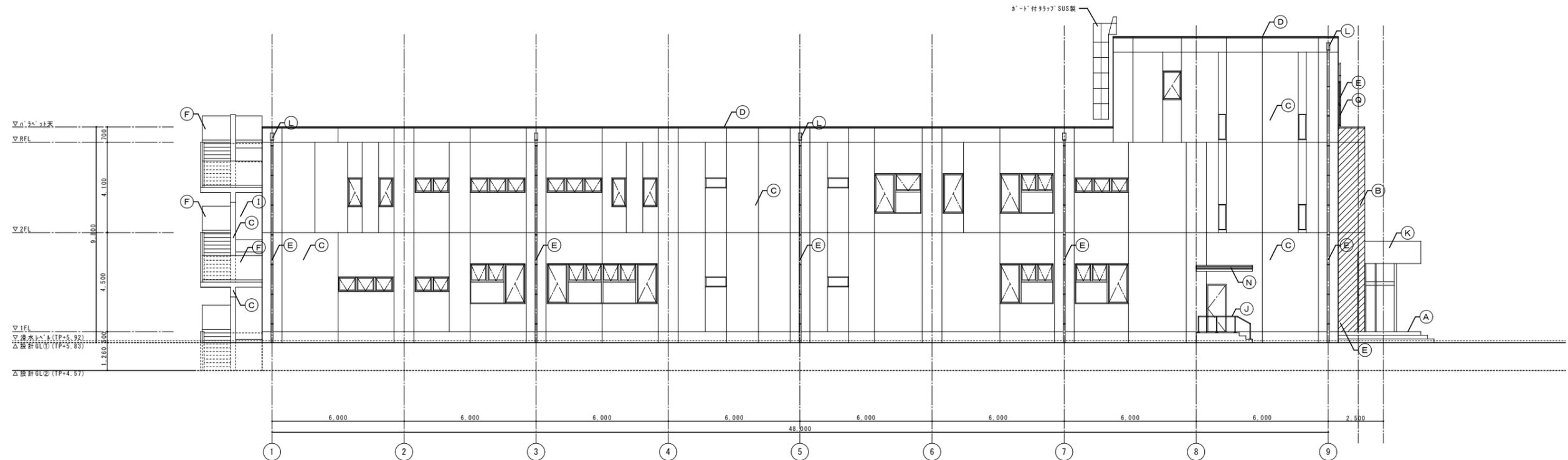
北側立面図 1/100



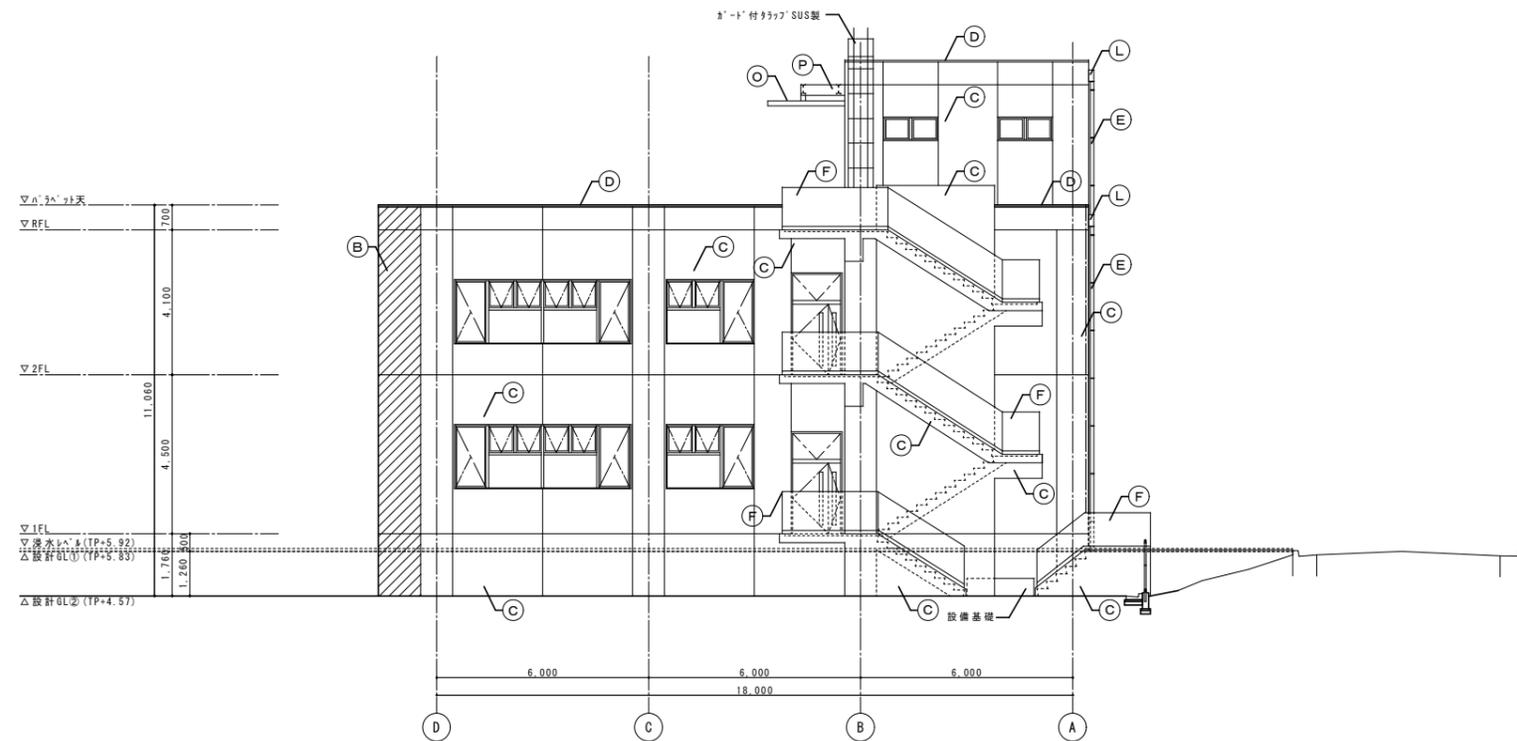
東側立面図 1/100

凡例(仕上)

(A)	外壁1:アクリル系低汚染左官仕上げ材 (色替え)	マンセル値: N4	(I)	外装薄塗材E吹付
(B)	外壁2:アクリル系低汚染吹付仕上げ材 (色替え)	マンセル値: N7	(J)	手摺: ステンレス [®] 40φ HL
(C)	外壁3:防水型複層塗材E吹付 (色替え)	マンセル値: N10	(K)	幕板: 杉-7ämm ² 杉t=2.0
(D)	笠木: 杉-7ämm ² (既製品)		(L)	SUS製 飾り掛
(E)	笠種: SUS製 100φ、60φ		(M)	モルタル下地 ノスリッパ 磁器質300角9ä貼り
(F)	7ä製手摺 (A ² 杉 ²)		(N)	庇: 7ä製
(G)	防水モルタル押入 t30+VS t2.0(防滑・屋外用)		(O)	庇: 7ämm ² 杉
(H)	モルタル下地 磁器質300角9ä貼り		(P)	支持柱・梁: 溶融亜鉛メッキ+DP塗装
			(Q)	7ä目隠しä-



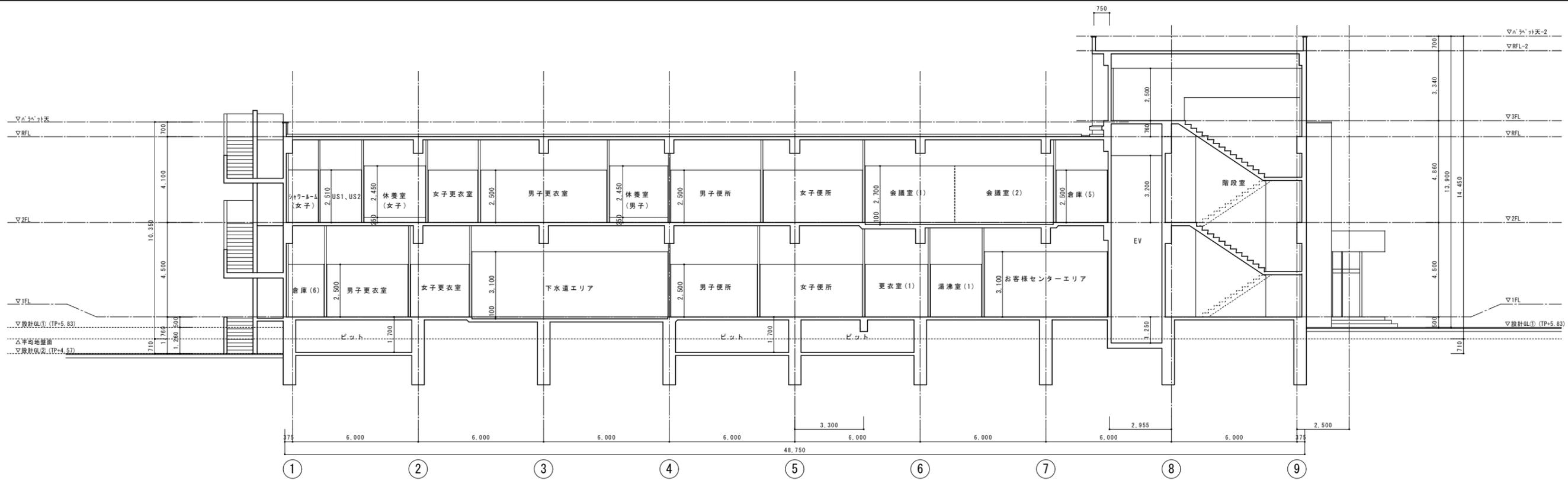
南側立面図 1/100



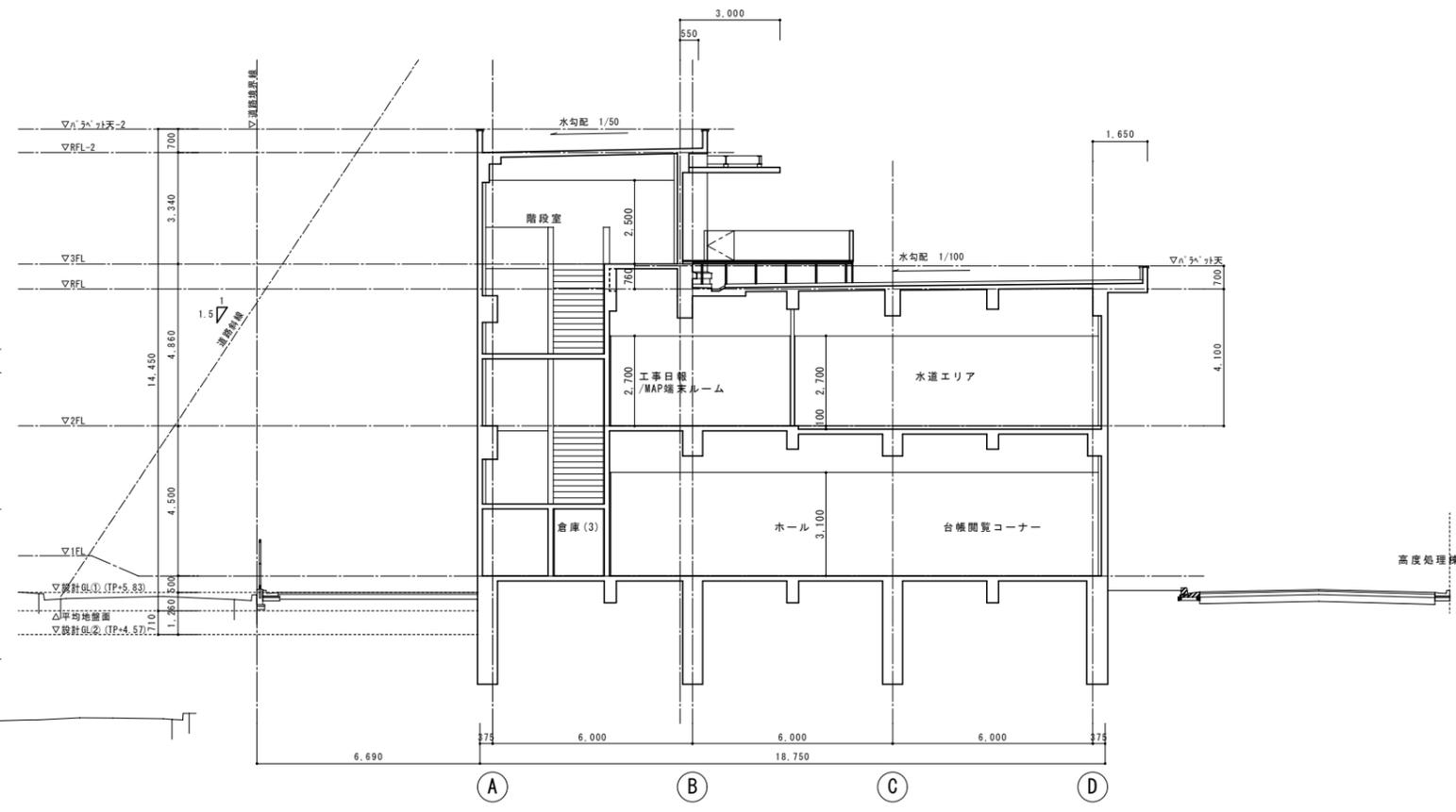
西側立面図 1/100

凡例(仕上)

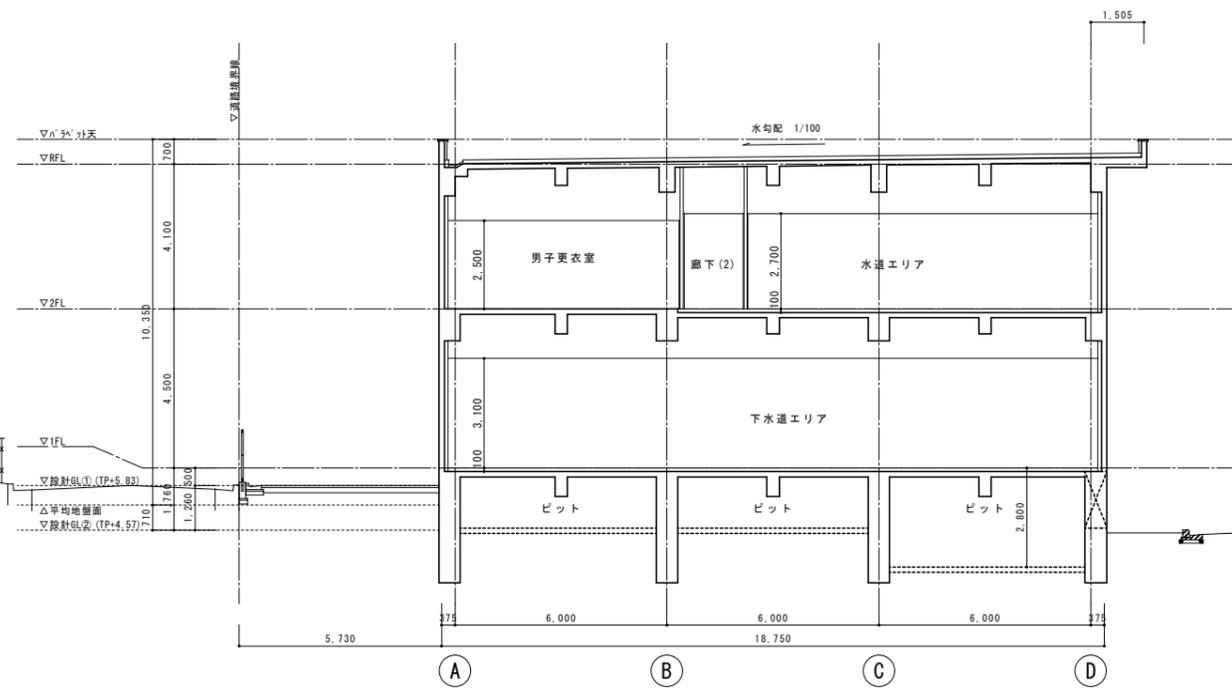
(A)	外壁1:アクリル樹脂系低汚染左官仕上げ材 (色替え)	マンセル値: N4	(I)	外装薄塗材E吹付
(B)	外壁2:アクリル樹脂系低汚染吹付仕上げ材 (色替え)	マンセル値: N7	(J)	手摺: ステンレス [®] 40φ HL
(C)	外壁3: 防水型複層塗材E吹付 (色替え)	マンセル値: N10	(K)	幕板: ｶﾞﾗｰﾌﾞﾙﾝ ｷｯﾄ=2.0
(D)	並木: ｶﾞﾗｰﾌﾞﾙﾝ (既製品)		(L)	SUS製 飾り柵
(E)	窓枠: SUS製 100φ、60φ		(M)	ﾓﾙﾀﾙ下地 ノｽﾄﾗｯﾌﾟ 磁器質300角ﾀｲﾙ貼り
(F)	7&製手摺 (A [®] ｷｯﾄ)		(N)	庇: 7&製
(G)	防水ﾓﾙﾀﾙﾀｲﾙ押え t30+VS t2.0(防滑・屋外用)		(O)	庇: 7&ﾀｲﾙ
(H)	ﾓﾙﾀﾙ下地 磁器質300角ﾀｲﾙ貼り		(P)	支持柱・梁: 溶融亜鉛メッキ+DP塗装
			(Q)	7&目隠しﾎｰﾙ



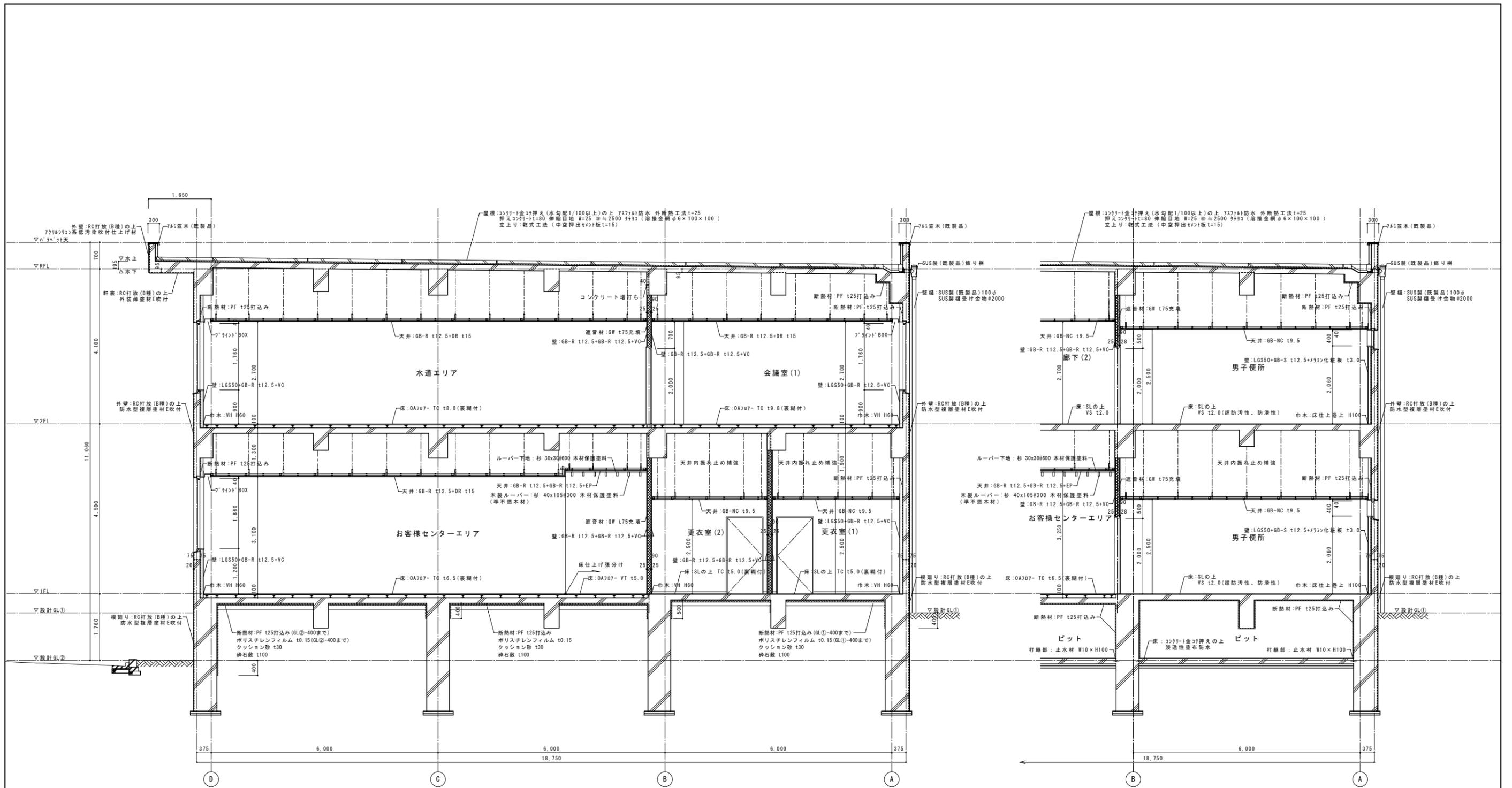
A-A断面図 S=1/100



C-C断面図 S=1/100



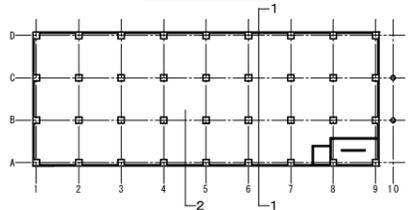
B-B断面図 S=1/100



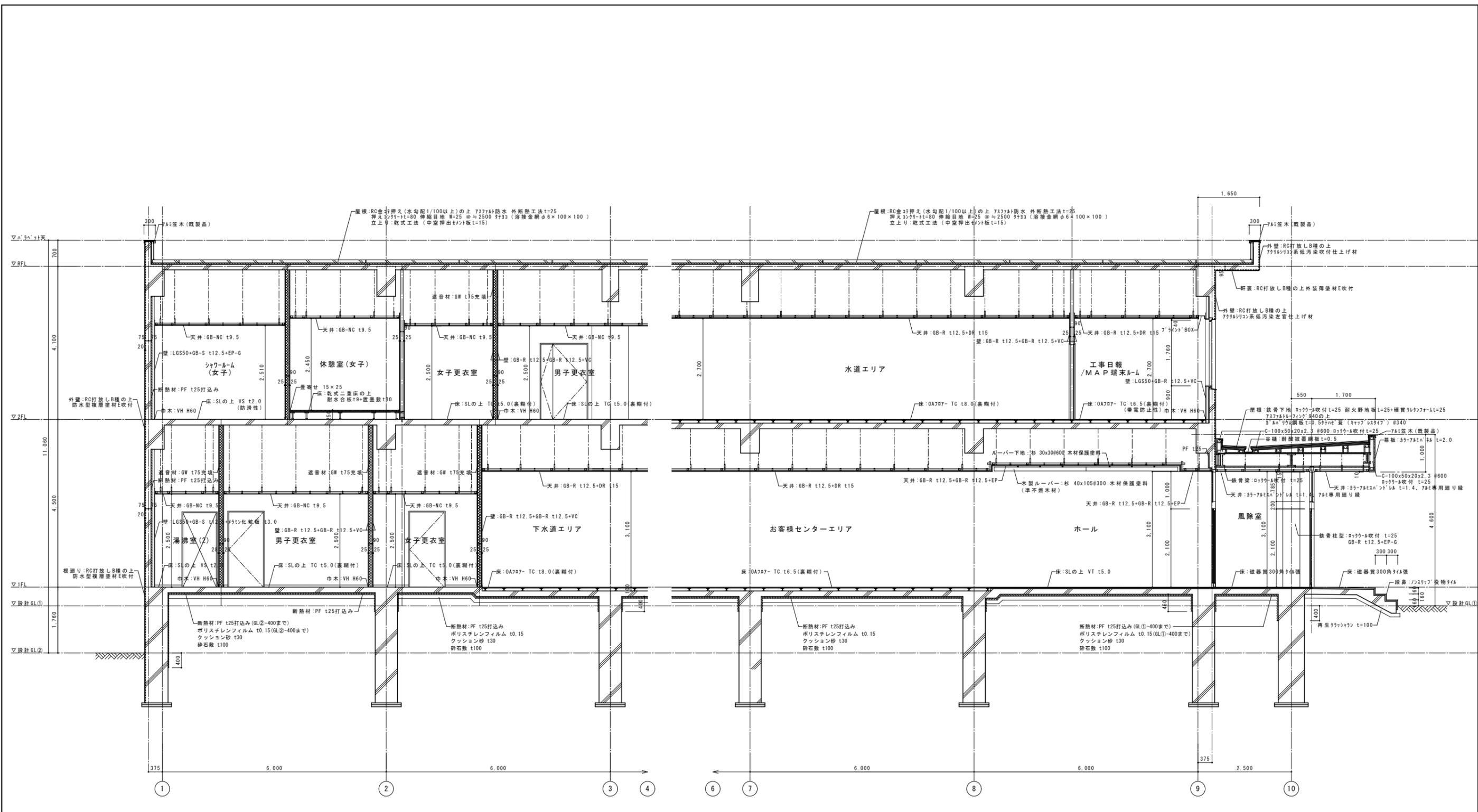
矩計図 (1) 1/50

矩計図 (2) 1/50

KEY PLAN

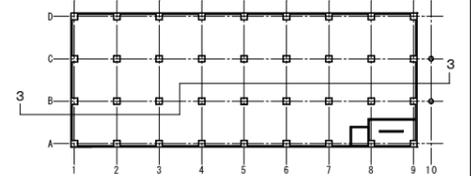


特記事項	<p>株式会社 総合設計</p> <p>一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号 管理建築士 (大臣) 第335100号 山本 昭一</p>	<p>図面名称</p> <p>明石市都市局住宅・建築室営繕課</p>	<p>製作年月日</p> <p>2025年 8月</p>	<p>工事名称</p> <p>(仮称) 上下水道庁舎建設工事</p>	<p>当初・変更・完成</p> <p>当初</p>
		<p>縮尺</p> <p>A1:1/50 A3:1/100</p>	<p>図番</p> <p>A-30</p>		

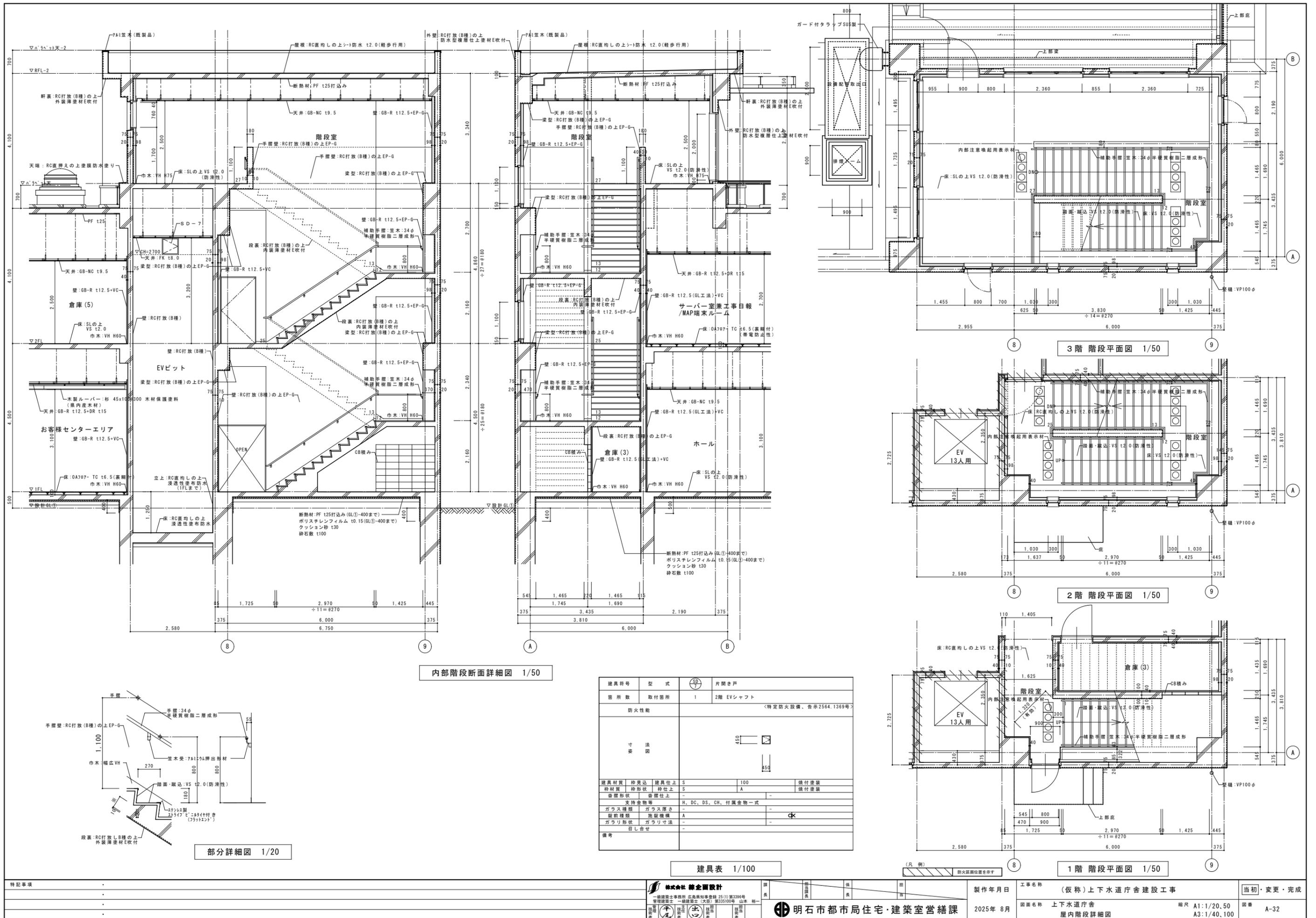


矩計図 (3) 1/50

KEY PLAN



特記事項	株式会社 緯企画設計 一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号 管理建築士 (大臣) 第335100号 山本 博一	図名 階 種 別	製作年月日 2025年 8月	工事名称 (仮称) 上下水道庁舎建設工事	当初・変更・完成
	明石市都市局住宅・建築室営繕課	図面名称 上下水道庁舎 矩計図 (3)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A-31	



内部階段断面詳細図 1/50

部分詳細図 1/20

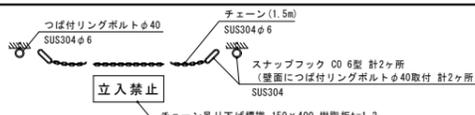
3階 階段平面図 1/50

2階 階段平面図 1/50

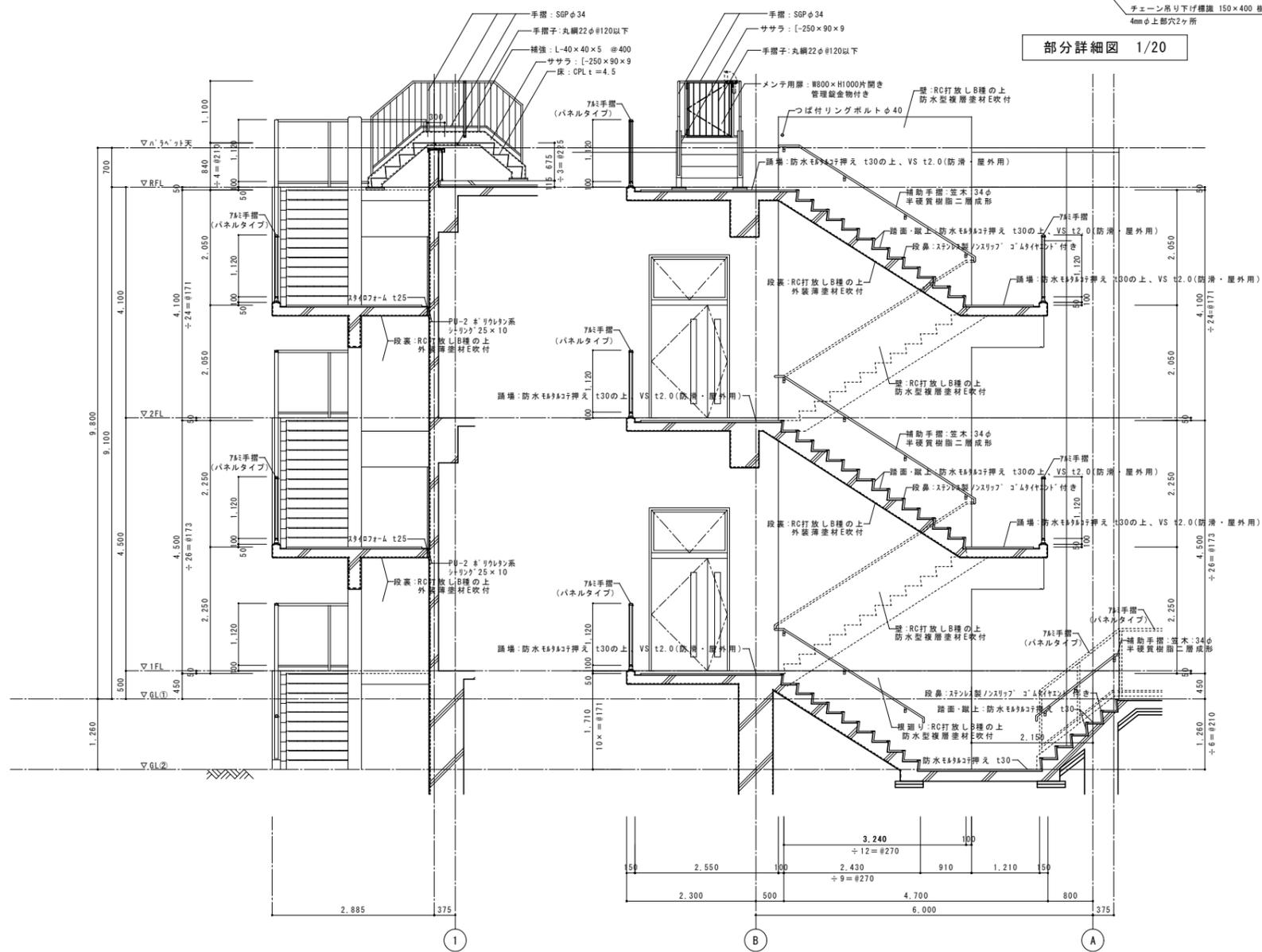
1階 階段平面図 1/50

建具符号	型式	片開き戸
箇所数	取付箇所	2階 EVシャフト
防火性能		
寸法		
建具材質	枠見込	建具仕上
枠材質	枠形状	枠仕上
寄附形状	寄附仕上	
ガラス種類	ガラス厚さ	
錠前種類	錠前種類	
ガラス形状	ガラス寸法	
備考	召し合せ	

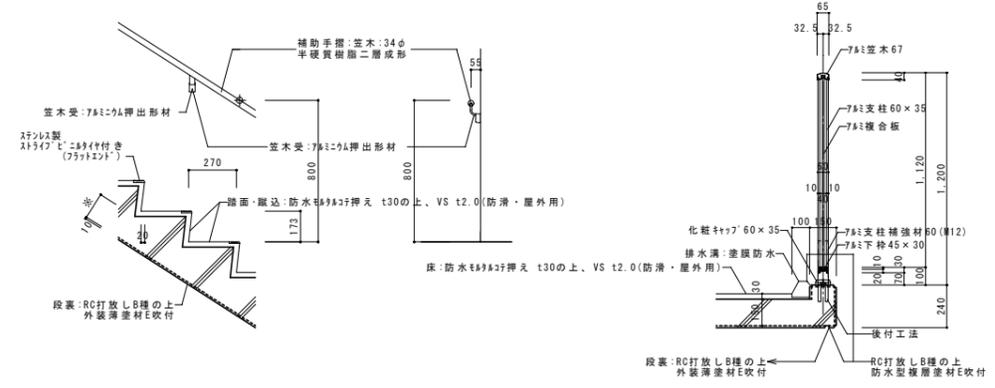
建具表 1/100



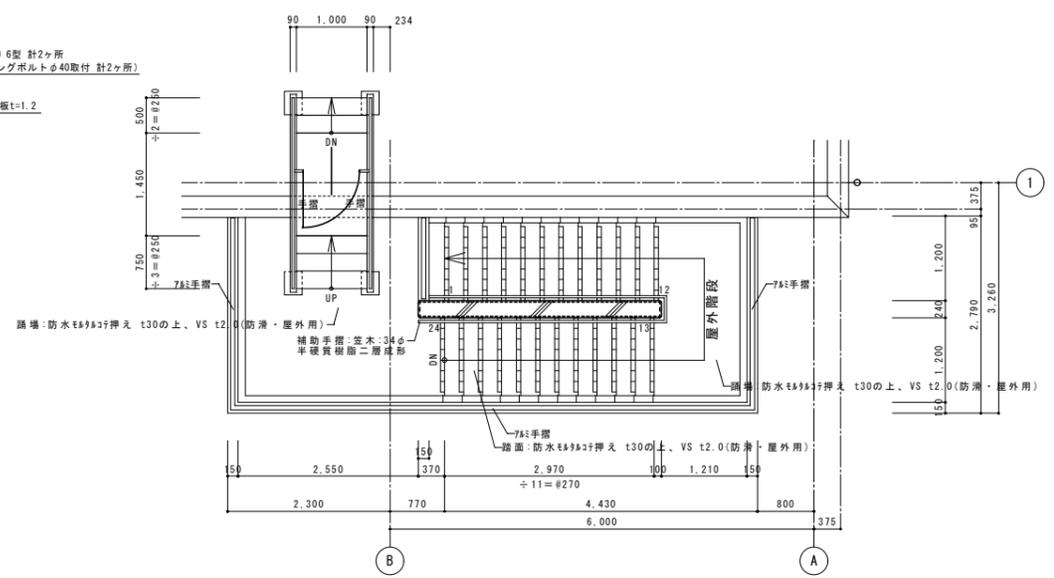
部分詳細図 1/20



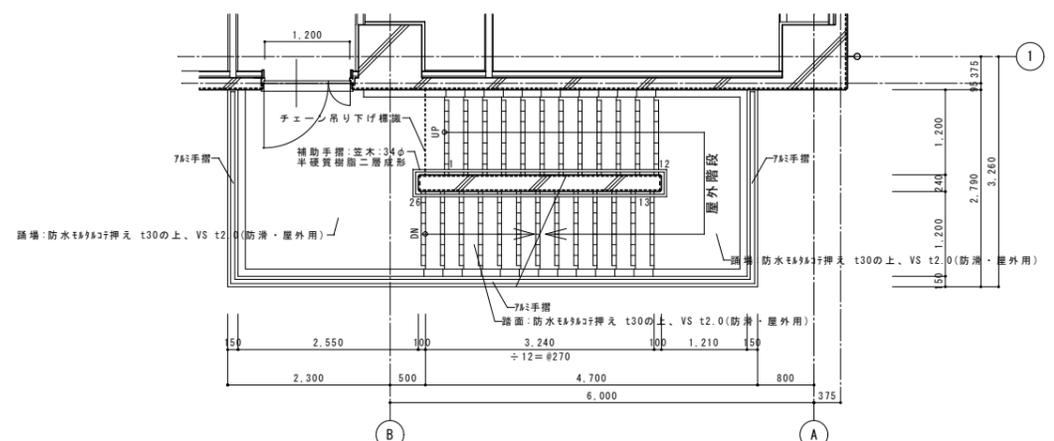
屋外階段断面詳細図 1/50



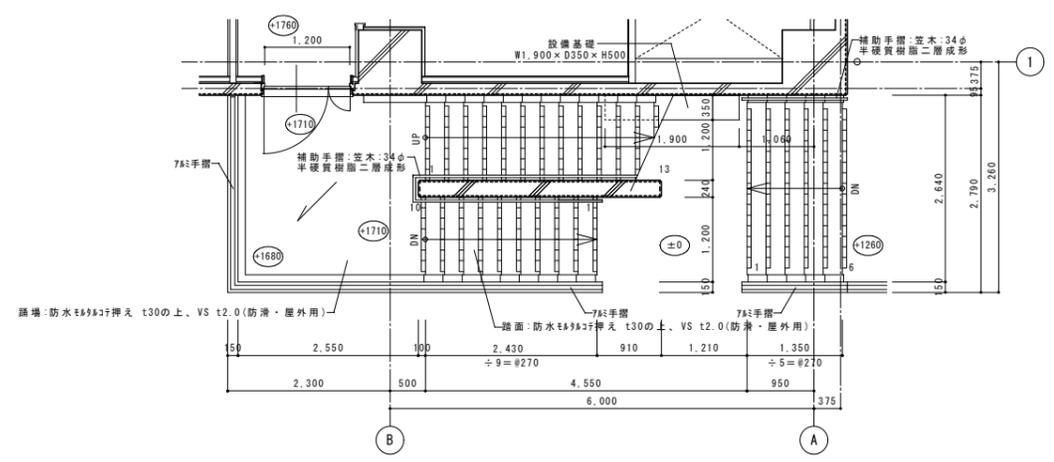
部分詳細図 1/20



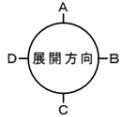
R階 階段平面 1/50



2階 階段平面 1/50



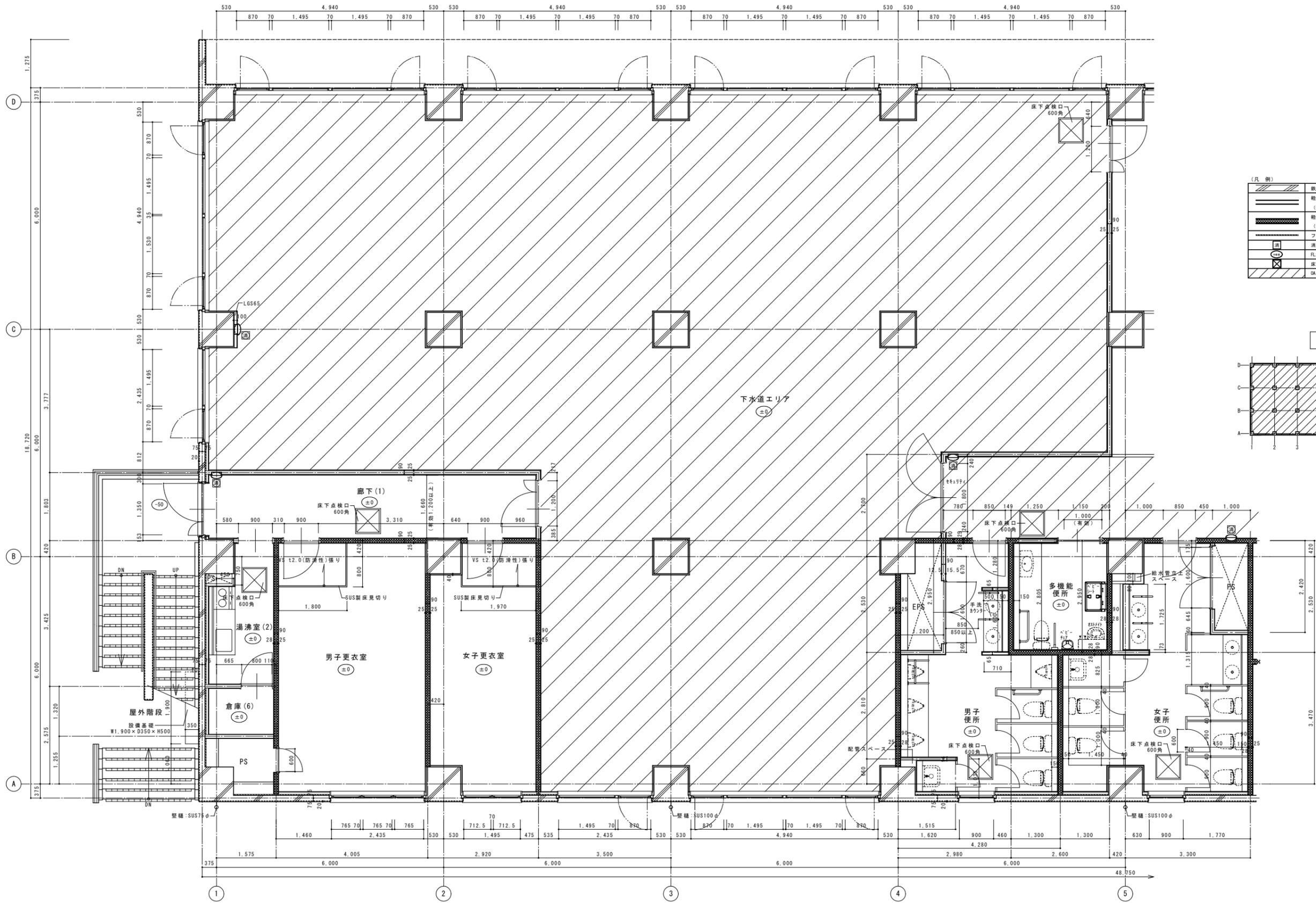
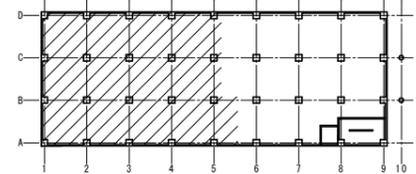
1階 階段平面 1/50



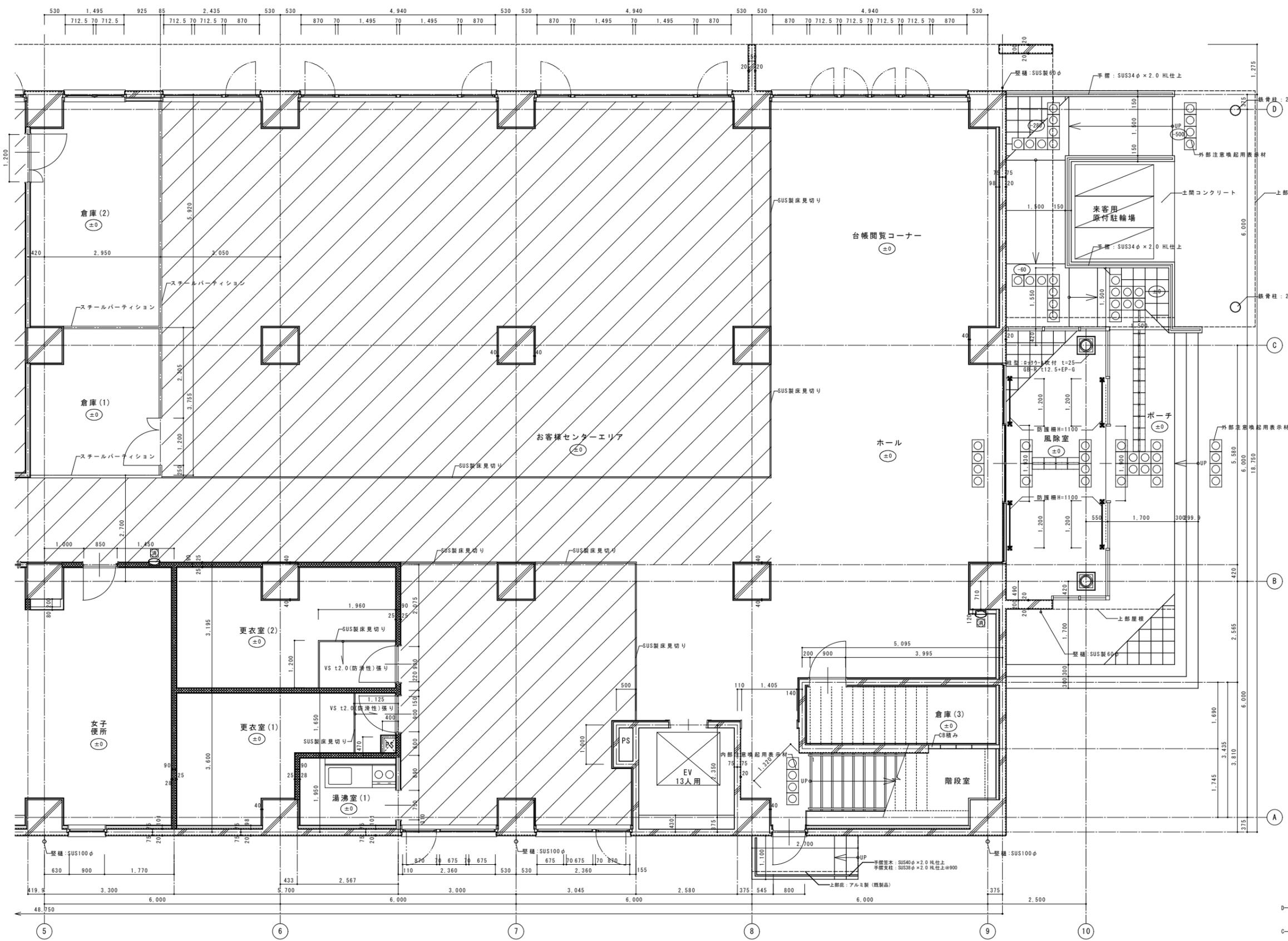
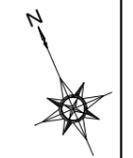
(凡例)

	鉄筋コンクリート壁
	軽鉄壁 (一般壁)
	(一般L590 GB-R t=12.5+GB-R t=12.5 両面)
	軽鉄壁 (透音壁)
	(一般L590 GB-R t=12.5+GB-R t=12.5 両面) (GRC2K t=75充填)
	フェノールフォーム断熱材 125 打込み
	消火器 ABC10型 (8ヶ所半埋込3ヶ所)
	FLからの仕上げ高さを示す
	床下点検口600×600を示す
	OAフロア範囲を示す

KEY PLAN



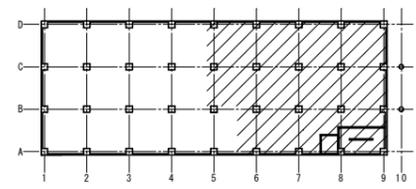
1階平面詳細図(1) 1/50



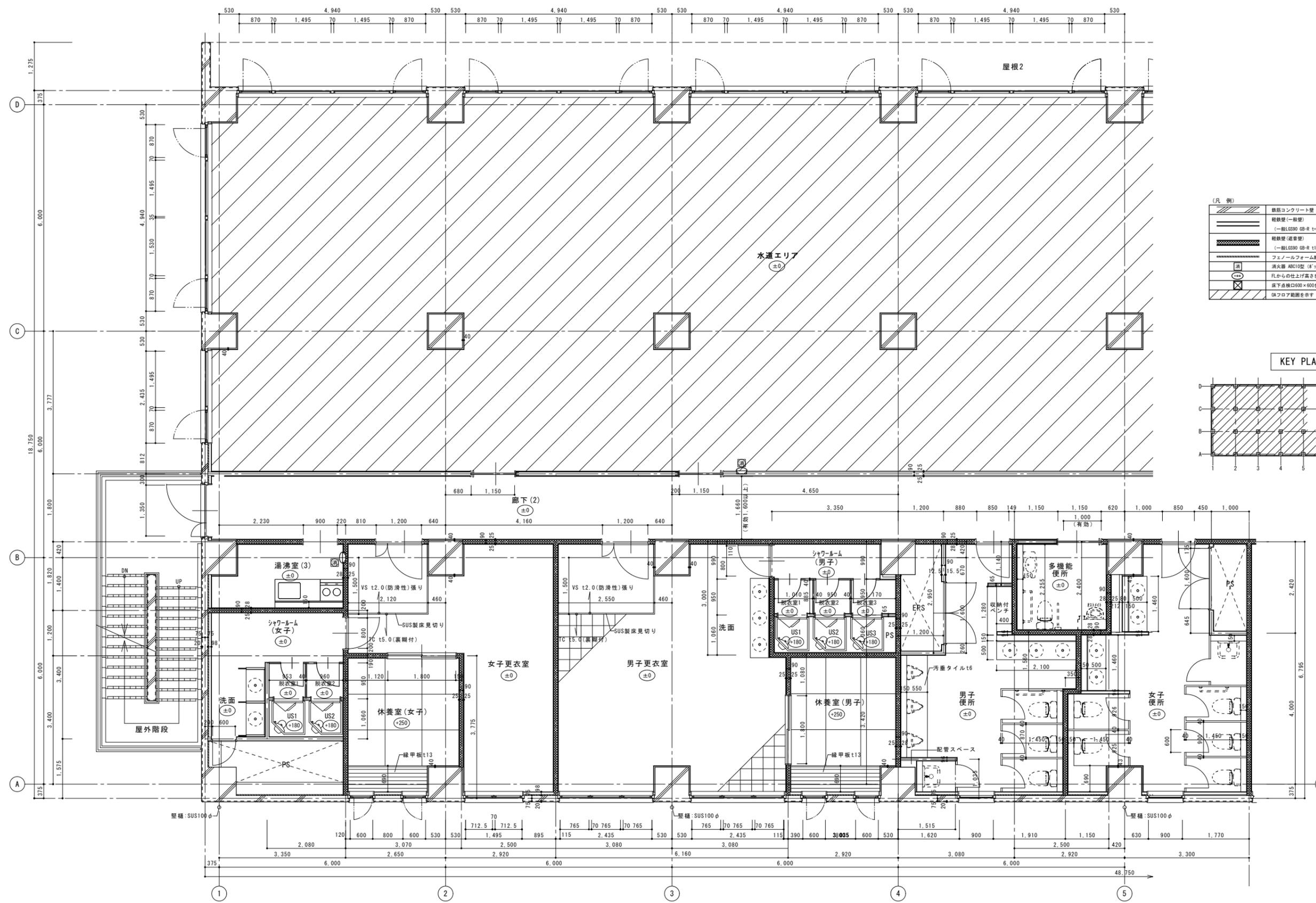
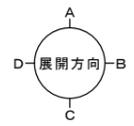
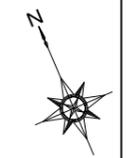
(凡 例)

	鉄骨コンクリート壁
	軽鉄壁 (一般壁)
	(一般) G90 GB-R t12.5+GB-R t12.5 (両面)
	軽鉄壁 (遮音壁)
	(一般) G90 GB-R t12.5+GB-R t12.5 (両面) (DR2K t=75充填)
	フェノールフォーム断熱材 t25 打込み
	消火器 ABC10型 (※1/2半量込17')
	FLからの仕上げ高さを示す
	床下点検口600×600を示す
	OAフロア範囲を示す

KEY PLAN



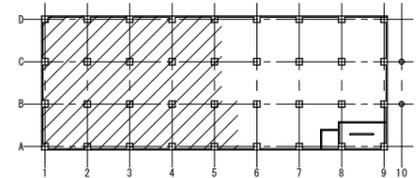
1階平面詳細図 (2) 1/50



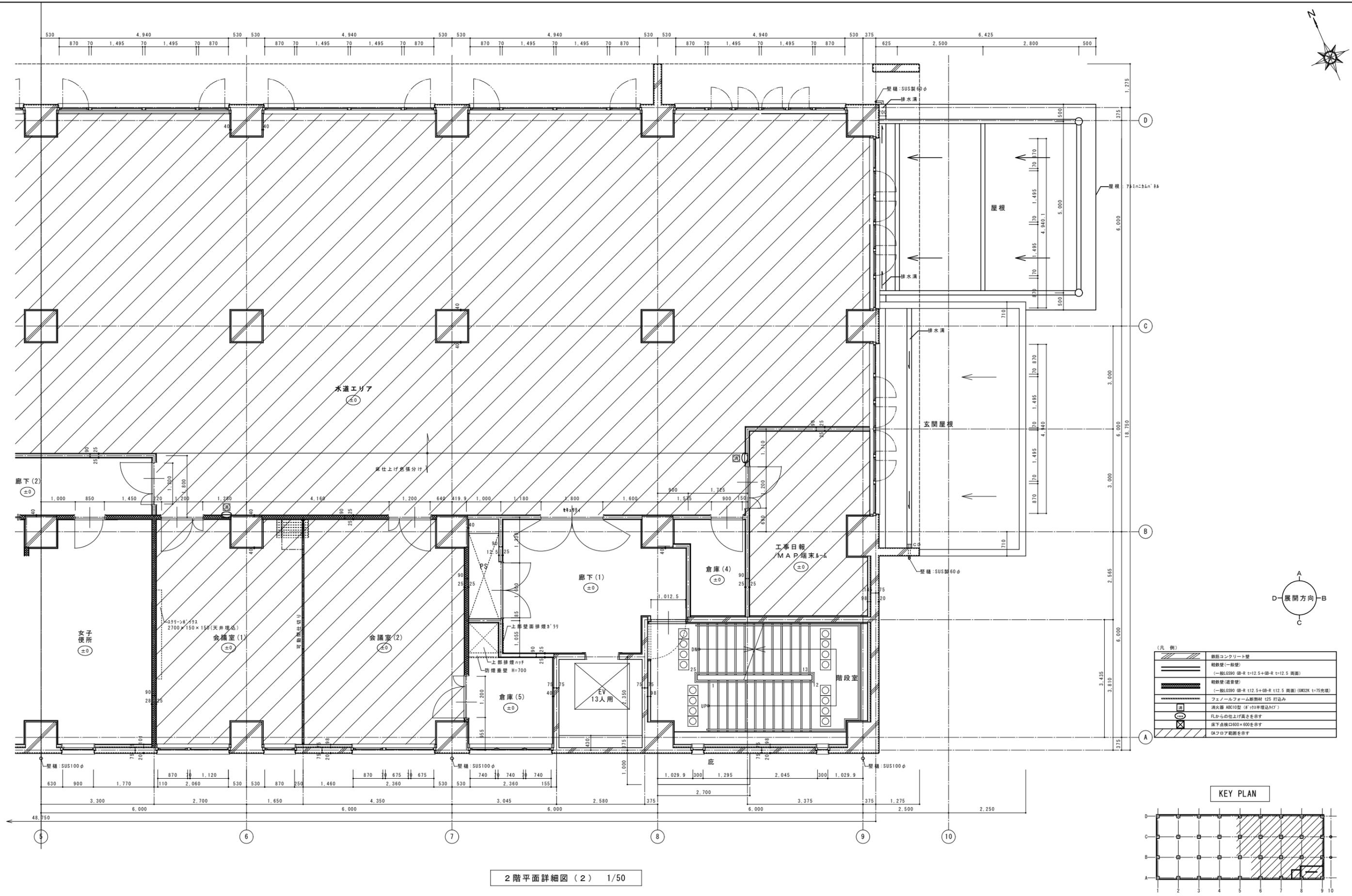
(凡例)

	鉄筋コンクリート壁
	鉄筋壁 (一般壁)
	(一般) L6390 GB-R t12.5+GB-R t12.5 両面
	鉄筋壁 (通貫壁)
	(一般) L6390 GB-R t12.5+GB-R t12.5 両面 (BR32K t=75充填)
	フェノールフォーム断熱材 t25 打込み
	消火器 ABC10型 (8ヶ所半埋込付)
	凡からの仕上げ高さを示す
	床下点検口600×600を示す
	OAフロア範囲を示す

KEY PLAN



2階平面詳細図(1) 1/50

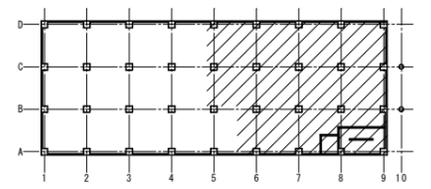


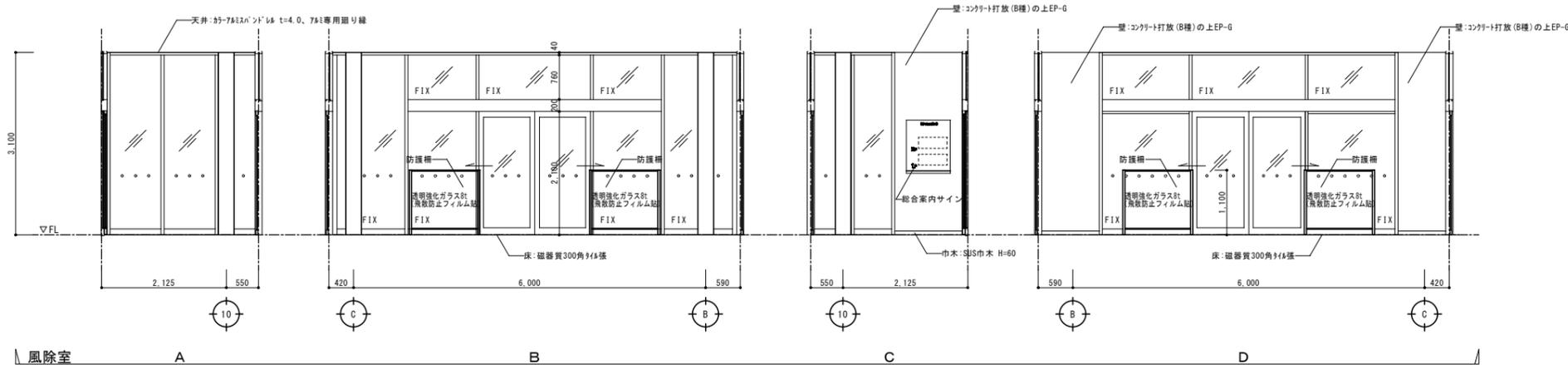
2階平面詳細図(2) 1/50

(凡例)

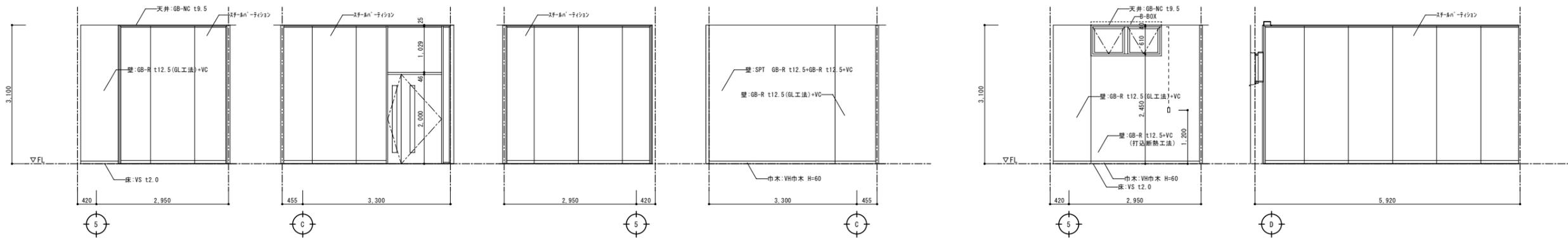
	鉄筋コンクリート壁
	軽鉄壁(一般壁)
	(一般L690 GB-R t12.5+GB-R t12.5 両面)
	軽鉄壁(遮音壁)
	(一般L690 GB-R t12.5+GB-R t12.5 両面) (DR2K t=75充填)
	フェノールフォーム断熱材 t25 打込み
	消火器 ABC10型 (※3/4半埋込タイプ)
	FLからの仕上げ高さを示す
	床下点検口600×600を示す
	OAフロア範囲を示す

KEY PLAN

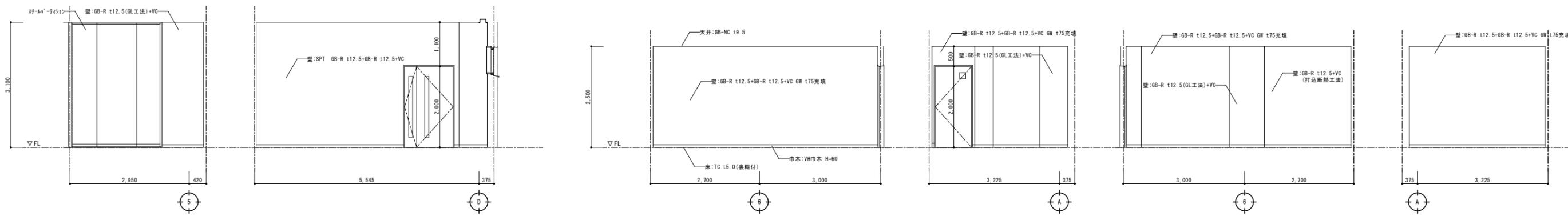




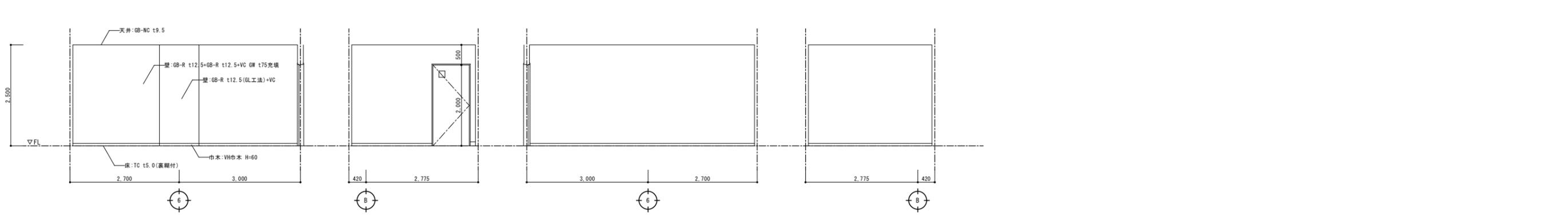
風除室 A B C D



倉庫(1) A B C D E



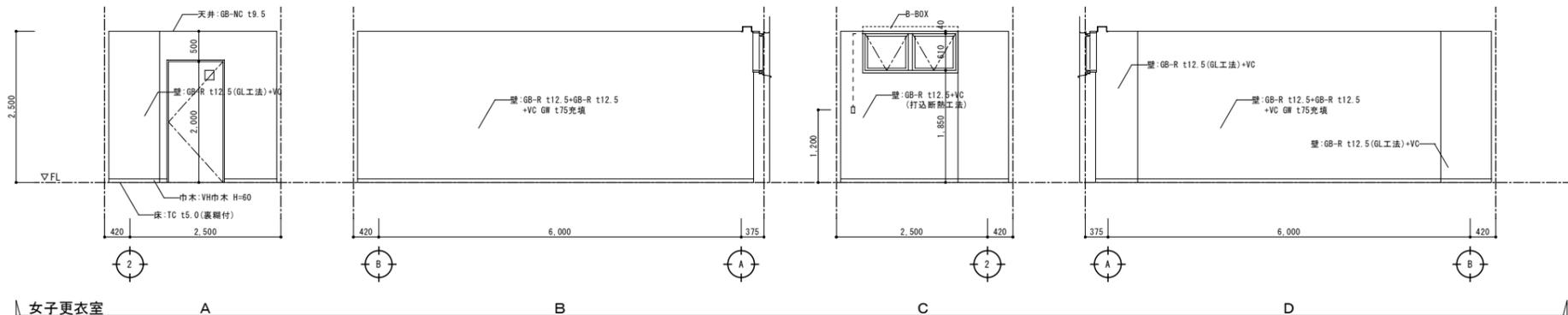
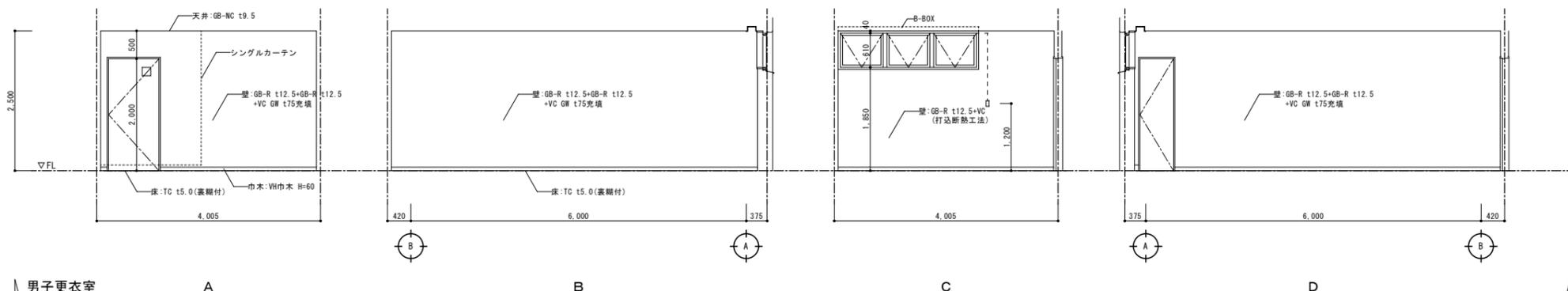
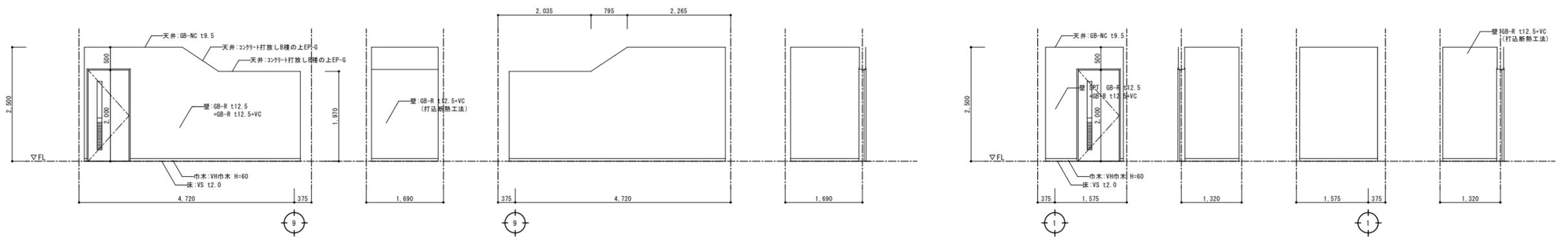
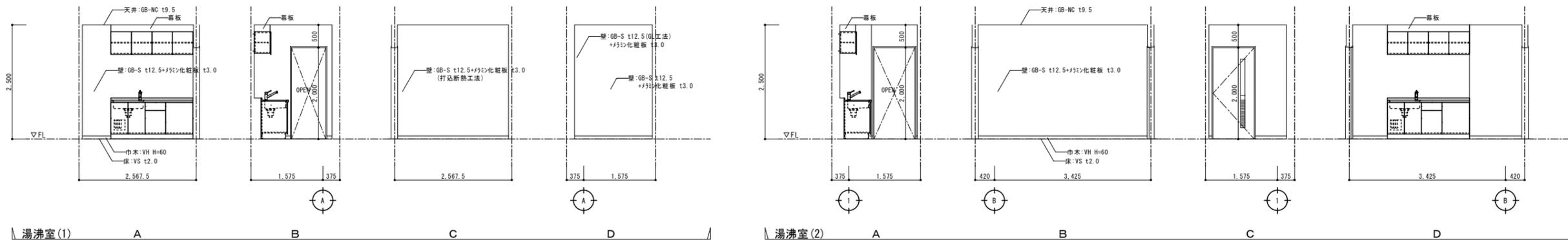
倉庫(2) A B C D E



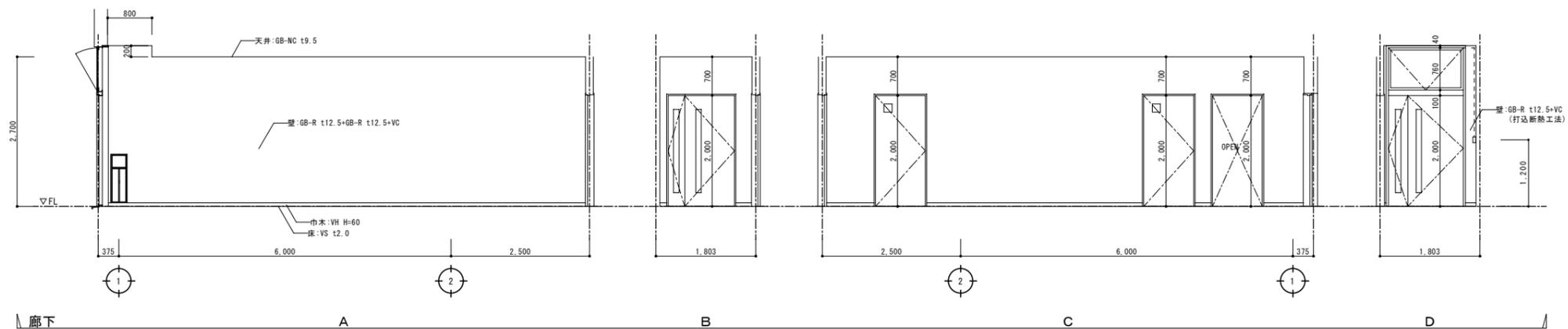
更衣室(1) A B C D



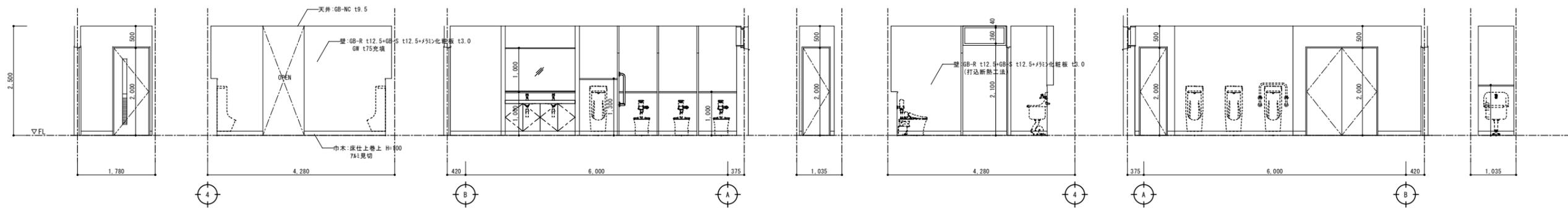
更衣室(2) A B C D



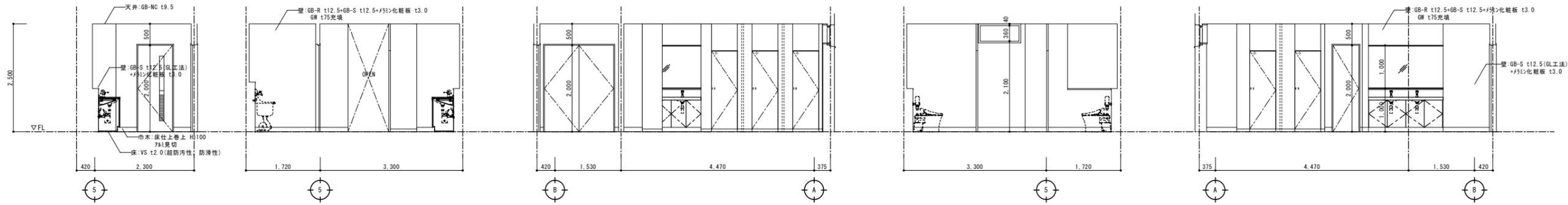
特記事項	株式会社 緯企画設計 一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号 管理建築士(大臣) 第335100号 山本 昭一	製年月日 2025年 8月	工事名称 (仮称) 上下水道庁舎建設工事	当初・変更・完成
	明石市都市局住宅・建築室営繕課	図面名称 展開図(2) 湯沸室(1)、倉庫(3)、男子・女子更衣室	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A-39



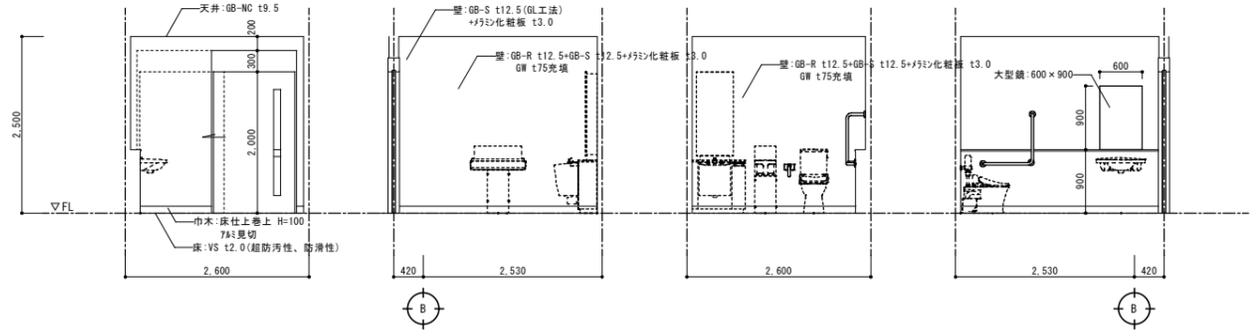
廊下 A B C D



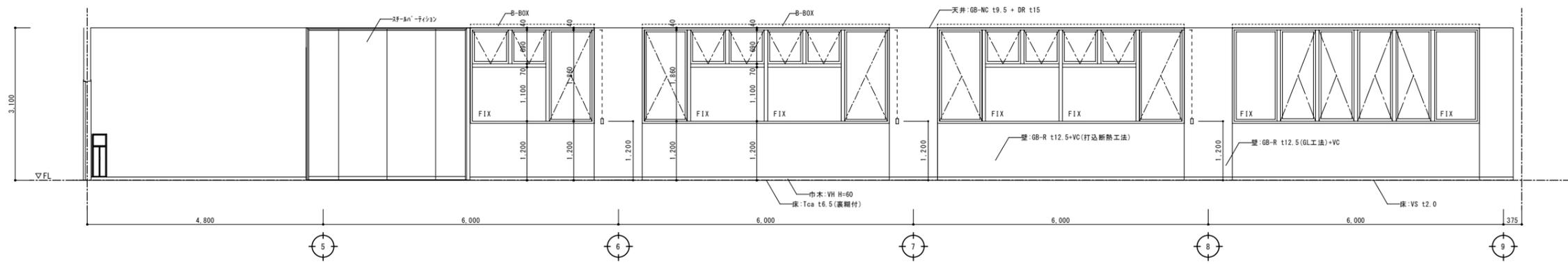
男子便所 A A' B B' C D D'



女子便所 A A' B C D

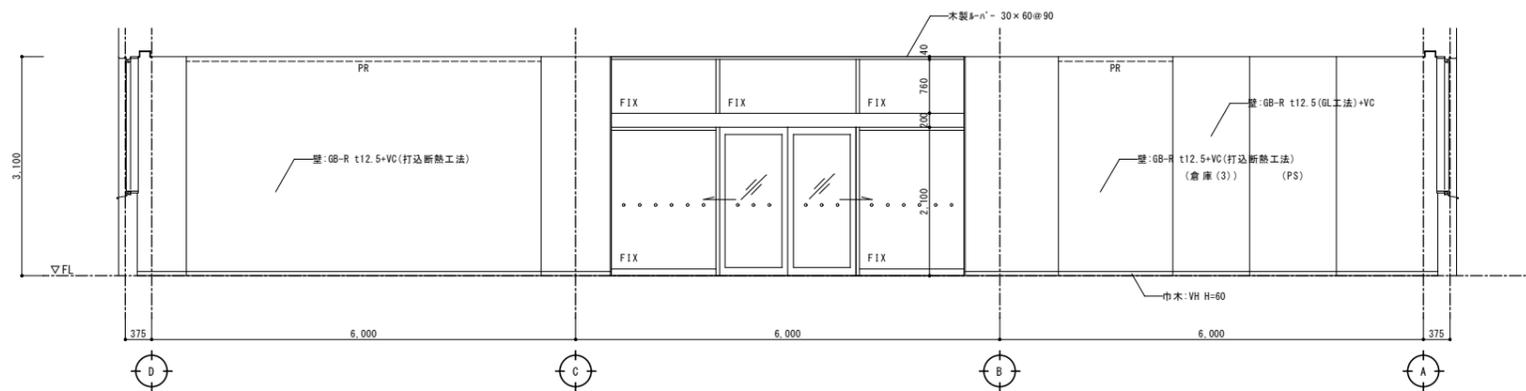


多機能便所 A B C D



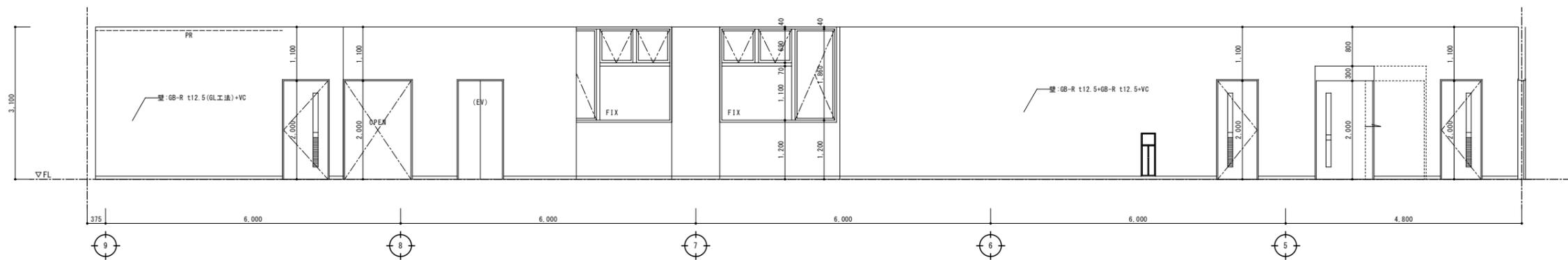
ホール・台帳閲覧コーナー・お客様センター

A



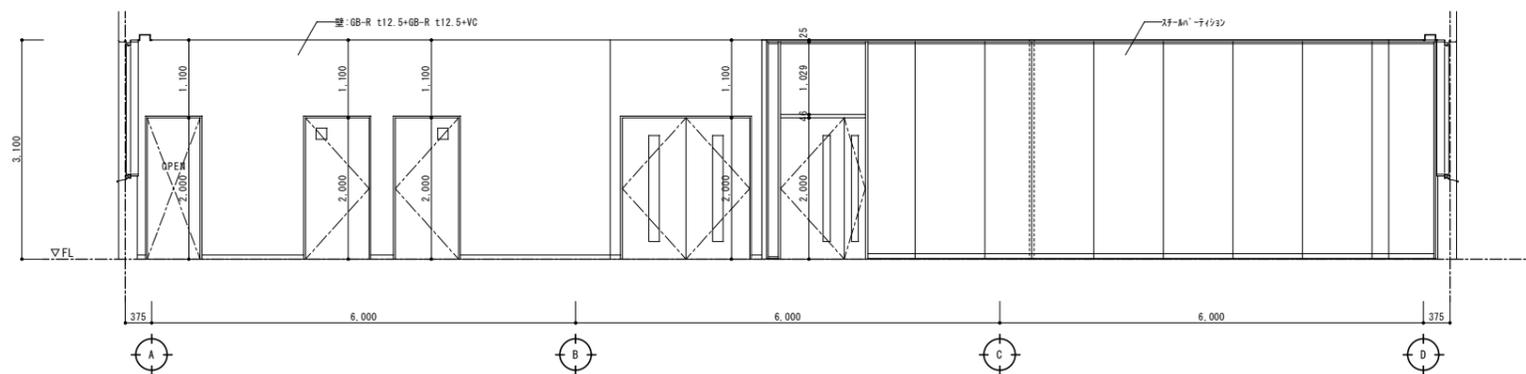
ホール・台帳閲覧コーナー・お客様センター

B



ホール・台帳閲覧コーナー・お客様センター

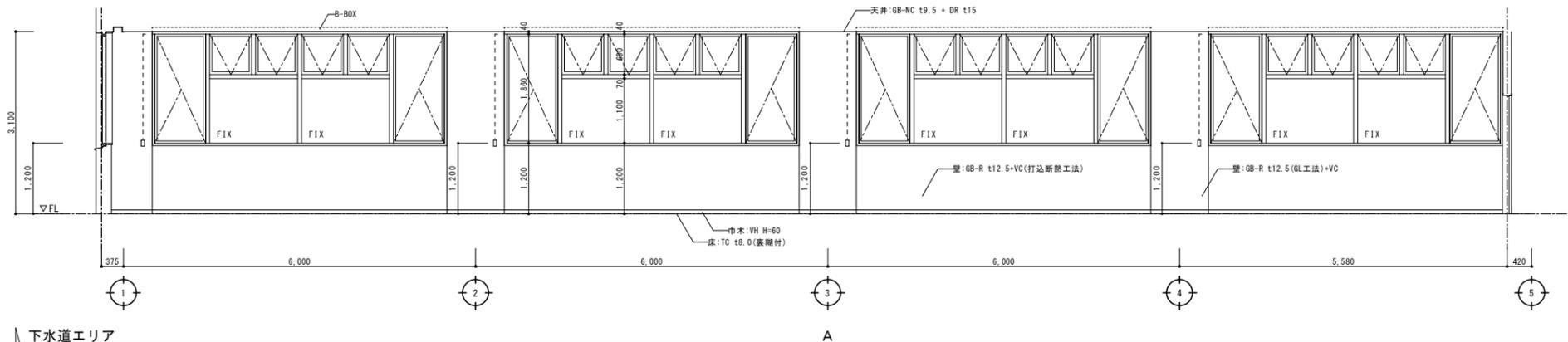
C



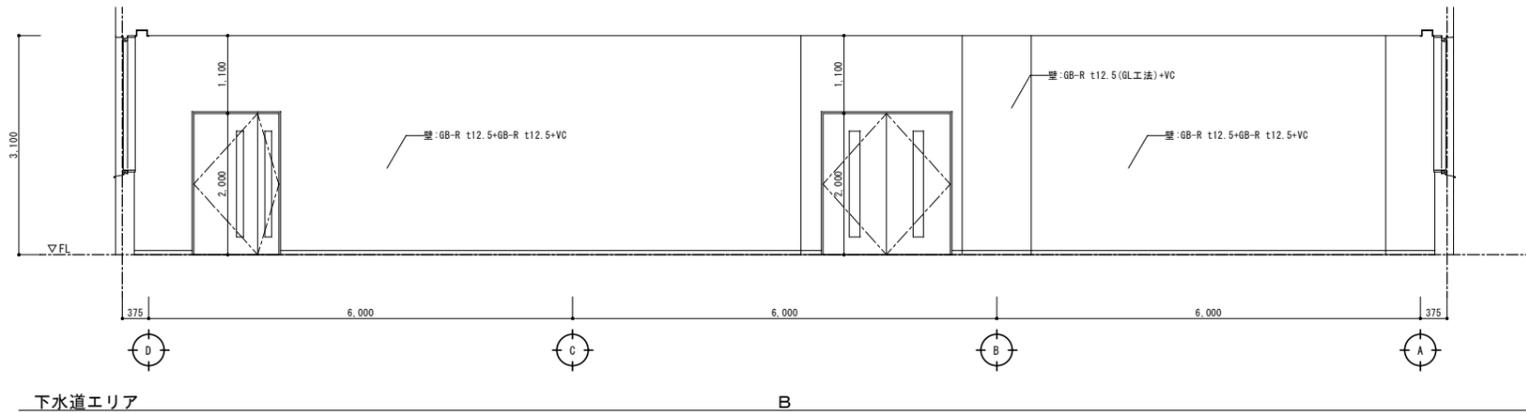
ホール・台帳閲覧コーナー・お客様センター

D

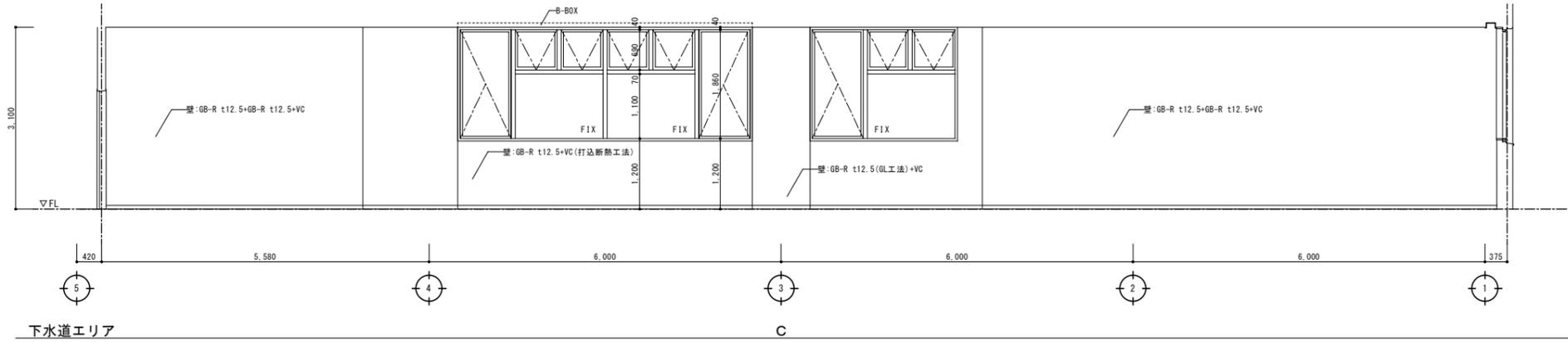
特記事項	株式会社 緯企画設計 一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号 管理建築士(大臣) 第335100号 山本 裕一	製年月日 2025年 8月	工事名称 (仮称) 上下水道庁舎建設工事	当初・変更・完成
	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 上下水道庁舎 展開図(4) ホール	縮尺 A1:1/50 A3:1/100



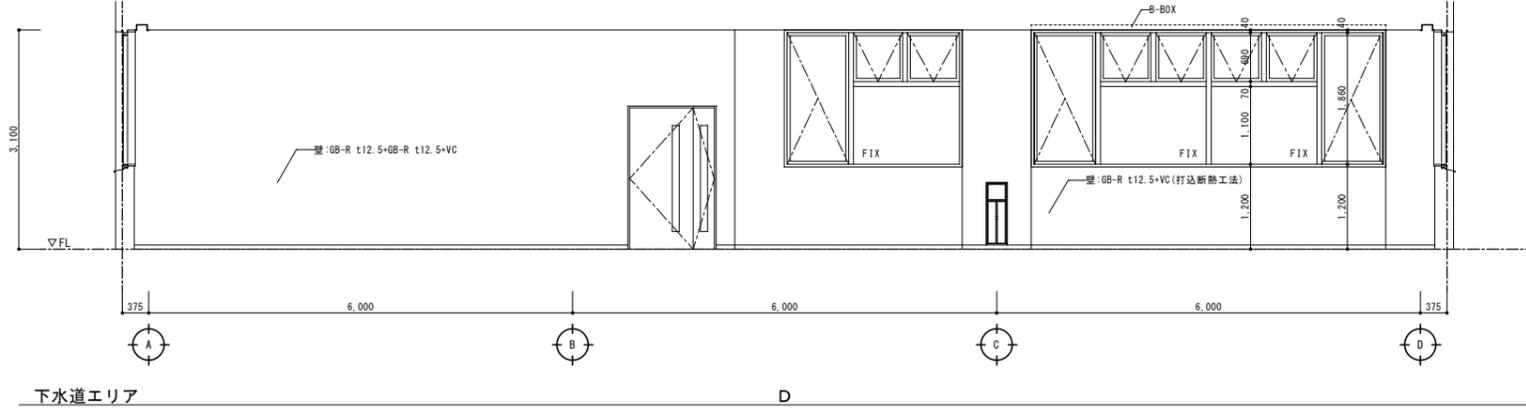
下水道エリア



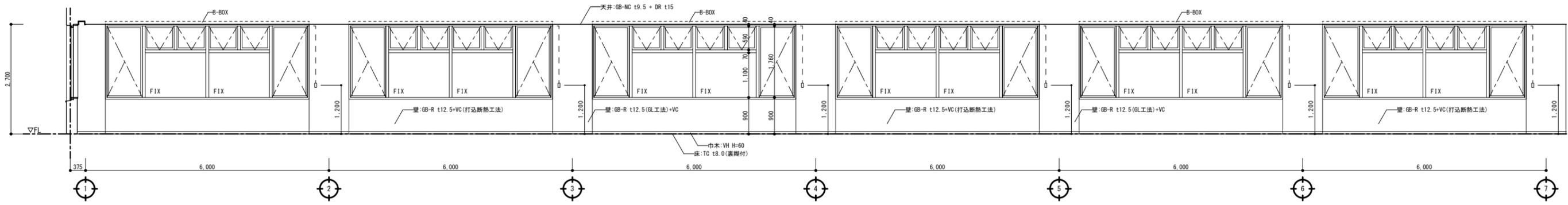
下水道エリア



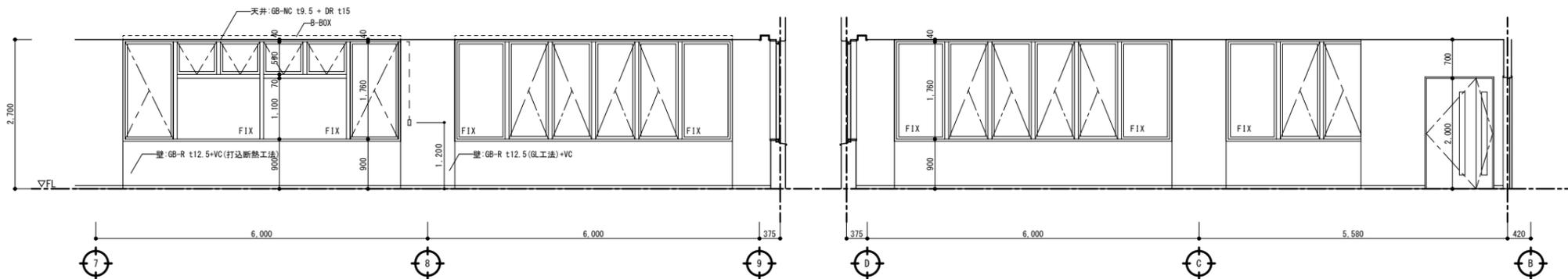
下水道エリア



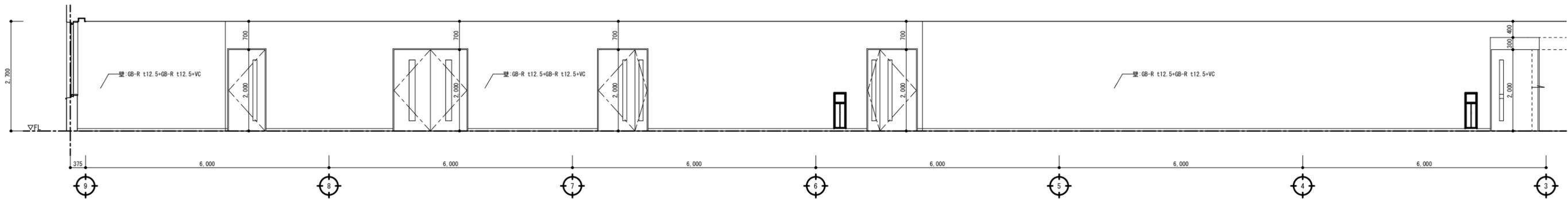
下水道エリア



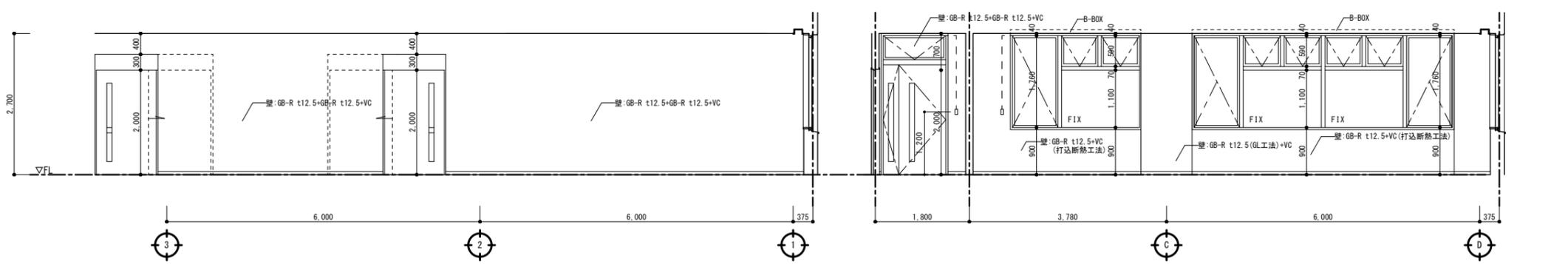
水道エリア



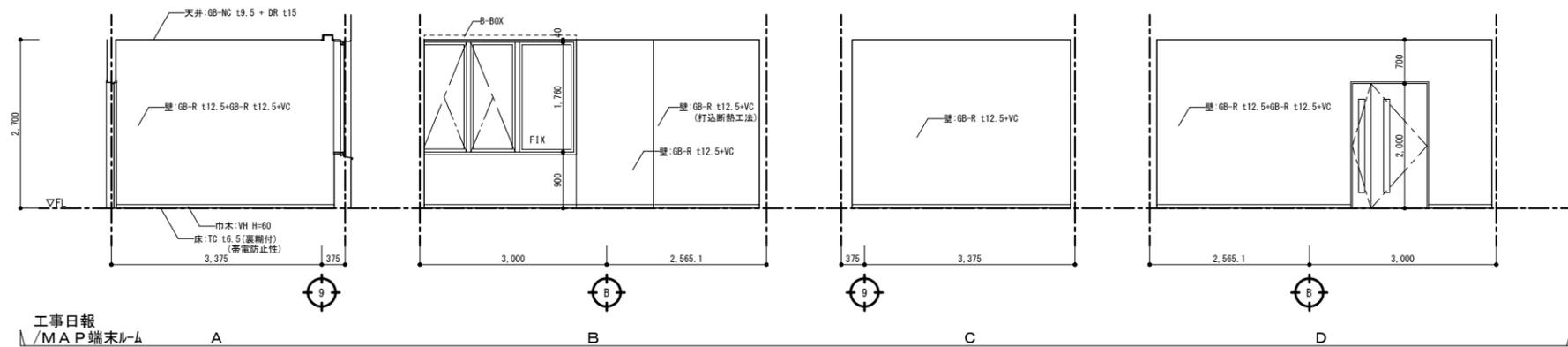
水道エリア



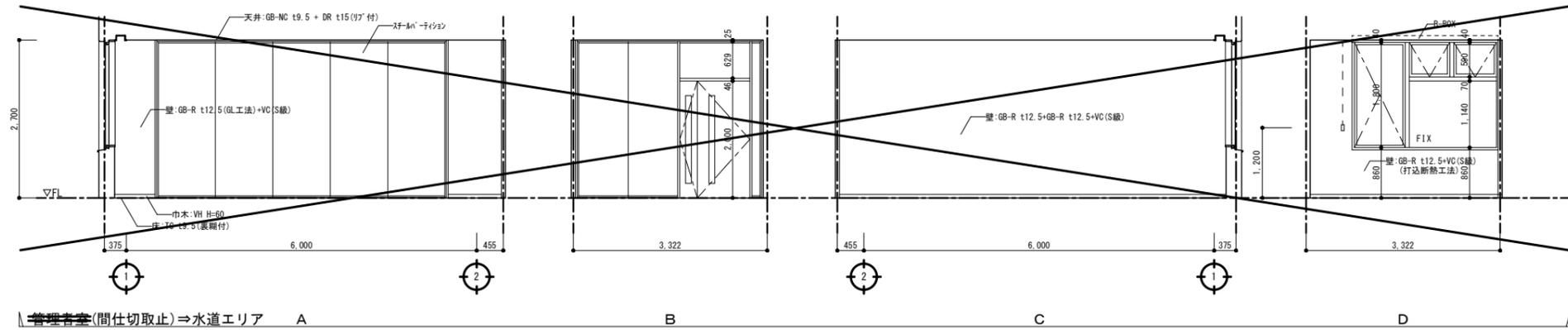
水道エリア



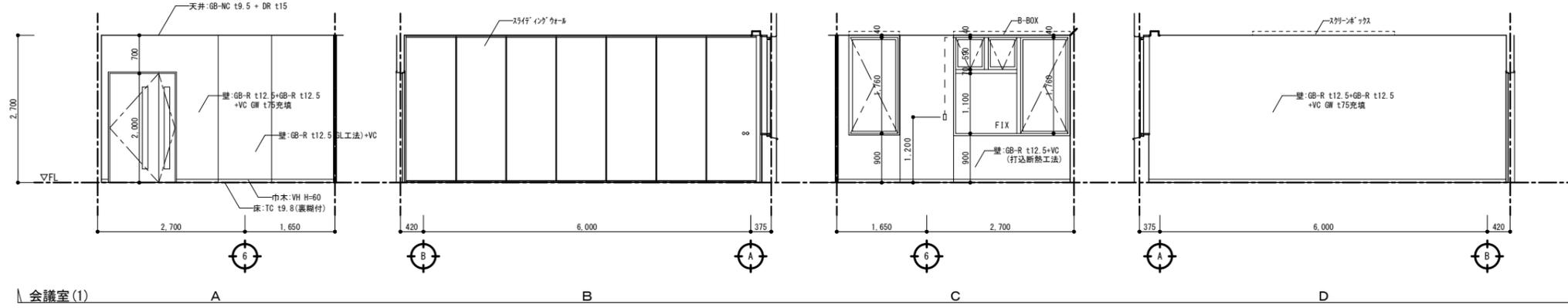
水道エリア



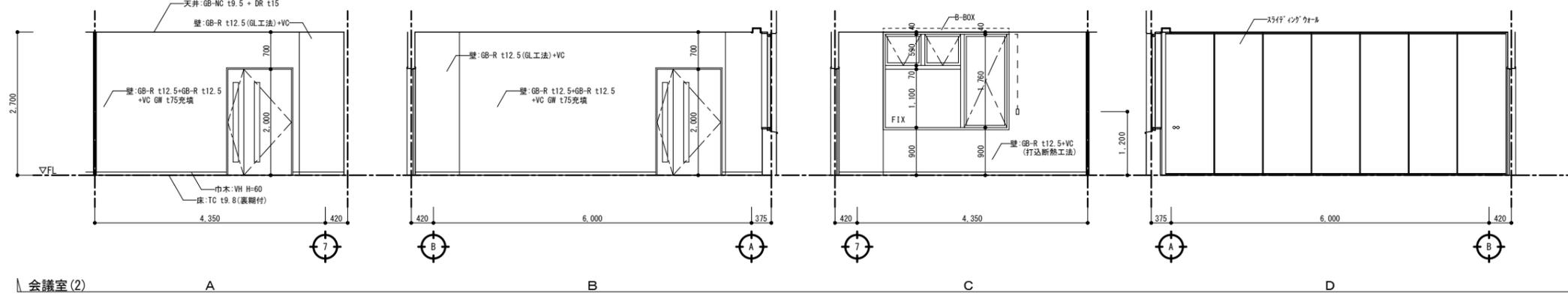
工事日報
MAP端末エリア



水道(間仕切取止) ⇒ 水道エリア

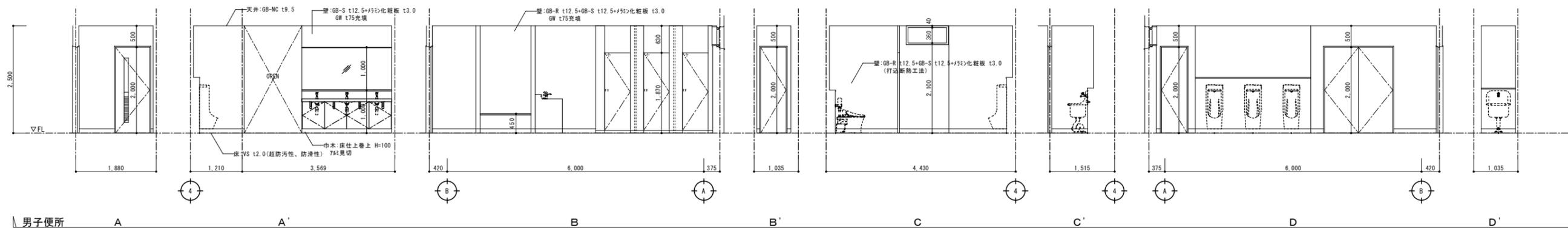


会議室(1)

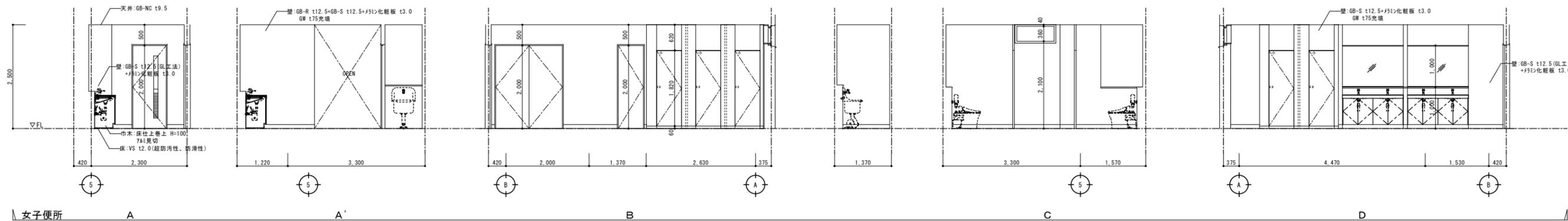


会議室(2)

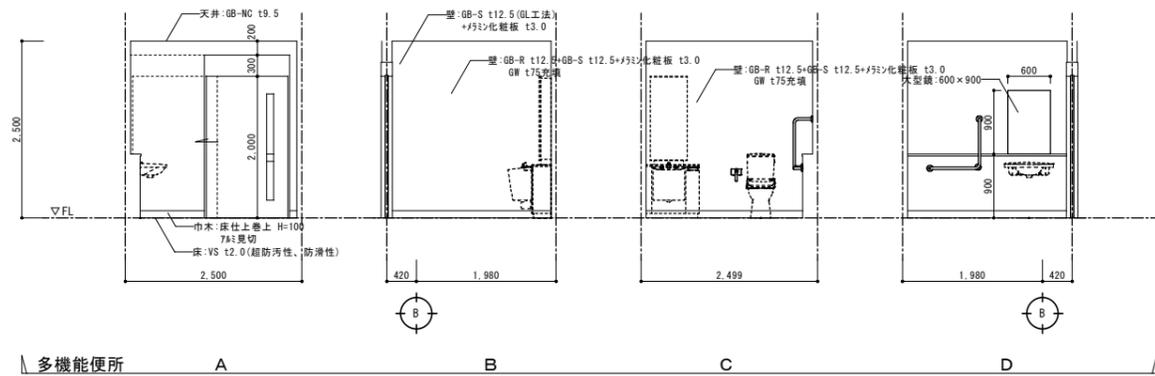
特記事項	株式会社 総合設計 一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第335100号 山本 裕一	図面名称	製作年月日	工事名称	当初・変更・完成
	明石市都市局住宅・建築室営繕課	上下水道庁舎 展開図(7) 工事日報、会議室(1)(2)	2025年 8月	(仮称)上下水道庁舎建設工事	A-44
		縮尺			
		A1:1/50 A3:1/100			



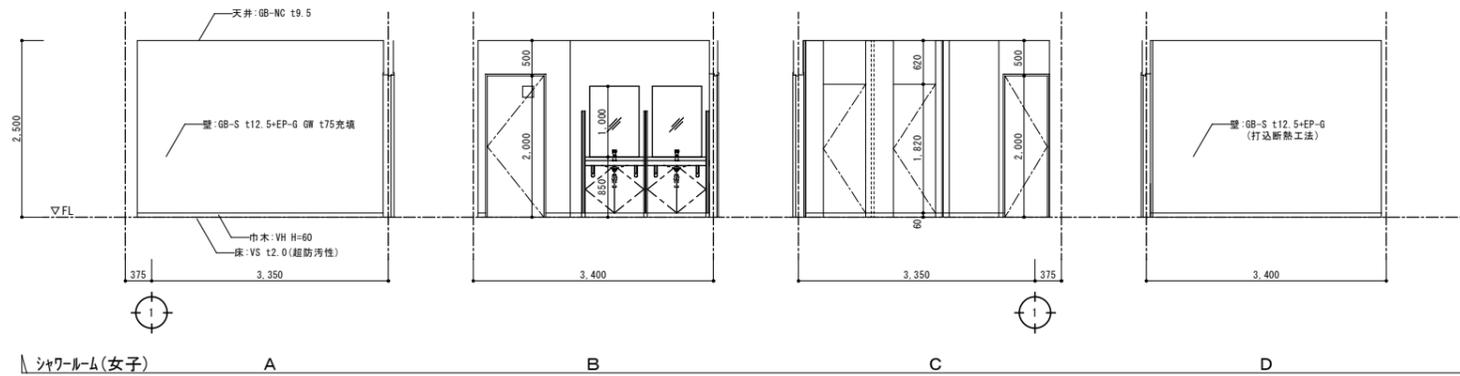
男子便所



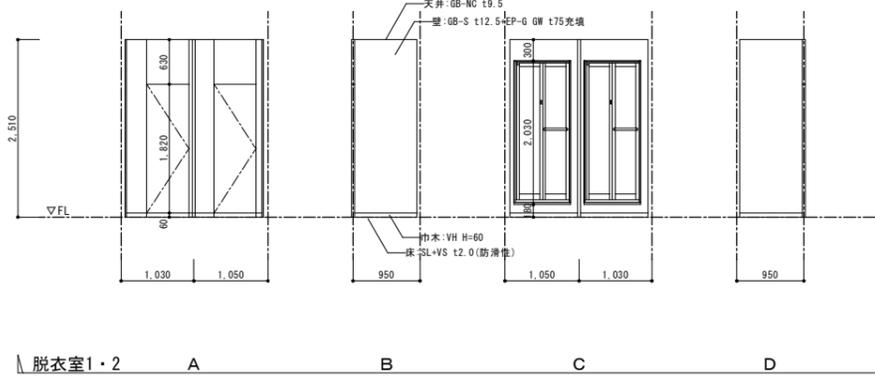
女子便所



多機能便所

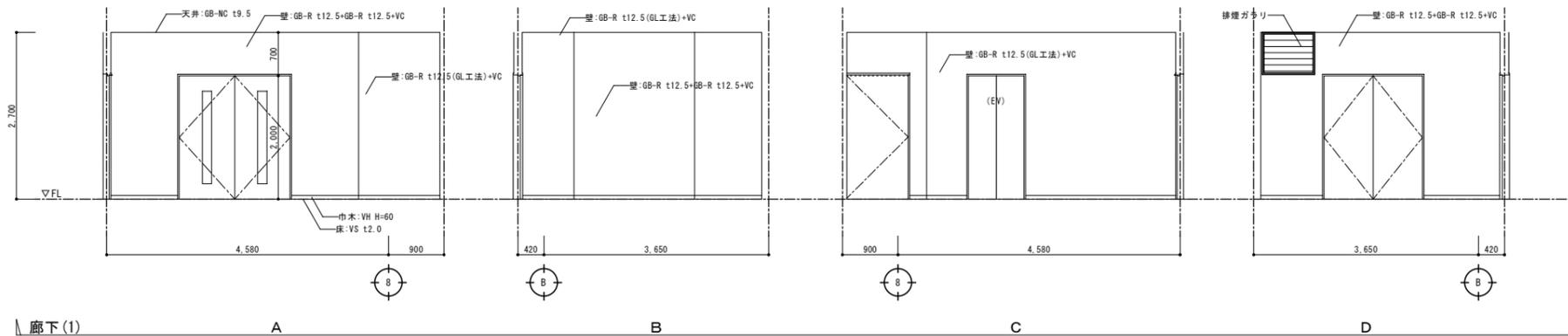
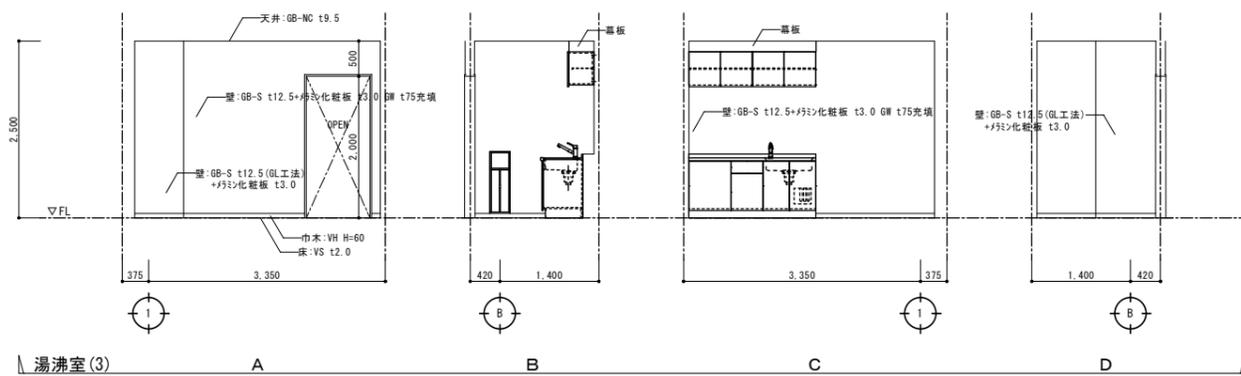
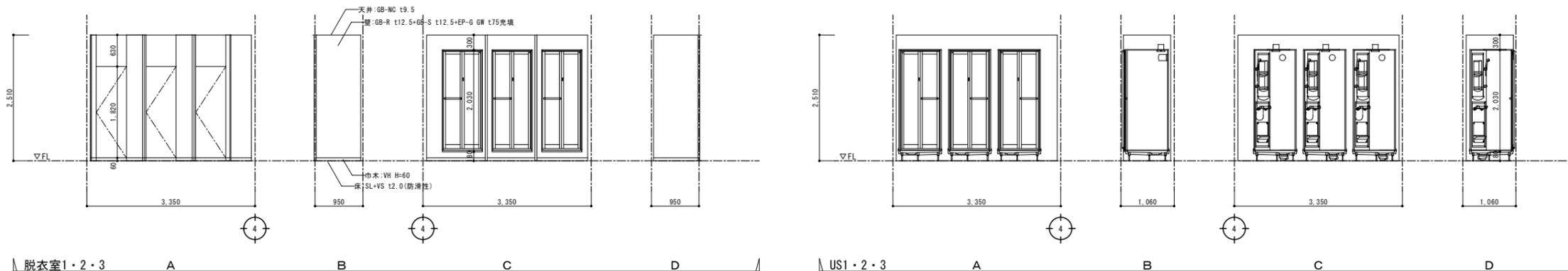
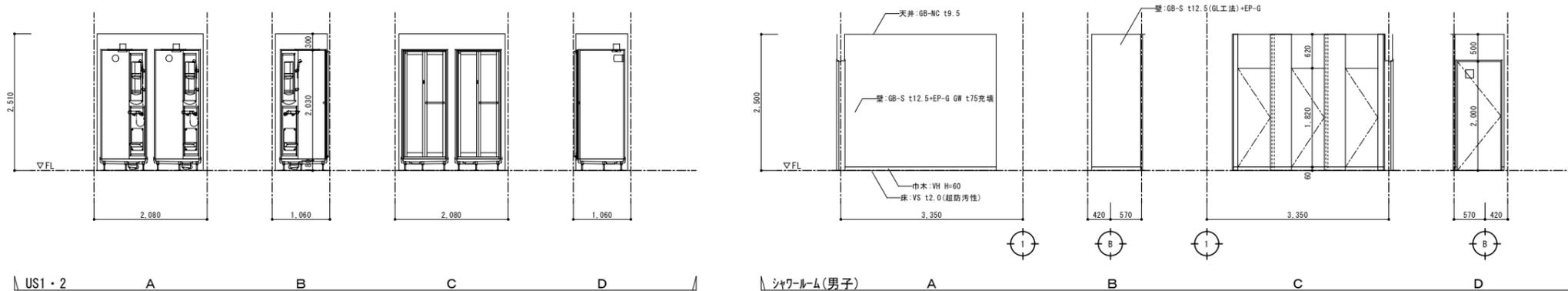


シャワールーム(女子)



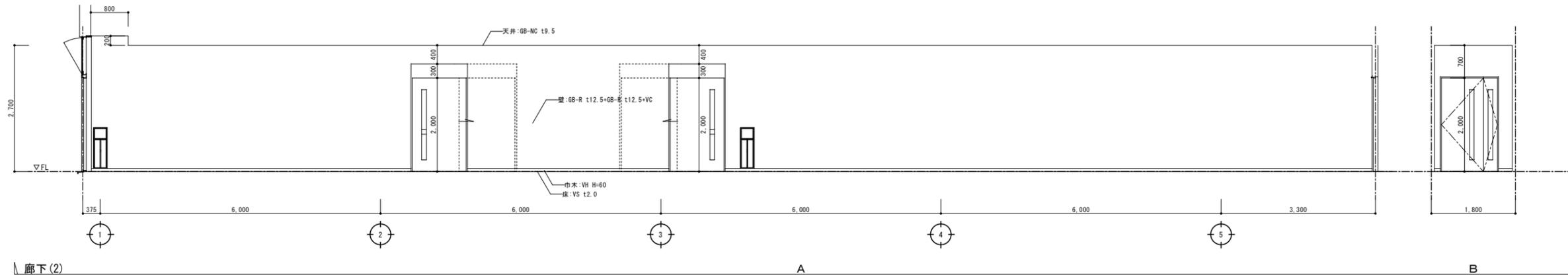
脱衣室1・2

特記事項	株式会社 緯企画設計 一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号 管理建築士(大臣) 第335100号 山本 隆一	製作者	明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日	2025年 8月	工事名称	(仮称)上下水道庁舎建設工事	当初・変更・完成	当
		図面名称	上下水道庁舎 展開図(9) 男子・女子・多機能便所、シャワールーム(女子) A3:1/100	縮尺	A1:1/50 A3:1/100	図番	A-46		



建具表 S=1:100

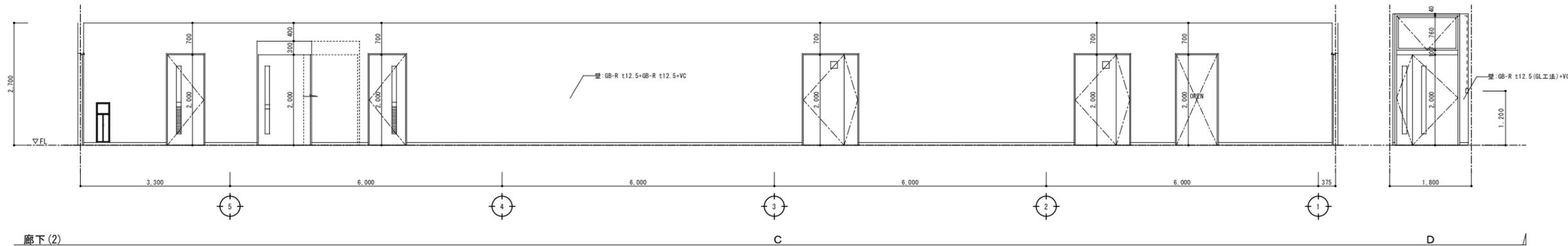
建具符号	型式	四方枠
5	2階 脱衣室1, 2, 3 (男子) 2階 脱衣室1, 2 (女子)	
防火性能		
寸法図		
建具材質	枠見込	建具仕上
枠材質	枠形状	枠仕上
音源形状	音源仕上	
支持金物等		
ガラス種類	ガラス厚さ	
錠前種類	錠前機構	
ガラス形状	ガラス寸法	
召し合せ		
備考	発泡ABS樹脂製	
建具符号	型式	アルミガラリ
1	2階 廊下(1)	
防火性能		
寸法図		
建具材質	枠見込	建具仕上
枠材質	枠形状	枠仕上
音源形状	音源仕上	
支持金物等		
ガラス種類	ガラス厚さ	
錠前種類	錠前機構	
ガラス形状	ガラス寸法	
召し合せ		
備考	開き角度45度以上	



廊下(2)

A

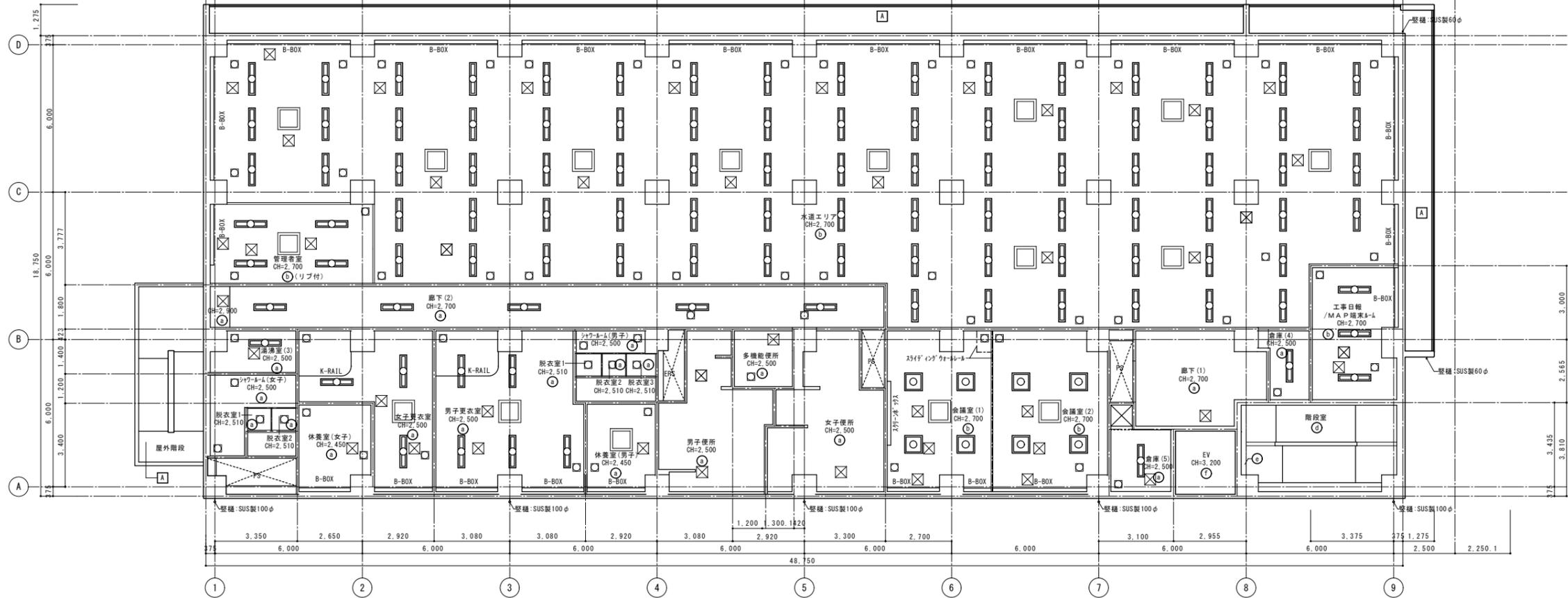
B



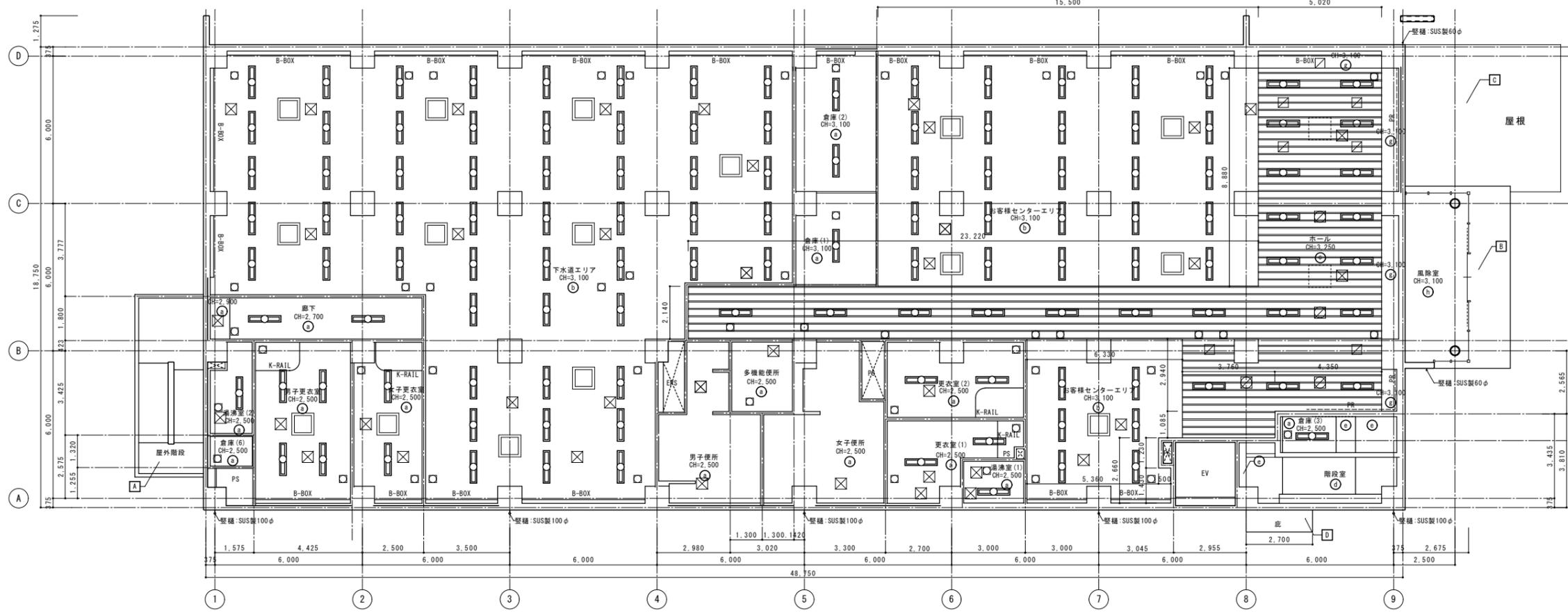
廊下(2)

C

D



2階天井伏図 1/100



1階天井伏図 1/100

凡例：仕上（屋外）

A	コンクリート打放しB種の上外装薄塗材E吹付
B	カラーアルミスバンドレール t=1.0
C	底：ハニカムパネル
D	底：アルミ製

凡例：仕上（屋内）

○	GB-NC t9.5
○	GB-R t12.5 + DR t15
○	GB-R t12.5 + GB-R t12.5 + EP + 木製ルーバー（扉不燃木材）
○	コンクリート打放しB種の上内装薄塗材E吹付
○	コンクリート打放しB種の上EP-G
○	FK t8.0
○	GB-R t12.5 + GB-R t12.5 + EP
○	耐-7&8&9 t=1.4

凡例

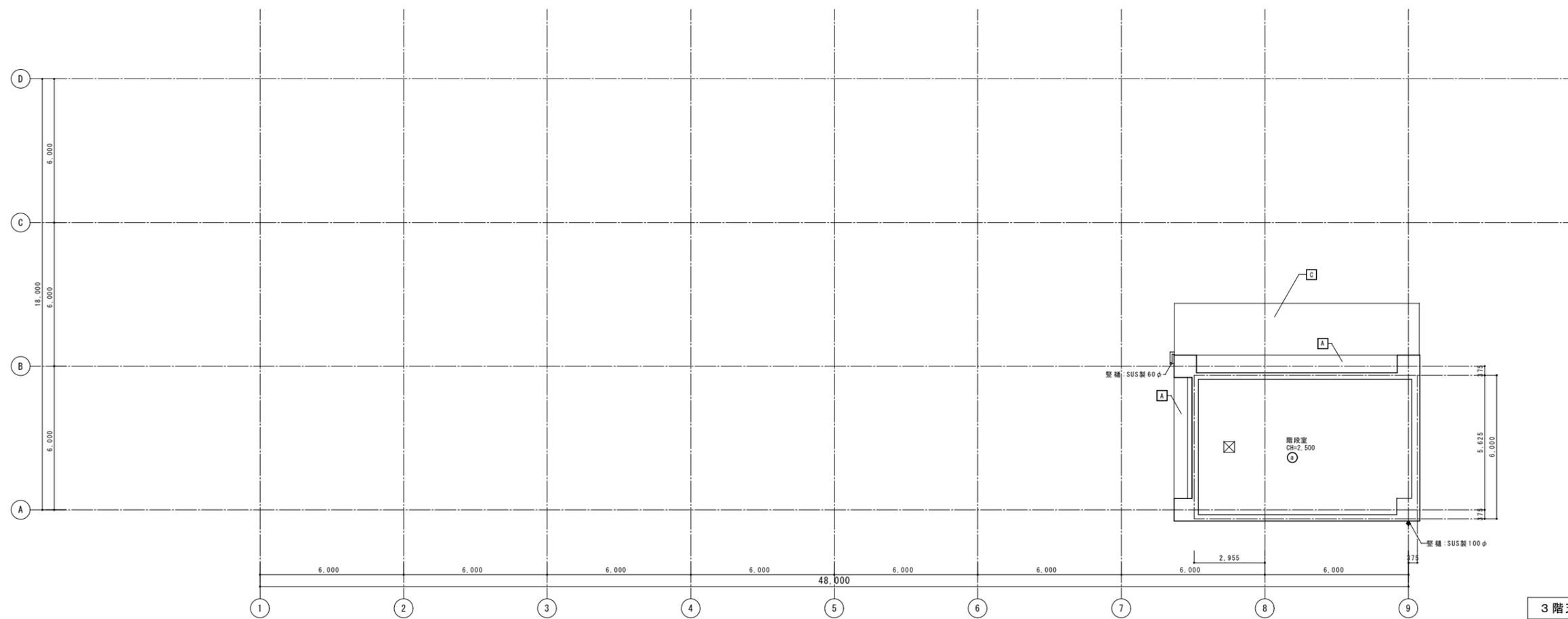
B-BOX	ブラインドボックス（ブランド共）
K-RAIL	天井付付閉仕切シタ' A8-Fレール（7&8製）（シタ' A8-F共）
⊗	天井点検口600×600（目地タイプ）を示す
PR	ビクチャーレール

凡例：天井開口補強

	1階	2階
空調室内機 4方向	900×900 16ヶ所	16ヶ所
天井照 出入口・吸込口	450×450 4ヶ所	0ヶ所
天井照 出入口・吸込口	400×400 7ヶ所	0ヶ所
天井照 出入口・吸込口	300×300 63ヶ所	76ヶ所

凡例：天井開口補強

	1階	2階
照明器具	600×600 0ヶ所	8ヶ所
照明器具	220×1235 116ヶ所	104ヶ所

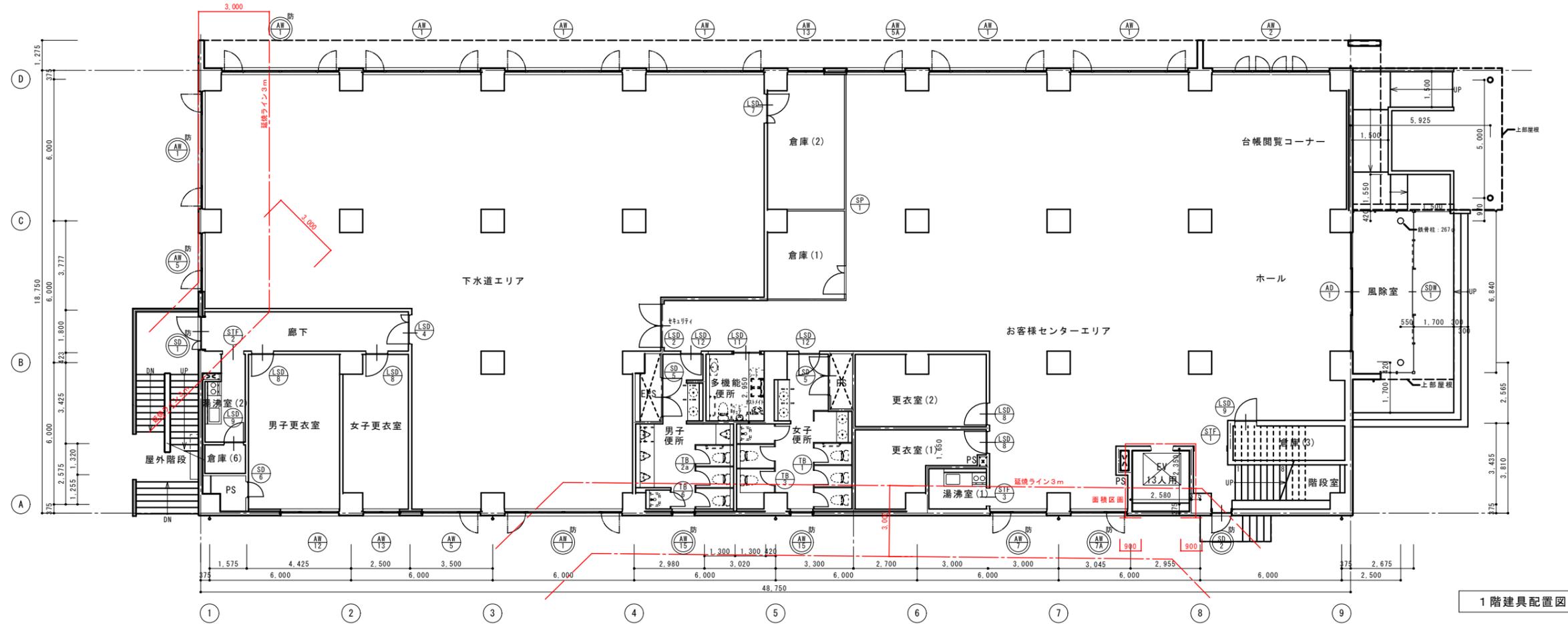
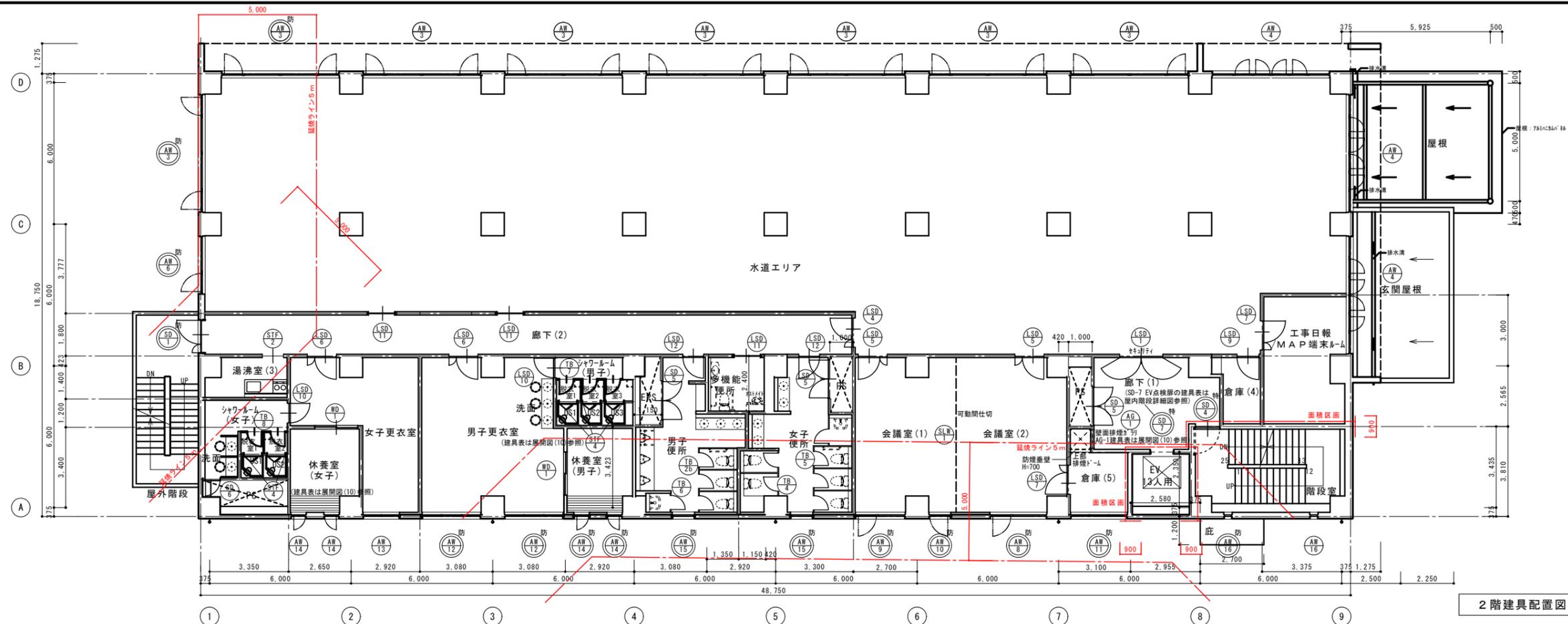


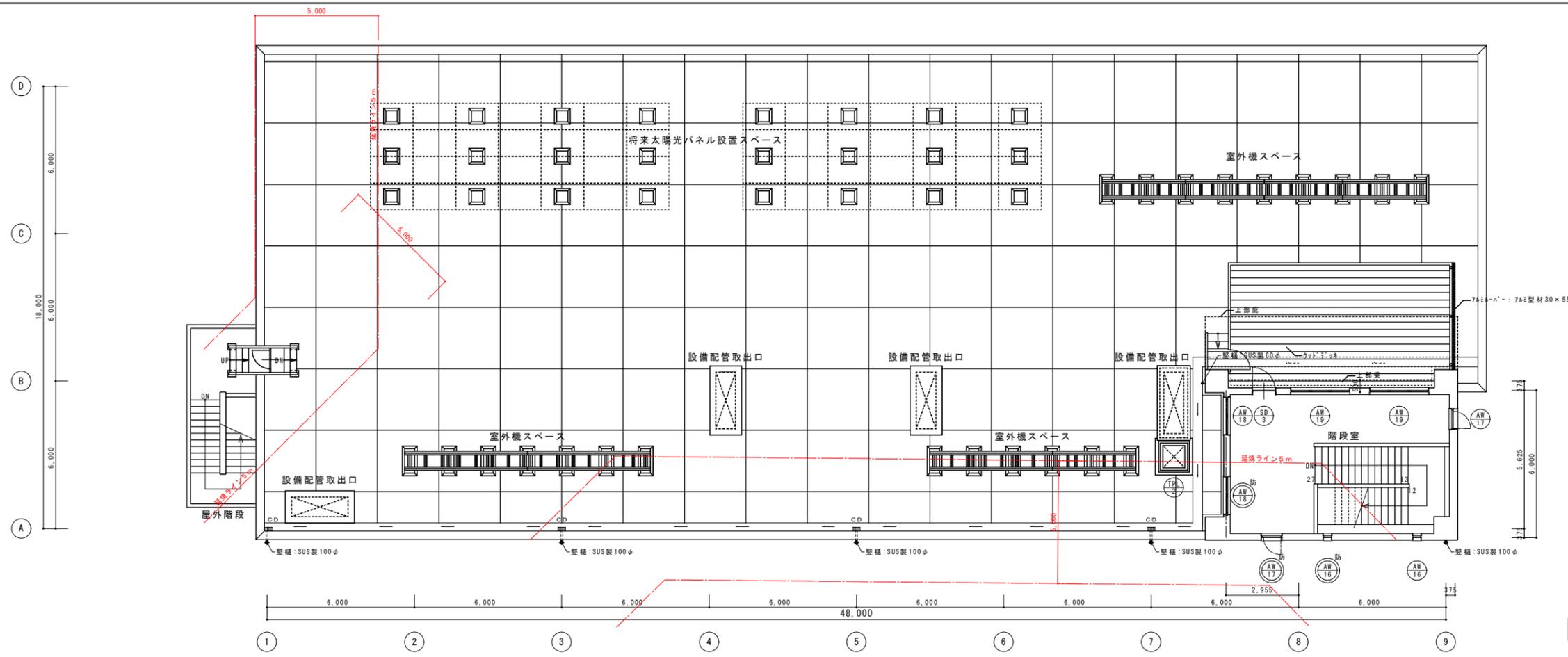
3階天井伏図 1/100

凡例：仕上（屋外）	
A	コンクリート打放しB種の上下装薄塗材E吹付
B	カラーアルミスバンドレル t=1.0
C	庇：ハニカムパネル

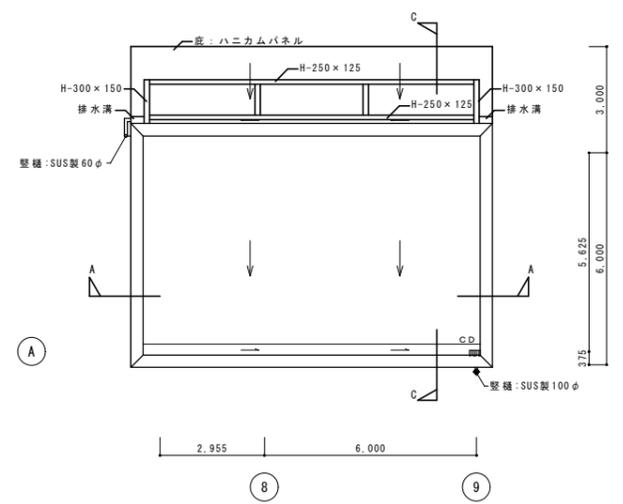
凡例：仕上（屋内）	
①	GB-NC t19.5
②	GB-R t12.5 + DR t15
③	GB-R t12.5 + GB-R t12.5 + EP + 木製ルーバー
④	コンクリート打放しB種の上下装薄塗材E吹付

凡例	
☒	天井点検口600×600（目地タイプ）を示す





3階建具配置図 1/100

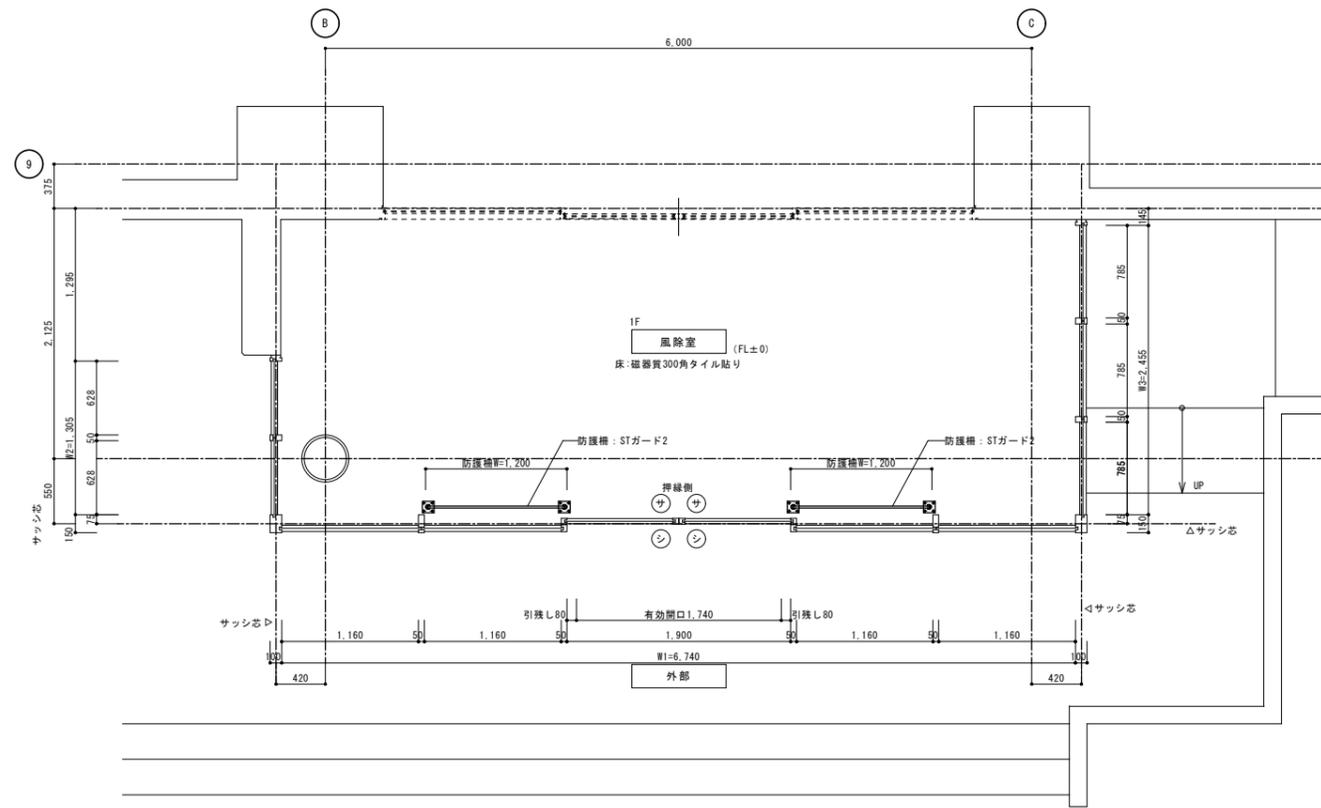


3階屋根伏図 1/100

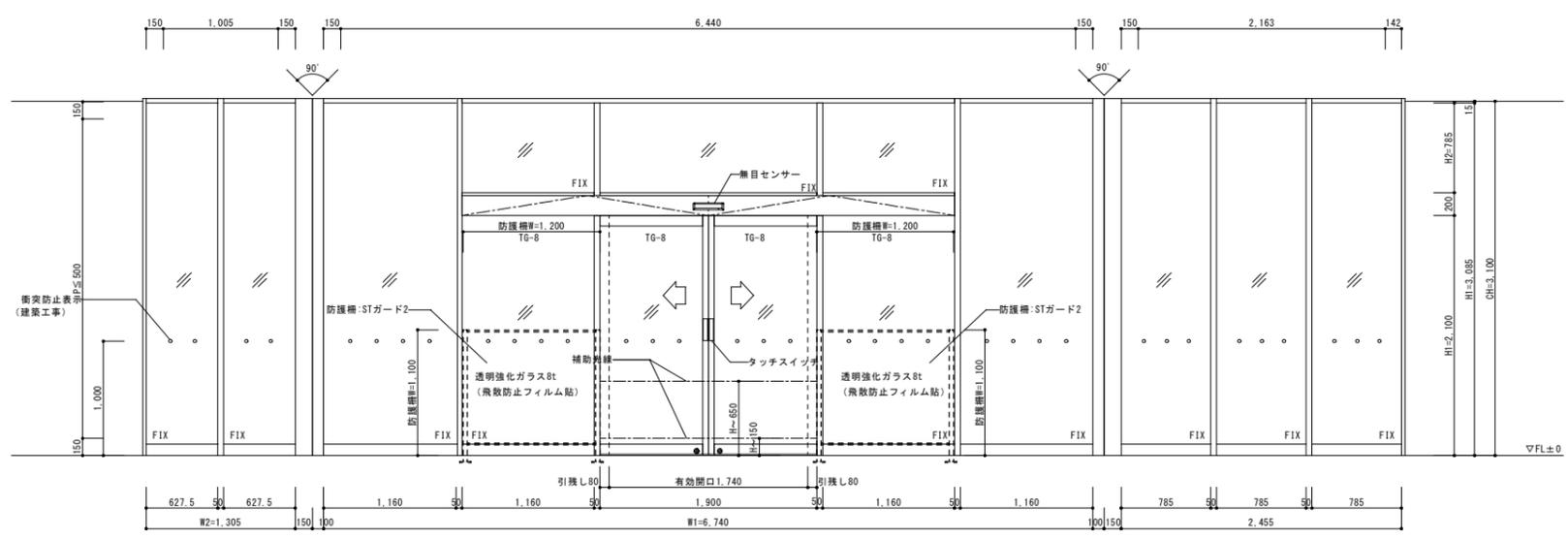
建具符号	型式	(PL1)	排煙ハッチ	(PL2)	排煙ドーム (水平昇降式)
箇所数	取付箇所		2階廊下(2)	1	2階倉庫(5)
防火性能					
寸法図					
建具材質	枠見込	設置仕上	アルミ	-	B-2
枠材質	枠形状	枠仕上	アルミ	-	B-2
窓形状	窓形状	窓仕上	-	-	-
支持金物等	付属金物一式				
ガラス種類	ガラス厚さ	PWG	6.8	PWG	6.8
錠前種類	錠前機構	-	-	-	-
ガラス形状	ガラス寸法	-	-	-	-
備考	召し合せ		オペレーター、開き角度60度以上、排煙面積1.48㎡、手動		オペレーター、排煙面積0.67㎡、手動 内側に鋼板枠を設置し30分耐火の屋根に対応

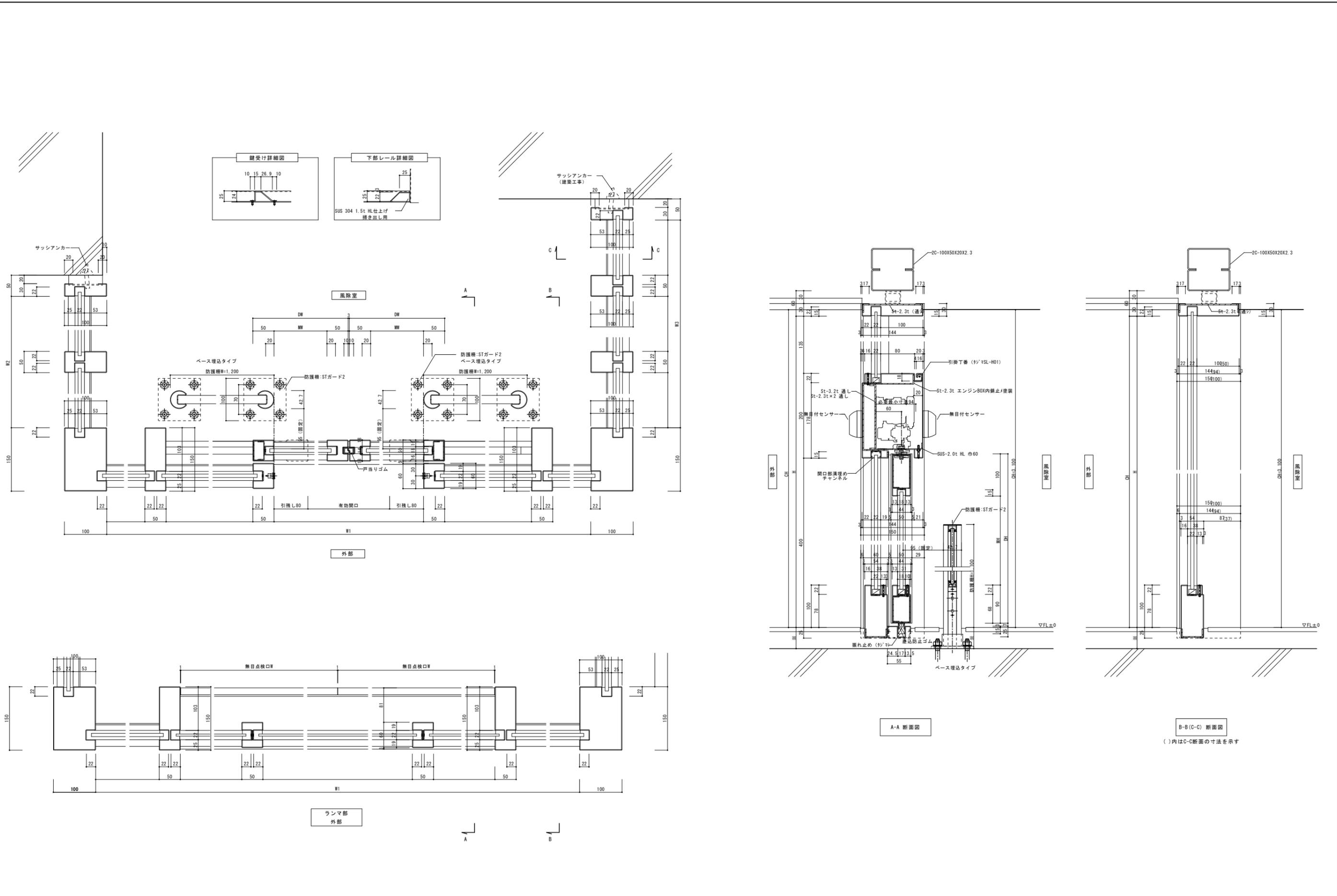
建具共通事項																																																																								
共通仕様	建具種別記号	防火性能記号	附属金物標準仕様	枠形状記号																																																																				
<p>・外部建具廻り仕様 防水処理+現場発泡ウレタン15充填とする 周囲シール材は公共建築工事標準仕様書9章6節による。</p> <p>・内部建具廻り仕様 コックリ及びコックリ+P+ロック壁取付の場合、 充填を行う。</p> <p>・建具の強度 外部に面する建具の強度は、建築基準法施行令および告示に 定められた風圧力に対し安全であるものとする。</p> <p>・ドアの仕様 か-の上面は、原則として床仕上と同材の化粧仕上とする。</p> <p>・建具廻り防水処理 無塩砂を使用し、塩化物を含む混和材を使用してはならない。</p> <p>・ガラス W1500以上は方立を設ける。 外部面のガラスはステンレス製防鳥網(SUS φ1.5 12×12)を設置する。 ダクト接続は、接続棒付、水返し(SUS t1.0以上)付とし、 板ゴムを介して取付ける。枠裏面(室内側)は結露防止材を施す。 外部ガラスは2重ガラス以上とする。</p> <p>・枠廻りアングル 木製額縁、膳板、カーテンボックスを取付ける金属製建具には、 枠と同材のアングルを用意する。</p> <p>・番指の標準設置 特記無い場合にも扉の両側の床仕上が異なる場合は、 の番指を設ける。</p> <p>・排煙用開口部 ・防煙垂壁 ローレル式防煙垂壁は原則としてローレル可倒式(認定品)とする。</p> <p>・網戸の形式 引違窓、片引窓 = 可動 欄間排煙窓 = 固定 外開窓 = 内開窓 を標準とする。 その他の場合は特記による。(ex. プリント網戸取付の場合等)</p> <p>・法定標識 代用進入口マーク他は所定の位置に取り付ける。</p> <p>・水切り板 アルミ製建具水切り板は国土交通省仕様(H27年版)による。</p> <p>・構造スリット部建具 構造スリットが接する建具枠は、別途特記による。 鋼製建具(開き扉形式)は、構造スリットに取合わない位置に設置する。</p> <p>・鍵 鍵はリバーシブルシリンダー、ディンプルキーとする。 シリンダー錠はアンチフリクション機構付とする。 鍵は必要により設備関係の鍵類も合わせてキーボックスに収納する。 その他 框戸ガラス面には衝突防止金物 SUS 鏡面仕上げφ30 #300を 両面に取付けること。 扉の窓は全てエッジレス(線無し)タイプとする。 Low-Eガラスは開口部基準の熱貫流率≦0.49(W/(m²・K))以下となる 性能を有すること。 縦引き出し窓、外倒し窓は開き角度45度以上とする。 排煙窓のオペレータ設置高さはFLから1500mm以下とする</p>	<p>SD 鋼製扉 SS 鋼製重量シャッター LSD 軽量鋼製扉 LSS 鋼製軽量シャッター STD ステンレス製扉 RSS 鋼製軽量シャッター AD アルミ製扉 STS ステンレス製重量シャッター WD 木製扉 ShS シートシャッター TD 強化ガラス扉</p> <p>SW 鋼製窓 FSSD 鋼製防火シャッター・防火戸 STW ステンレス製窓 FSS 鋼製防火シャッター AW アルミ製窓 FSD 鋼製防火戸 WW 木製窓</p> <p>ACW アルミ製カーテンウォール</p> <p>SG 鋼製ガラリ AP アルミ製パーティション STG ステンレス製ガラリ AP アルミ製パーティション AG アルミ製ガラリ AP アルミ製パーティション WG 木製ガラリ SLP 鋼製ローパーティション SMP 鋼製移動間仕切り</p> <p>SF 鋼製枠 TB トイレブース STF ステンレス製枠 AF アルミ製枠 F ふすま P 障子</p>	<p>防 防火設備(法2条9号の2口) 常 常時閉鎖式 準 防火設備(準防火性能) 随 随時閉鎖式 特 特定防火設備(令112条1項) 熱 熱感知器連動 不 不燃戸・不燃扉 煙 煙感知器連動</p> <p>防火設備 (告示1360) 特定防火設備 (告示1369) 遮煙性能 (告示2564)</p>	<p>・丁番：ステンレスHL ・ピボットヒンジ：鉄製型打鍛造又は亜鉛ダイキャスト (見え掛かり部はステンレスカバー) ・フロアヒンジ：フェーズプレートは隠蔽型、内外とも90度ストップ付き ディレイドアクション、ラッチングアクション、バックチェック、 閉扉速度調整装置付 ・オートヒンジ：焼付塗装(指定色) ・ドアクローザー：アルミダイキャスト 焼付塗装(厚同色) ディレイドアクション、ラッチングアクション、バックチェック、 閉扉速度調整装置付 ・ドアクローザー(コンシールド形)：スプリング油圧式、 2段変速調整装置付、90度ストップ付(戸当り併用) ・錠前：シリンダー錠、バックセット75mm以上、マスターキー装置付 ・握玉：ステンレスHL、バックセット100mm、丸座φ100 ・レバーハンドル：座板共ステンレスHL ・グレモンハンドル：ステンレスHL ・フランス落し：ステンレスHL ・戸当り：(外部)ステンレスHL ゴム付 (内部)亜鉛ダイキャスト ゴム付</p>	<p>A </p> <p>B </p> <p>C </p> <p>D </p> <p>E </p> <p>F </p> <p>G </p> <p>H </p> <p>I </p>																																																																				
		<p>仕上げ記号 ※仕上表等に記載の場合は見え消しても可</p> <p>B-1 無着色陽極酸化塗装複合皮膜 B-2 着色陽極酸化塗装複合皮膜</p> <p>SOP 合成樹脂調合ペイント塗り CL クリアラッカー塗り DP 耐候性塗料塗り EP-G 艶有合成樹脂エマルジョンペイント塗り OS オイルステイン塗り OSCL オイルステイン3回塗りクリアラッカー2回塗</p>	<p>附属金物(開閉金物)記号</p> <p>DC ドアクローザー DC(S) ドアクローザー(ストッパー付き) DC(F) ドアクローザー(ヒューズ付き) DC(C) ドアクローザー(コンシールド型) FB フランス落し AS アームストッパー DS 戸当り</p> <p>附属金物(支持金物)記号</p> <p>FH フロアヒンジ H 丁番 AH オートヒンジ H(隠) 隠し丁番 PH ピボットヒンジ DH 自由丁番 TPH 吊輪ヒンジ HR ハンガーローレル</p> <p>附属金物(操作金物)記号</p> <p>KN 握り玉 FP 彫込引手 LH レバーハンドル OP オペレーター(隠蔽型) HP 押棒・押板・引手 OP(露) オペレーター(露出型) CH ケースハンドル GH グレモンハンドル CR クレセント</p> <p>附属金物(施錠金物)記号</p> <p>A ケースロック F 本締錠 B インテグラルロック G 電気錠 C モノロック H 点検口錠 D 引鎖錠 I 分電盤錠 E グレモン錠 J 表示錠</p> <p>附属金物(施錠機構)記号</p> <p>⊕ 両面シリンダー ⊗ 片面シリンダー 片面サムターン ⊗ 片面シリンダー 片面空錠 ⊗ 片面サムターン 片面空錠</p> <p>・シリンダー錠は原則として片面シリンダー、片面サムターンとする。</p>	<p>附属金物標準取付リスト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開閉方式</th> <th>支持金物</th> <th>施錠金物</th> <th>附属金物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開き(S, ST)</td> <td>(外部用)H×3 (内部用)PH</td> <td>F</td> <td>DC 両開き、親子開きはFB 両開き、親子開き 防火戸は順位調整器</td> </tr> <tr> <td>開き(A)</td> <td>(外部用)H×3 (外部用)H×3</td> <td>F</td> <td>DC 両開き、親子開きはFB</td> </tr> <tr> <td>開き(W)</td> <td>(内部用)PH</td> <td>F</td> <td>DC 両開き、親子開きはFB</td> </tr> <tr> <td>戸袋付き防火戸</td> <td>中心吊りAH 二つ折れの場合は 専用ドアキャッチ</td> <td>CH</td> <td>煙感知器連動 閉鎖装置一式</td> </tr> <tr> <td>開き(S) (PS, EPS)</td> <td>TPH</td> <td>H</td> <td>両開き、親子開きはFB</td> </tr> <tr> <td>自動扉</td> <td>ドアエンジン 装置一式</td> <td>F</td> <td>タッチスイッチ及び センサー併用</td> </tr> <tr> <td>引戸</td> <td>HR</td> <td>D</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	開閉方式	支持金物	施錠金物	附属金物	開き(S, ST)	(外部用)H×3 (内部用)PH	F	DC 両開き、親子開きはFB 両開き、親子開き 防火戸は順位調整器	開き(A)	(外部用)H×3 (外部用)H×3	F	DC 両開き、親子開きはFB	開き(W)	(内部用)PH	F	DC 両開き、親子開きはFB	戸袋付き防火戸	中心吊りAH 二つ折れの場合は 専用ドアキャッチ	CH	煙感知器連動 閉鎖装置一式	開き(S) (PS, EPS)	TPH	H	両開き、親子開きはFB	自動扉	ドアエンジン 装置一式	F	タッチスイッチ及び センサー併用	引戸	HR	D		<p>両開き扉合わせ部</p> <p>A </p> <p>B </p> <p>C </p> <p>D </p>																																			
	開閉方式	支持金物	施錠金物	附属金物																																																																				
	開き(S, ST)	(外部用)H×3 (内部用)PH	F	DC 両開き、親子開きはFB 両開き、親子開き 防火戸は順位調整器																																																																				
	開き(A)	(外部用)H×3 (外部用)H×3	F	DC 両開き、親子開きはFB																																																																				
	開き(W)	(内部用)PH	F	DC 両開き、親子開きはFB																																																																				
	戸袋付き防火戸	中心吊りAH 二つ折れの場合は 専用ドアキャッチ	CH	煙感知器連動 閉鎖装置一式																																																																				
	開き(S) (PS, EPS)	TPH	H	両開き、親子開きはFB																																																																				
	自動扉	ドアエンジン 装置一式	F	タッチスイッチ及び センサー併用																																																																				
	引戸	HR	D																																																																					
	<p>ガラス記号</p> <p>FL フロート板ガラス HSG 倍強度ガラス FLG すりガラス TG 強化ガラス FG 型板ガラス FTG 型板強化ガラス PWG 網入磨き板ガラス LG 合わせガラス PWLG 線入磨き板ガラス SLG 防音合わせ複層ガラス FWG 網入型板ガラス SIG 複層硝子 FWLG 線入型板ガラス L-ESIG Low-Eガラス HAG 熱線吸収ガラス HR 高性能熱線反射板ガラス HAPWG 熱線吸収網入磨き板ガラス DSHA 倍強度熱線吸収ガラス HAPWLG 熱線吸収線入磨き板ガラス FK 耐熱ガラス(特定防火設備) AWG 熱線吸収網入磨き板ガラス(防火設備) GB ガラスブロック AWL 熱線吸収線入磨き板ガラス(防火設備) A 空気層 SRG 熱線反射硝子 P ポリカーボネート HASRG 熱線吸収熱線反射ガラス</p>	<p>材質記号</p> <p>S 鋼(スチール) AL アルミ SUS ステンレス W 木 LS 軽量鋼製</p>	<p>性能記号 ※特記仕様書に記載の場合は見え消しても可</p> <p>AT 気密性サッシ・ドアセット T- 防音型サッシ SAT 簡易気密性ドアセット H- 断熱型サッシ・ドアセット PAT 防音型ドアセット D- 耐震ドアセット</p> <p>耐風圧性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>S-1</th> <th>S-2</th> <th>S-3</th> <th>S-4</th> <th>S-5</th> <th>S-6</th> <th>S-7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大加圧 圧力(Pa)</td> <td>800</td> <td>1200</td> <td>1600</td> <td>2000</td> <td>2400</td> <td>2800</td> <td>3600</td> </tr> </tbody> </table> <p>気密性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>S-1</th> <th>S-2</th> <th>S-3</th> <th>S-4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>気密等級線</td> <td>120等級線</td> <td>30等級線</td> <td>8等級線</td> <td>2等級線</td> </tr> </tbody> </table> <p>水密性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>W-1</th> <th>W-2</th> <th>W-3</th> <th>W-4</th> <th>W-5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧力差(Pa)</td> <td>100</td> <td>150</td> <td>250</td> <td>350</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table> <p>遮音性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>T-1</th> <th>T-2</th> <th>T-3</th> <th>T-4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遮音性(dB)</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>断熱性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>H-1</th> <th>H-2</th> <th>H-3</th> <th>H-4</th> <th>H-5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>熱貫流抵抗値 (m²・k/w)</td> <td>0.215</td> <td>0.246</td> <td>0.287</td> <td>0.344</td> <td>0.430</td> </tr> </tbody> </table> <p>面内変形追従性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>D-1</th> <th>D-2</th> <th>D-3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面内変形角 (rad)</td> <td>1/300</td> <td>1/150</td> <td>1/120</td> </tr> </tbody> </table>	等級	S-1	S-2	S-3	S-4	S-5	S-6	S-7	最大加圧 圧力(Pa)	800	1200	1600	2000	2400	2800	3600	等級	S-1	S-2	S-3	S-4	気密等級線	120等級線	30等級線	8等級線	2等級線	等級	W-1	W-2	W-3	W-4	W-5	圧力差(Pa)	100	150	250	350	500	等級	T-1	T-2	T-3	T-4	遮音性(dB)	25	30	35	40	等級	H-1	H-2	H-3	H-4	H-5	熱貫流抵抗値 (m ² ・k/w)	0.215	0.246	0.287	0.344	0.430	等級	D-1	D-2	D-3	面内変形角 (rad)	1/300	1/150	1/120	<p>追記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DCの取り付け面は室内側とし、防火戸を除き90度ストッパー付とする。 ・内部用金属製建具組立補助部品(ビス等)はステンレス製とし、 見掛け部分に使用するものは建具同色とする。 ・防火扉内につくガラリには、可動式ダンパーを設ける。 ・上吊式扉は、半自動式とする。(手動開放、自動開放、開放停止) ・握玉、レバーハンドル、押板等の取付け位置は FL+1000を標準とする。 ・壁当たりとなる扉にはDCの有無にかかわらず戸当りを設ける。
等級	S-1	S-2	S-3	S-4	S-5	S-6	S-7																																																																	
最大加圧 圧力(Pa)	800	1200	1600	2000	2400	2800	3600																																																																	
等級	S-1	S-2	S-3	S-4																																																																				
気密等級線	120等級線	30等級線	8等級線	2等級線																																																																				
等級	W-1	W-2	W-3	W-4	W-5																																																																			
圧力差(Pa)	100	150	250	350	500																																																																			
等級	T-1	T-2	T-3	T-4																																																																				
遮音性(dB)	25	30	35	40																																																																				
等級	H-1	H-2	H-3	H-4	H-5																																																																			
熱貫流抵抗値 (m ² ・k/w)	0.215	0.246	0.287	0.344	0.430																																																																			
等級	D-1	D-2	D-3																																																																					
面内変形角 (rad)	1/300	1/150	1/120																																																																					
<p>建具種類別共通仕様</p> <p>・鋼製建具 防錆処理は特記無き限り 内部JIS K 5621、外部JIS K 5625 亜鉛メッキ面はJIS K5629とする。 PS、DSの点検扉はAT仕様とする。</p> <p>・軽量鋼製建具 原則として小口包みは表面鋼板を曲げこむこと。</p> <p>・アルミニウム製建具 室内側枠は、アルミ又はスチール額縁クリップ止めとする。 木製額縁の場合は埋木にてビス止め部分を隠蔽又は、 アングルビス差し込みとする。 排水孔は最小8mm、原則2ヶ所以上設ける。 アルミ製建具の額縁はアルミ製105×25とする。</p> <p>・木製建具 水廻りに使用するフラッシュ扉の合板はタイプ1(耐水)とする。 ドアガラリを設ける際はアルミ製とする。</p> <p>・防火・防煙シャッター 避難時停止装置付き。防煙区画となる場合には、 専用スラットの物を使用する。</p> <p>・ガラスブロックの目地 外部目地はすべてシーリング材とする。</p>																																																																								
<p>特記事項</p>																																																																								

建具符号	型式	軽量鋼製 両開き戸	軽量鋼製 両開き戸	軽量鋼製 親子開き戸					
箇所数	取付箇所	1 2階 水道エリア	1 1階 水道エリア	2 1階 廊下 2階 廊下(2)	2 2階 会議室(1)(2)	2 2階 男子更衣室、女子更衣室	3 1階 倉庫(2) 2階 倉庫(5)、工事日報/MAP端末ルーム	4 1階 男子更衣室、女子更衣室、更衣室(1)(2)	
防火性能									
寸法	図								
建具材質	枠見込	LS 160							
枠形状	枠形状	S D	S D	S D	S D	S D	S D	S D	S D
支持金物等	ガラス厚さ	H, FB, LH, DC(S), DS, 付属金物一式	H, LH, DC(S), DS, 付属金物一式						
ガラス種類	錠前種類	樹脂ガラス 3	樹脂ガラス 4						
錠前種類	錠前種類	錠錠機構							
ガラス形状	ガラス寸法	-	-	-	-	-	-	-	-
備考		ナンバー錠(機械式) (キーレックス800 品番22823M同等品) 開き角度180度、床付戸当り							
建具符号	型式	軽量鋼製 片開き戸	軽量鋼製 片開き戸	軽量鋼製 壁引込み片引き吊戸	軽量鋼製 片開き戸	欄間外側引込付き親子開き戸	片開き戸	片開き戸	片開き戸
箇所数	取付箇所	3 1階 倉庫(3)、倉庫(6) 2階 倉庫(4)	2 2階 シャワールーム(男子・女子)	4 1、2階 多機能便所、2階 廊下(2)	4 1、2階 男子・女子便所	2 1階 廊下(1)、2階 廊下(2)	1 1階 階段室	1 1階 階段室	1 3階 階段室
防火性能									
寸法	図								
建具材質	枠見込	LS 160	LS 160	LS 160	LS 160	S 100	S 100	S 100	S 100
枠形状	枠形状	S D	S D	S F	S D	S E	S E	S E	S E
支持金物等	ガラス厚さ	H, LH, DC(S), DS, 付属金物一式	H, LH, DC(S), DS, 付属金物一式	H, HP, DS(S), 付属金物一式	H, LH, DC(S), DS, 付属金物一式	H, FB, DC, DS, LH, OP, 付属金物一式	H, DC, DS, LH, 付属金物一式	H, DC, DS, LH, 付属金物一式	H, DC(S), DS, LH, 付属金物一式
ガラス種類	錠前種類	樹脂ガラス 3	樹脂ガラス 4	樹脂ガラス 3	樹脂ガラス 3	樹脂ガラス 6.8	樹脂ガラス 6.8	樹脂ガラス 6.8	樹脂ガラス 6.8
錠前種類	錠前種類	錠錠機構							
ガラス形状	ガラス寸法	-	-	-	-	-	-	-	-
備考		倉庫(3)は樹脂ガラス無しとしガラスのみとする ガラスは施工時に必要寸法を調整し設置のこと		1、2階 多機能便所は表示錠とする 廊下(2)は本錠錠とする	ガラスは施工時に必要寸法を調整し設置のこと	ナンバー錠(機械式) (キーレックス800 品番22823M同等品) アルミ樹脂 105x25	将来機械式電磁気錠対応仕様 (特認認証、網膜認証、カードキー等) アルミ樹脂 105x25		
建具符号	型式	戸袋付鋼製防火戸	両開き片面フラッシュ戸	片開き片面フラッシュ戸	三方枠	三方枠	三方枠	三方枠	三方枠
箇所数	取付箇所	1 2階 階段室	5 1、2階 PS・EPS	2 1、2階 PS	1 1階 階段室	2 1階 湯沸室(2) 2階 湯沸室	1 1階 湯沸室(1)	1 2階 会議室(1)	1 1階 女子便所
防火性能									
寸法	図								
建具材質	枠見込	S 130	S 100	S 100	SUS 250	SUS 155(STF-3 165)	S 70	-	-
枠形状	枠形状	S H	A	A	F	F	-	-	-
支持金物等	ガラス厚さ	AH, DS, CH, 付属金物一式	H, FB, DC(S), DS, CH, 付属金物一式	H, DC(S), DS, CH, 付属金物一式	-	-	-	-	-
ガラス種類	錠前種類	-	-	-	-	-	-	-	-
錠前種類	錠前種類	-	-	-	-	-	-	-	-
ガラス形状	ガラス寸法	-	-	-	-	-	-	-	-
備考		随時閉鎖式、煙感知器連動開鎖、遮煙性能 告示第2563号に適合した防火設備の構造とすること							
建具符号	型式	トイレブース							
箇所数	取付箇所	2 1、2階 男子便所	1 1階 女子便所	1 2階 女子便所	1 2階 女子便所	2 1、2階 男子便所	1 2階 シャワールーム(男子)	1 2階 シャワールーム(女子)	1 2階 シャワールーム(女子)
寸法	図								
建具材質	枠見込	-	-	-	-	-	-	-	-
枠形状	枠形状	AL							
支持金物等	ガラス厚さ	床レール、天井レール、壁面レール、天井レール、SK錠、付属金物一式							
ガラス種類	錠前種類	-	-	-	-	-	-	-	-
錠前種類	錠前種類	-	-	-	-	-	-	-	-
ガラス形状	ガラス寸法	-	-	-	-	-	-	-	-
備考		SUS市木 非常時外開き仕様 中心吊グレビティヒンジ	SUS市木 非常時外開き仕様 中心吊グレビティヒンジ 充填材: 発泡性ポリスチレン						

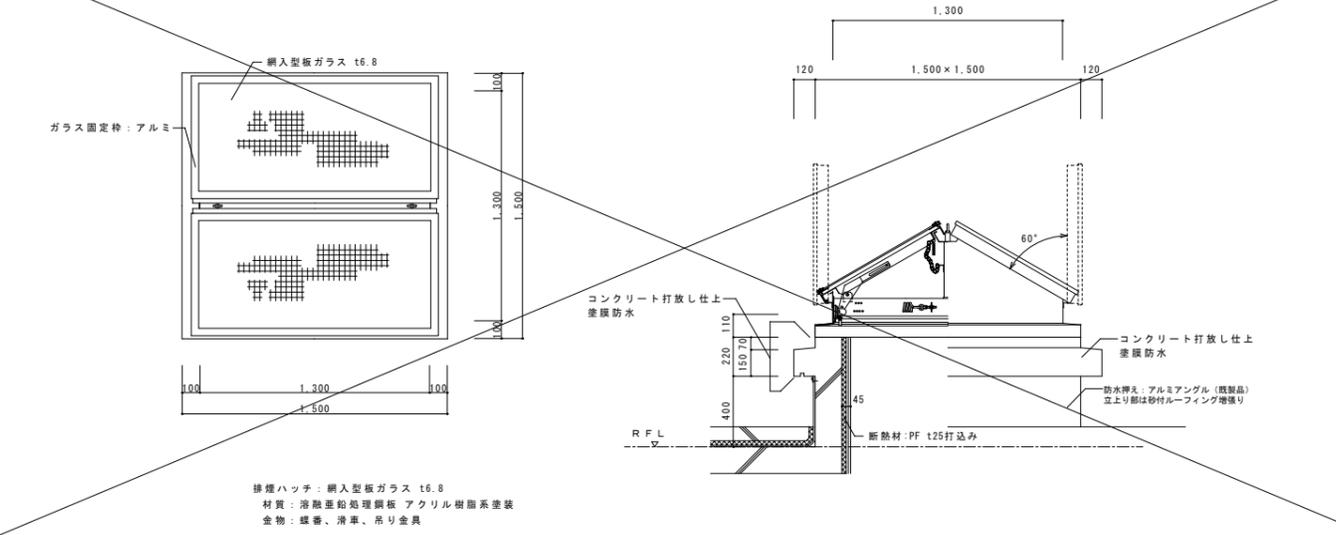
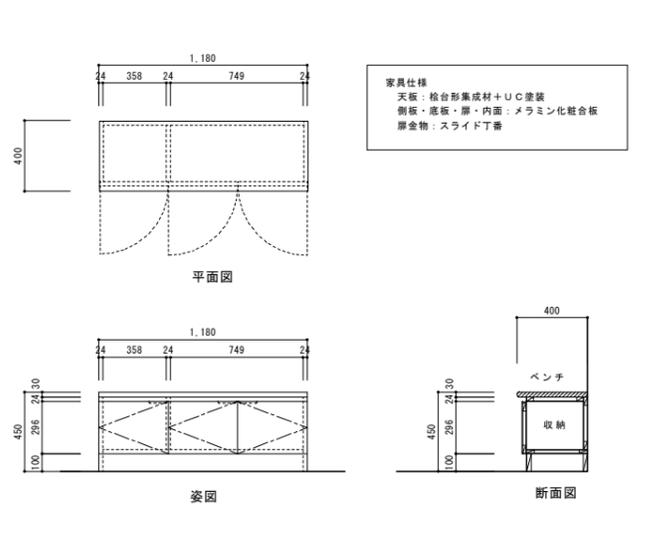
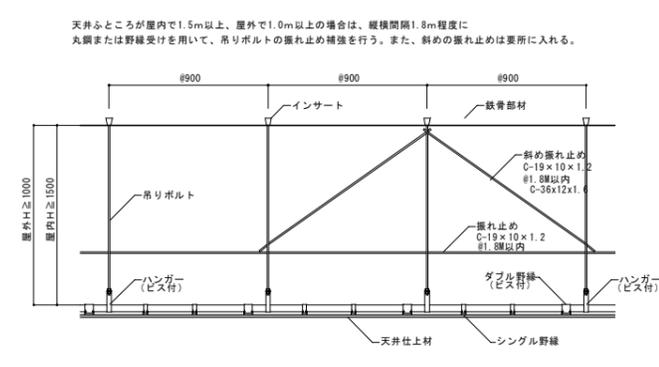
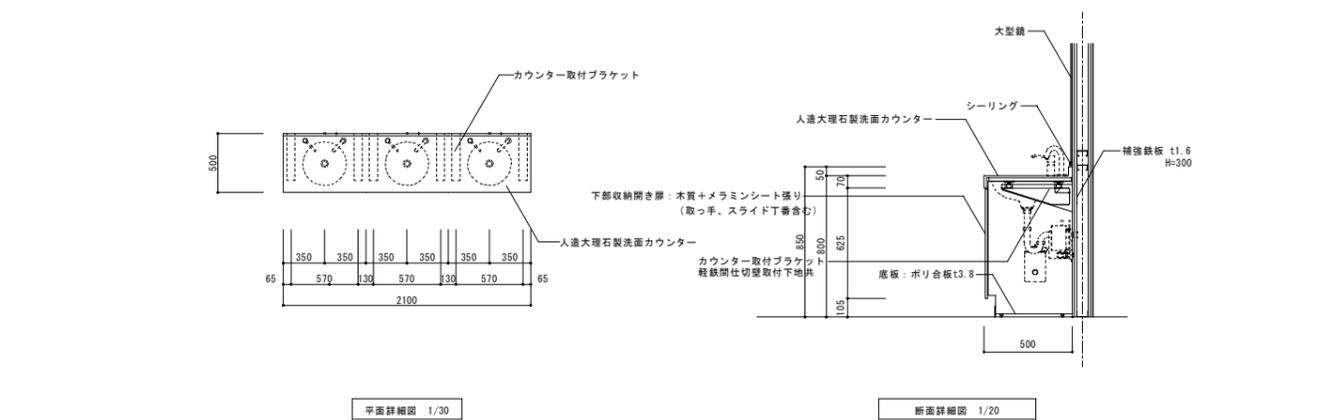
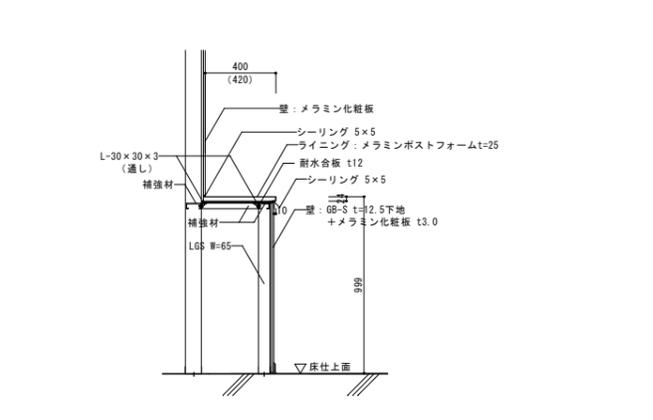
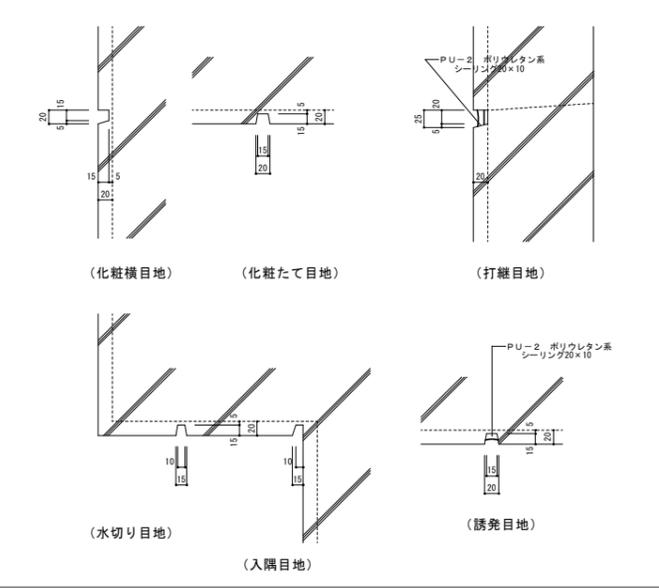
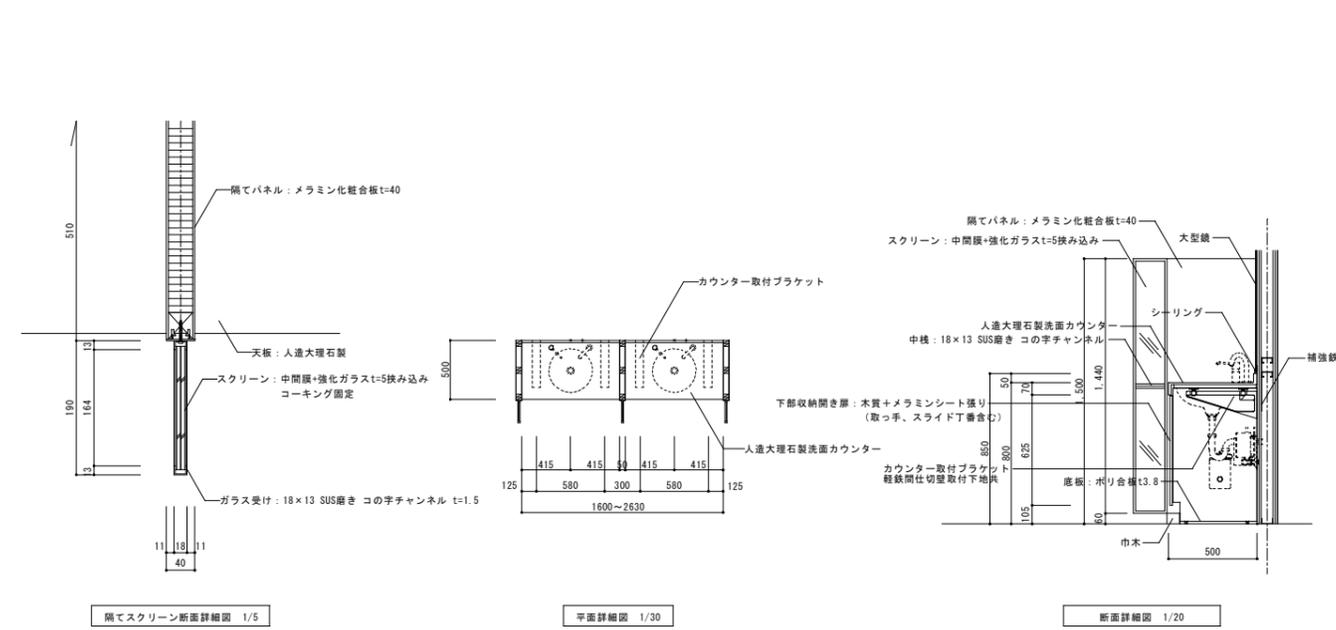
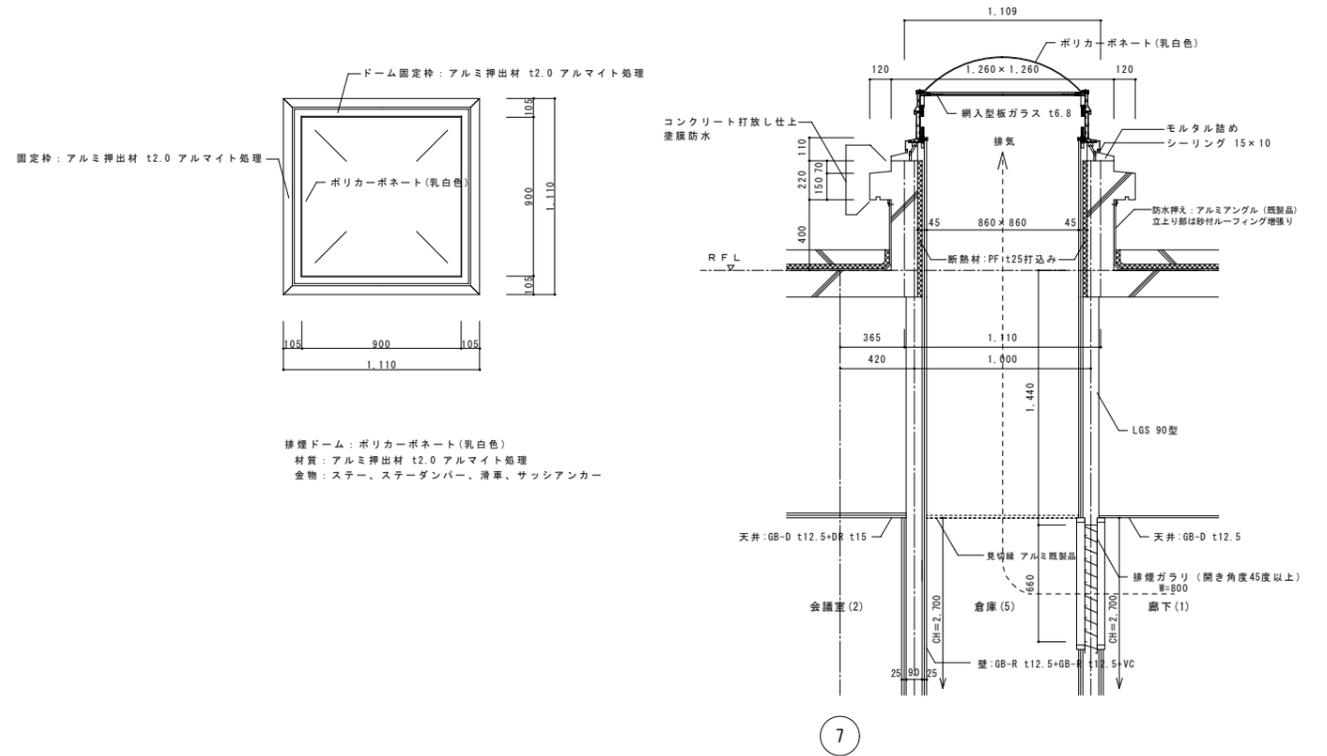


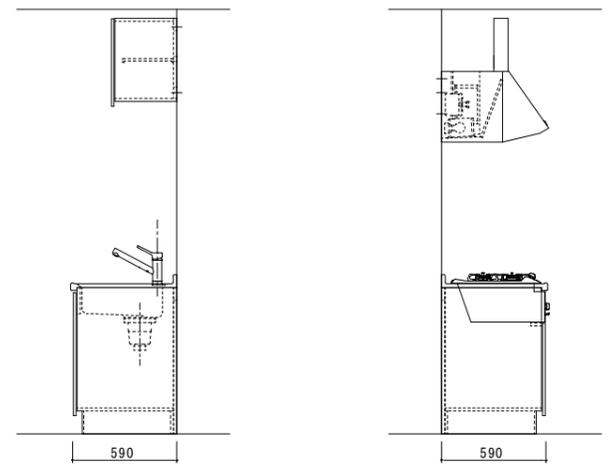
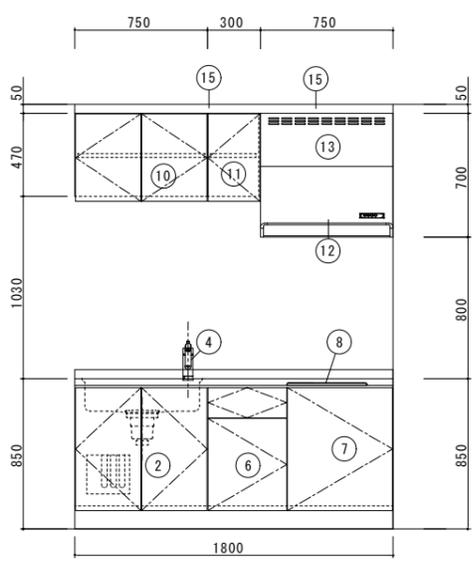
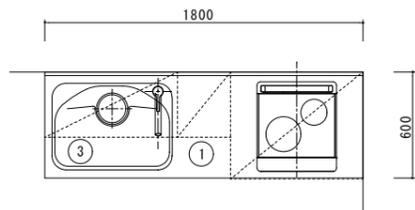
器具品名	メーカー・品番	1ヶ所数量	備考
エンジン装置	Si970 H-660	1式	
無目センサー	OPTEX OA-215CAN	2	
補助センサー	OPTEX OS-20CAN	2	
タッチスイッチ	OPTEX	2	
本機錠	美和 TRU-1	2	BS100
戸当りゴム	妙肖 TF-14	2	
差込防止ゴム	フジ社 MM-150	2	
引掛丁番	シマ SL-H01	6	
防護柵	三和 STガード2	2	ベース埋込みタイプ 枠: ノックダウン



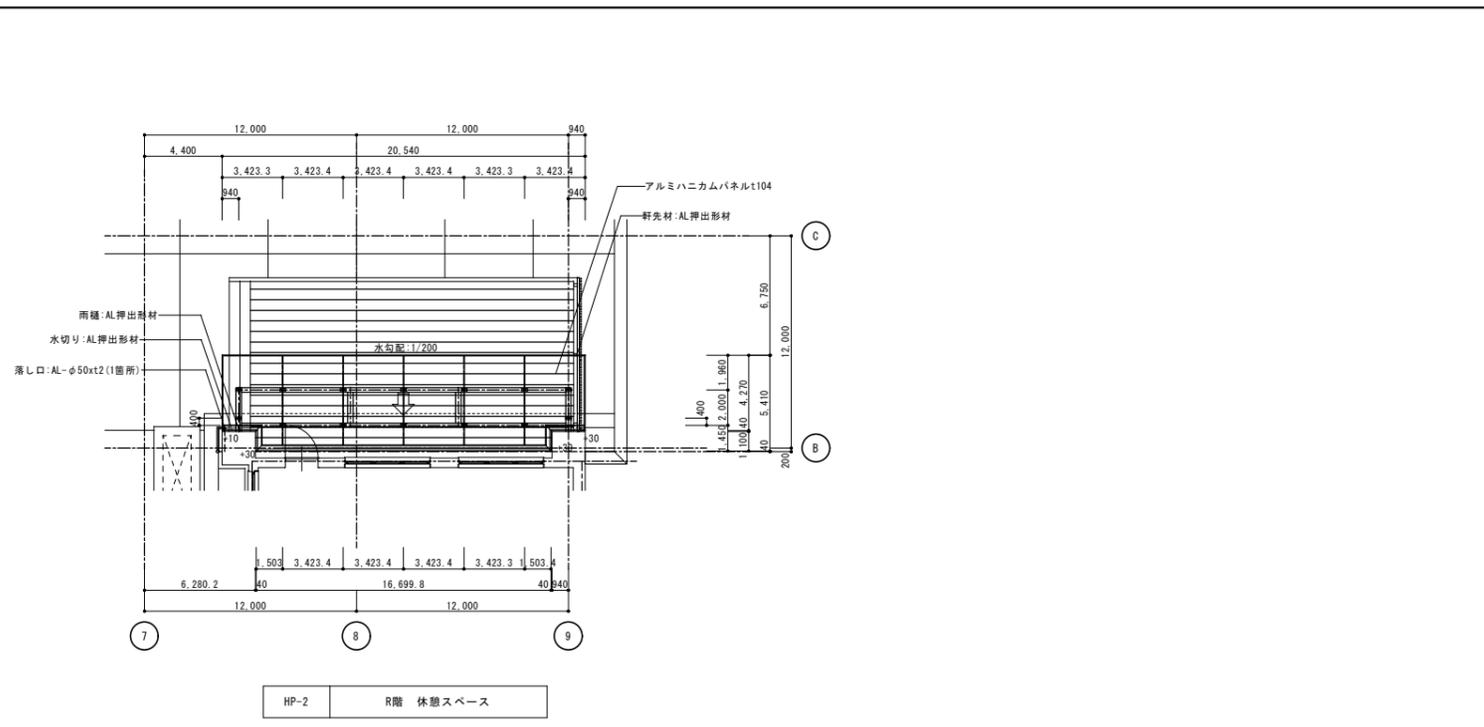
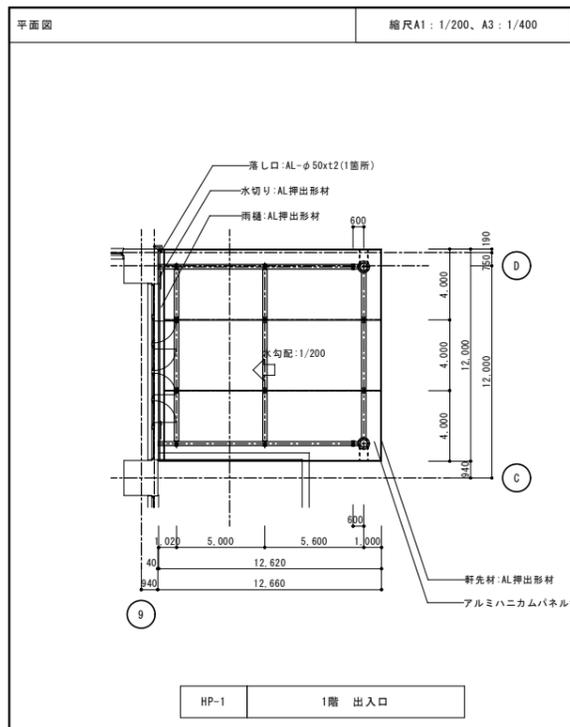


特記事項	株式会社 緯企画設計 一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第335100号 山本 悟一	図名	明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日	2025年 8月	工事名称	(仮称)上下水道庁舎建設工事	図番	A-57
		図面名称	上下水道庁舎 建具詳細図(2)(参考図)	縮尺	A1:1/4 A3:1/8	状態	当初・変更・完成		





	品名	備考
1	ステンレストップ	シルクエンボス
2	シンク下 開き扉	
3	ラウンドシンク	
4	シングルレバー水栓	エコハンドル
5	直管配管排水セット	
6	調理台下 1段引出し、開き扉	
7	コンロ下 開き扉	
8	グリルなし加熱機器 IHヒーター	
9	IHヒーター用仕切り板	
10	ウォールキャビネット W=300	開き扉
11	ウォールキャビネット W=750	開き扉
12	レンジフード シロココファン	W750・シルバー・右勝手・3芯
13	レンジフード用金属幕板	W750・シルバー
14	レンジフード用横幕板	シルバー
15	天井フィラー	



仕様

アルミニウム建築構造協議会
接着ハニカムパネル設計・製作指針にて制作のこと
アルミニウム建築構造製作認定工場 1階製作工場とする。

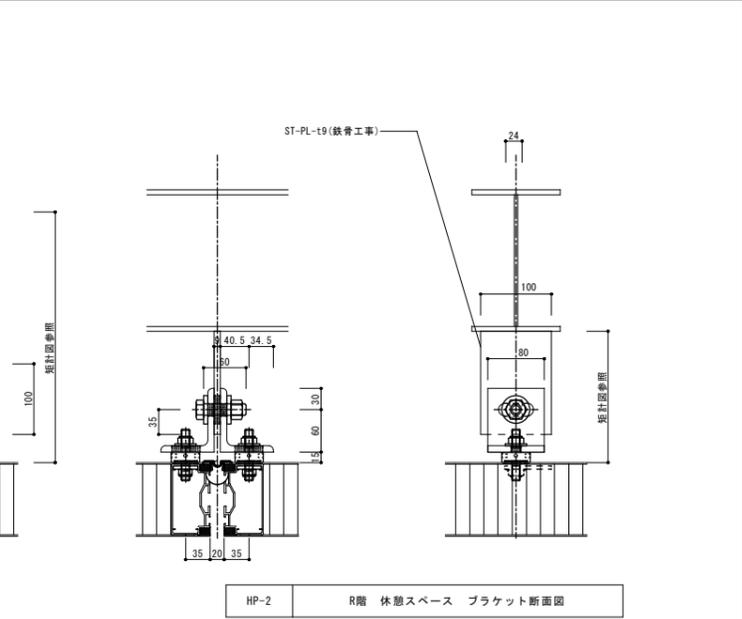
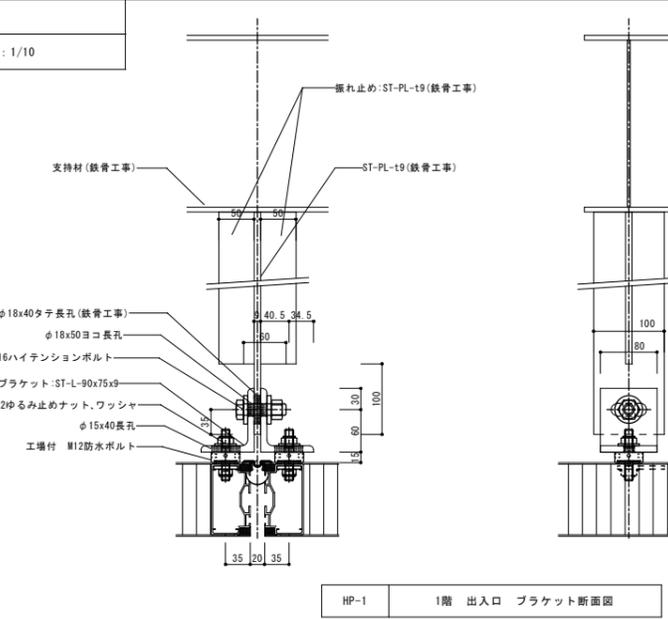
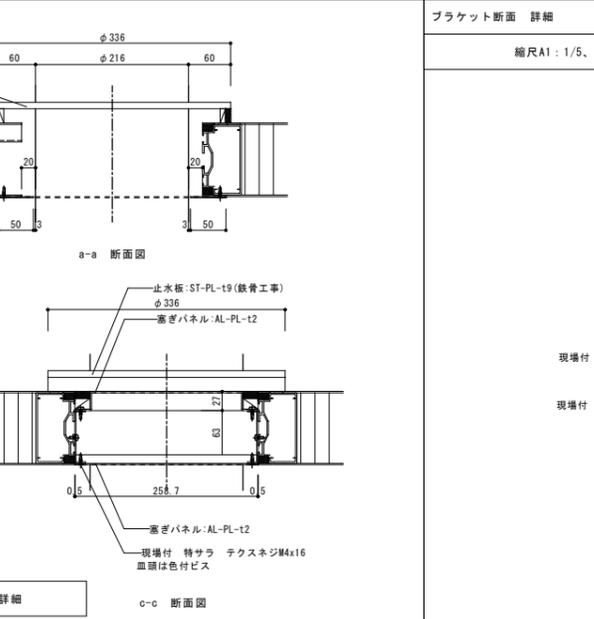
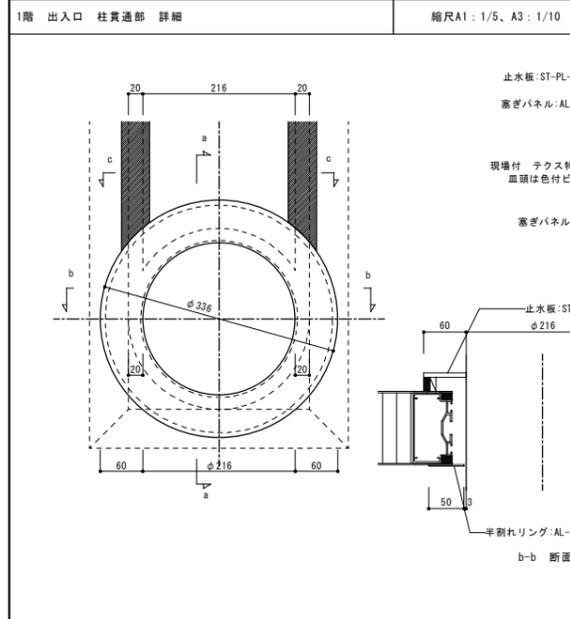
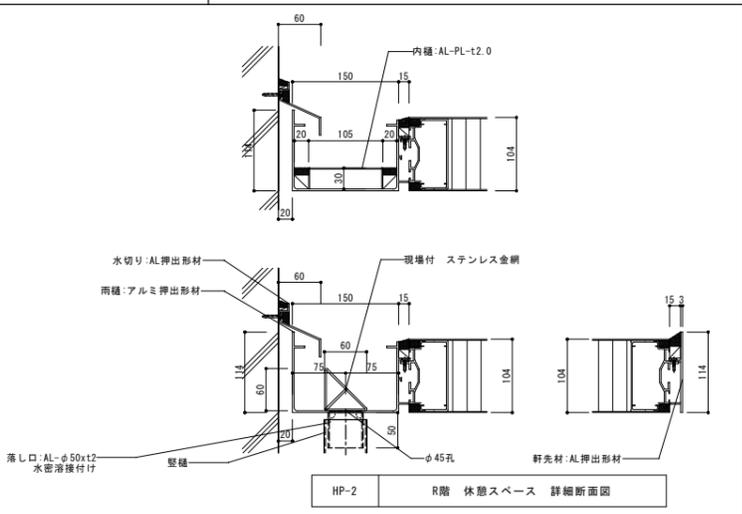
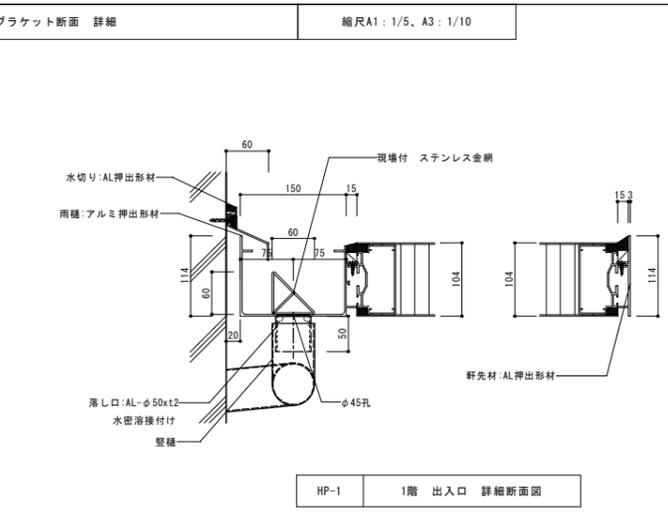
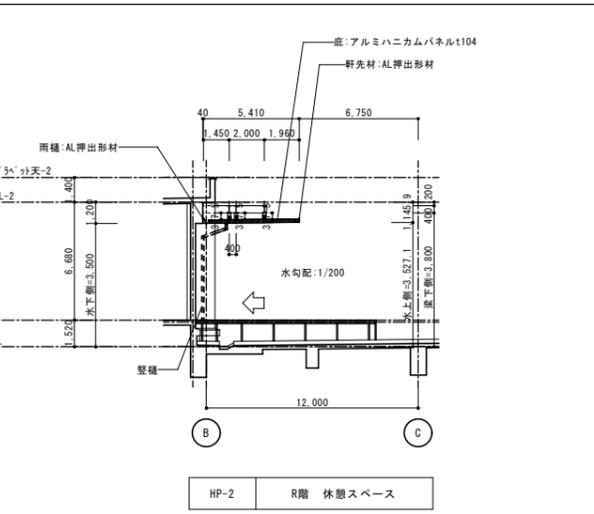
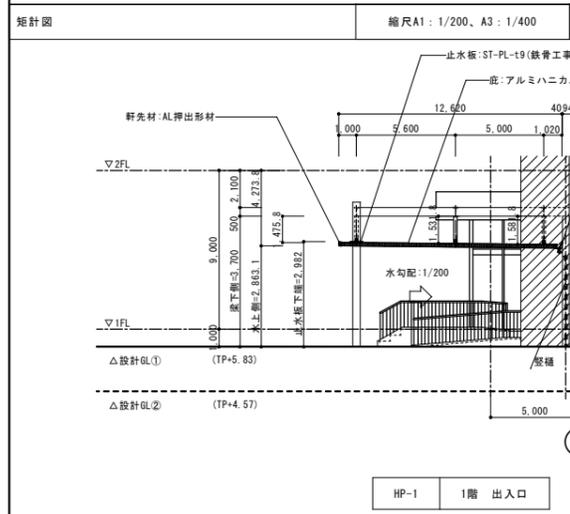
【仕様】
ハニカムパネル厚さ=t104
面板材料:ALt2
表面処理:フッ素樹脂焼付塗装
耐火性は不要

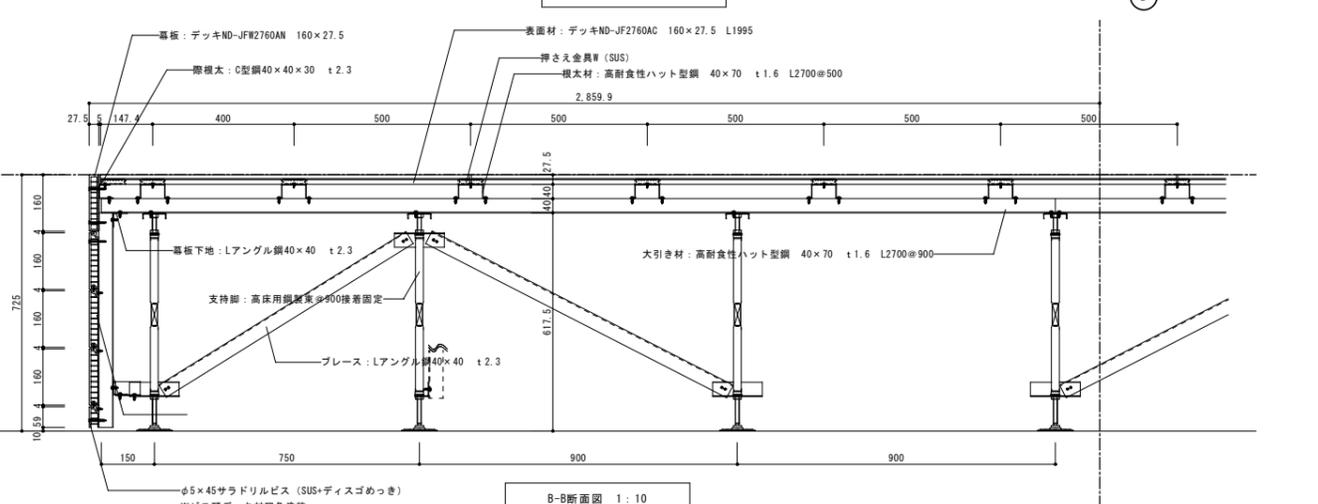
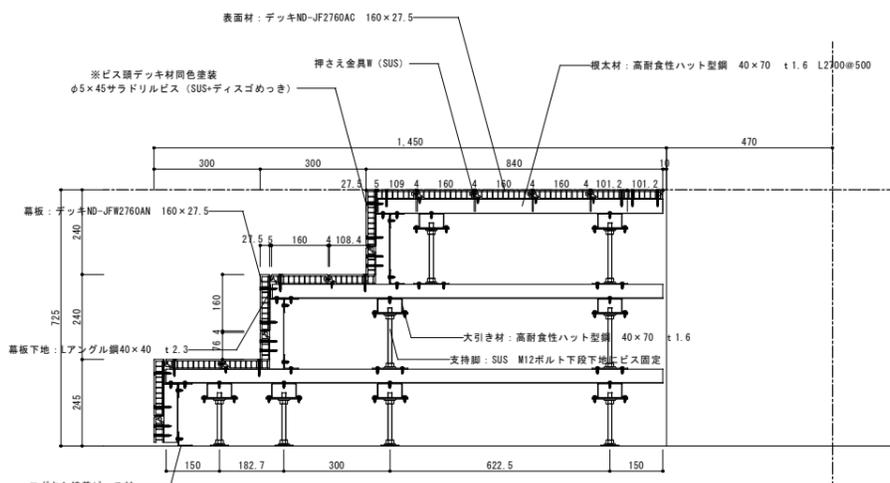
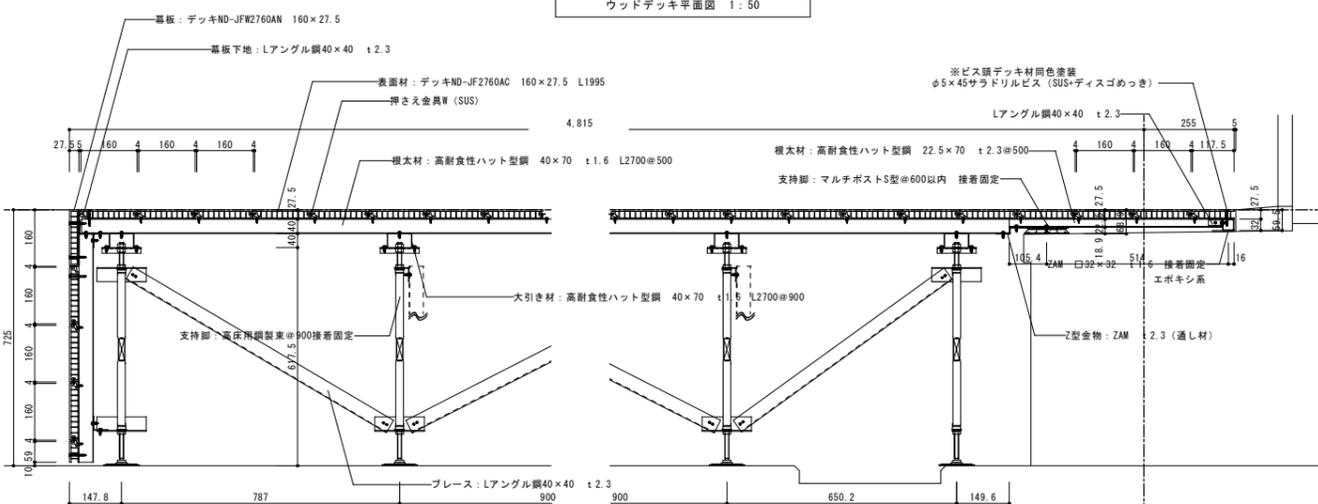
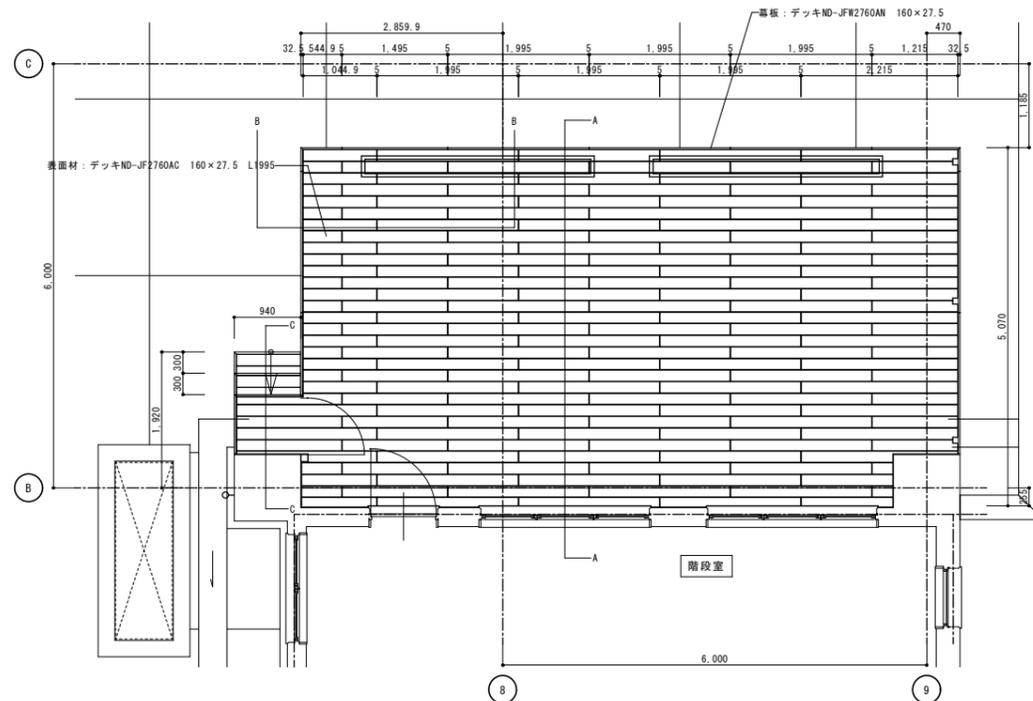
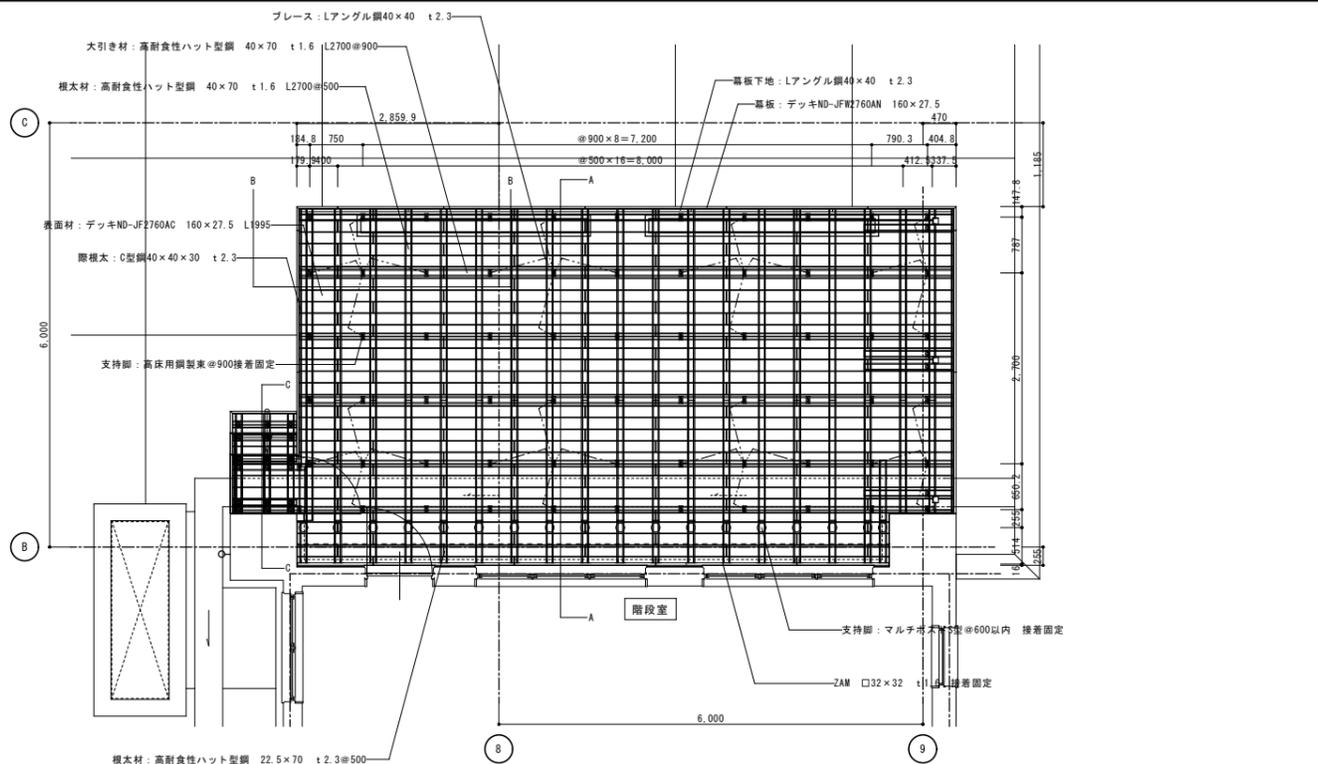
【耐風圧性能】
応高さ=2.8m、建物最高さ=13.9m
再現期間=100年
基準風速=34m/sec 粗度区分=3
(正圧部)吹下風圧力=187N/m²
(一般負圧部)吹上風圧力=230N/m²
(隅角部)吹上風圧力=340N/m²

【積雪深さ】
m² 30cm(600N/)

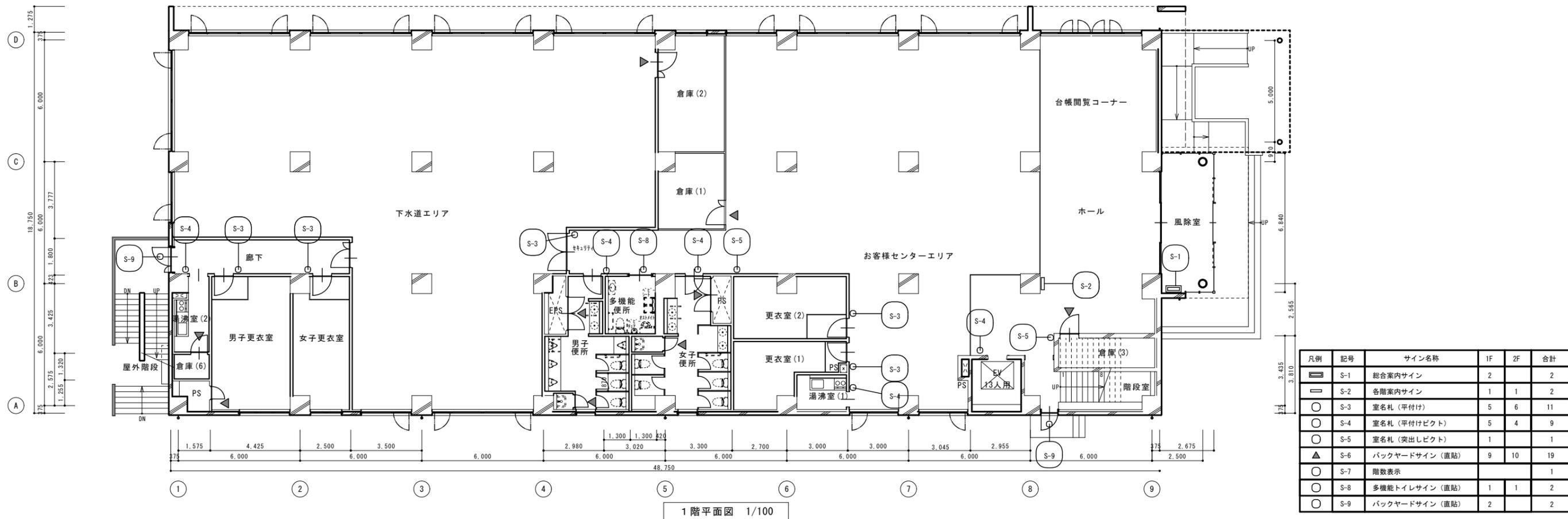
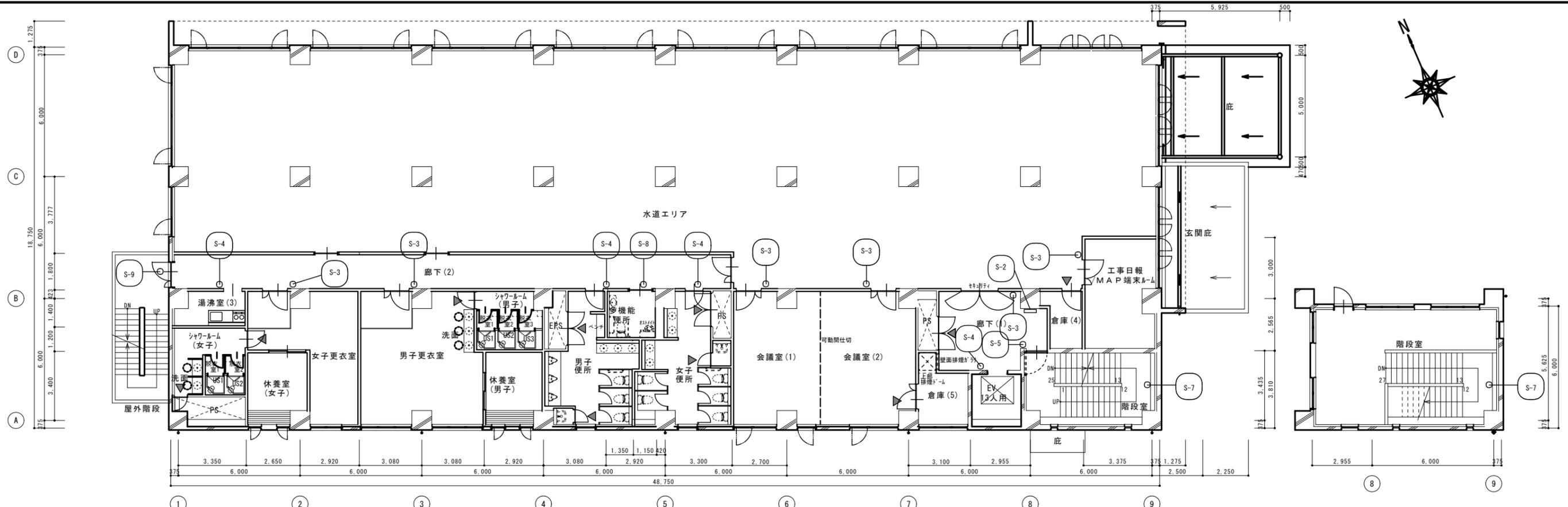
【防水仕様】
※シール劣化を放置しますとアルミニウムハニカムパネル製品に不具合が発生する事があります。
定期的なメンテナンスをお願いします。

【鉄骨メンバー】
鉄骨メンバーにつきましては、構造設計者様によるご決定をお願いいたします。





特記事項	<p>株式会社 緑企画設計 一級建築士事務所 広島県知事登録 25(1)第3394号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第335100号 山本 智一</p>	<p>図名 明石市都市局住宅・建築室営繕課</p>	<p>製作年月日 2025年 8月</p>	<p>工事名称 (仮称)上下水道庁舎建設工事</p>	<p>当初・変更・完成 当初</p>
				<p>図面名称 上下水道庁舎 ウッドデッキ詳細図</p>	<p>縮尺 A1:1/10,50 A3:1/20,100</p>



凡例	記号	サイン名称	1F	2F	合計
■	S-1	総合案内サイン	2	2	2
□	S-2	各階案内サイン	1	1	2
○	S-3	室名札 (平付け)	5	6	11
○	S-4	室名札 (平付けピクト)	5	4	9
○	S-5	室名札 (突出しピクト)	1	1	1
▲	S-6	バックヤードサイン (直貼)	9	10	19
○	S-7	階数表示			1
○	S-8	多機能トイレサイン (直貼)	1	1	2
○	S-9	バックヤードサイン (直貼)	2	2	2

OS-1 自立名称サイン 1/20

取付位置：外構図参照
取付箇所：1箇所

S-1 総合案内サイン 1/10

取付位置：サインキープランによる
取付箇所：1箇所

※図案は打合せによる

S-2 各階案内サイン 1/10

取付位置：サインキープランによる
取付箇所：2箇所

※図案は打合せによる

S-7 階数表示 1/5, 1/10

取付位置：屋内階段 踊り場
取付箇所：2箇所

S-3 室名札(平付け) 1/4, 1/20

S-4 室名札(平付けピクト) 1/4, 1/20

取付位置：サインキープランによる
取付箇所：11箇所(S-3)、9箇所(S-4)

※室名は現場打ち合わせの上最終決定とする。

S-8 多機能トイレサイン(直貼) 1/20

取付位置：サインキープランによる
※1階多機能便所には車イス対応、ベビーチェア、おむつ交換台、オストメイト設備、男女共用お手洗いのピクトサインをカットニングシート貼付けとする。
※2階多機能便所には車イス対応、ベビーチェア、男女共用お手洗いのピクトサインをカットニングシート貼付けとする。
取付箇所：2箇所
ピクトサインイメージ図

※室名は現場打ち合わせの上最終決定とする。

OS-2 身障者Pサイン 1/20

取付位置：外構図参照
取付箇所：1箇所

S-5 室名札(突出シピクト) 1/4

取付位置：サインキープランによる
取付箇所：1箇所(便所)、2箇所(階段)

S-6 バックヤードサイン(直貼) 1/2 1/20

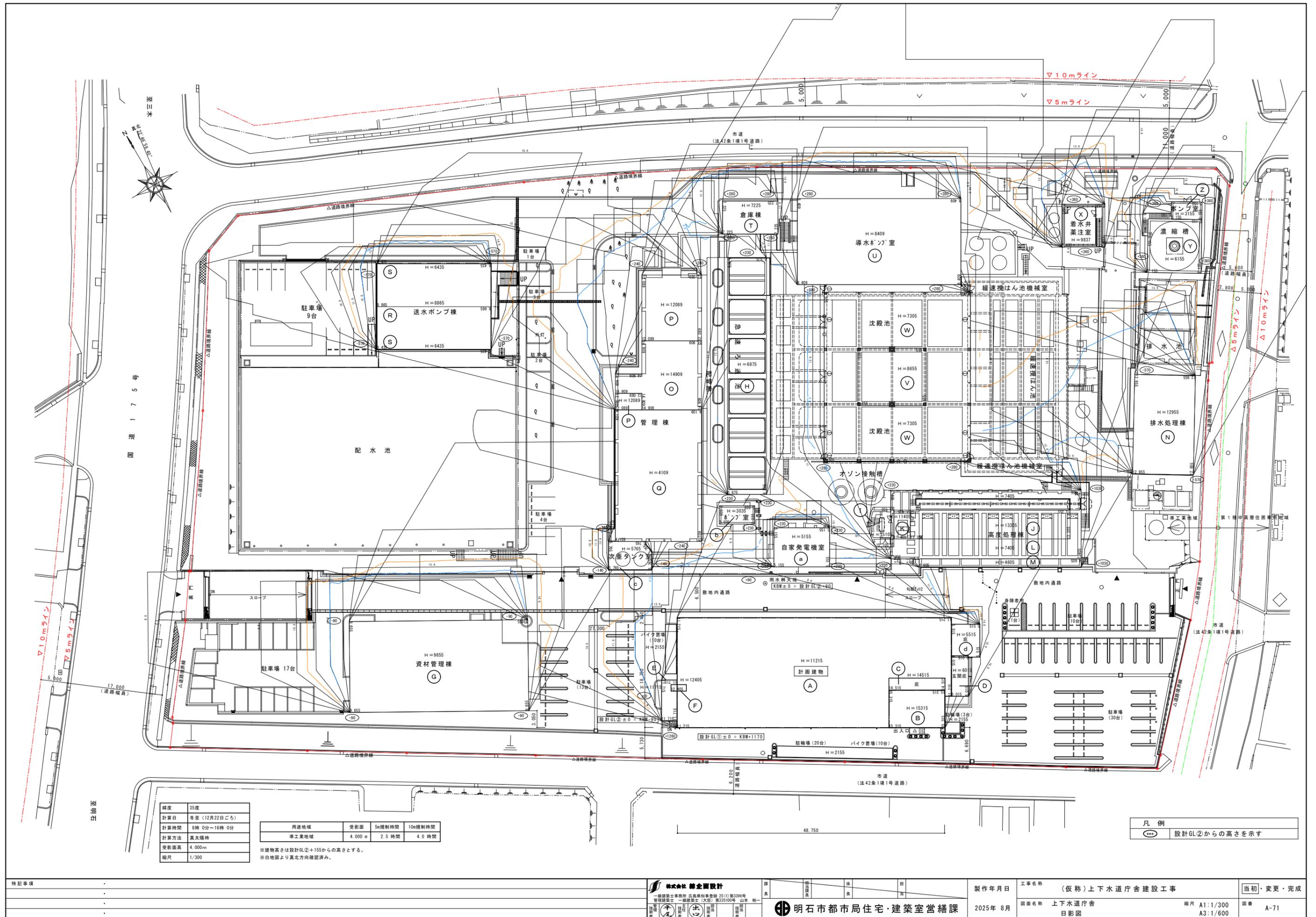
取付位置：サインキープランによる
取付箇所：19箇所

カットニングシート 切文字

S-9 バックヤードサイン(直貼) 1/2 1/20

取付位置：サインキープランによる
取付箇所：3箇所(両面)

カットニングシート 切文字



国道175号

緯度	35度
計算日	冬至(12月22日ごろ)
計算時間	8時0分~16時0分
計算方法	真太陽時
受影面高	4.000m
縮尺	1/300

用途地域	受影面	5m規制時間	10m規制時間
準工業地域	4,000 m	2.5 時間	4.0 時間

※建物高さは設計GL②+155からの高さとする。
 ※白地図より真北方向確認済み。

凡例	設計GL②からの高さを示す
----	---------------

日影長さ表 [緯度 = 35°][冬至]
高さ=11.215(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=7.215(m) [A 計画建物]

時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.706	48.384
8:30	4.246	30.635
9:00	3.144	22.684
9:30	2.527	18.232
10:00	2.145	15.476
10:30	1.898	13.694
11:00	1.743	12.576
11:30	1.656	11.948
12:00	1.629	11.753
12:30	1.656	11.948
13:00	1.743	12.576
13:30	1.898	13.694
14:00	2.145	15.476
14:30	2.527	18.232
15:00	3.144	22.684
15:30	4.246	30.635
16:00	6.706	48.384

日影長さ表 [緯度 = 35°][冬至]
高さ=15.315(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=11.315(m) [B 計画建物]

時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.706	75.878
8:30	4.246	48.043
9:00	3.144	35.574
9:30	2.527	28.593
10:00	2.145	24.271
10:30	1.898	21.476
11:00	1.743	19.722
11:30	1.656	18.738
12:00	1.629	18.432
12:30	1.656	18.738
13:00	1.743	19.722
13:30	1.898	21.476
14:00	2.145	24.271
14:30	2.527	28.593
15:00	3.144	35.574
15:30	4.246	48.043
16:00	6.706	75.878

日影長さ表 [緯度 = 35°][冬至]
高さ=14.515(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=10.515(m) [C 計画建物]

時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.706	70.514
8:30	4.246	44.647
9:00	3.144	33.059
9:30	2.527	26.571
10:00	2.145	22.555
10:30	1.898	19.957
11:00	1.743	18.328
11:30	1.656	17.413
12:00	1.629	17.129
12:30	1.656	17.413
13:00	1.743	18.328
13:30	1.898	19.957
14:00	2.145	22.555
14:30	2.527	26.571
15:00	3.144	33.059
15:30	4.246	44.647
16:00	6.706	70.514

日影長さ表 [緯度 = 35°][冬至]
高さ=6.015(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=2.015(m) [D 計画建物]

時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.706	13.513
8:30	4.246	8.556
9:00	3.144	6.335
9:30	2.527	5.092
10:00	2.145	4.322
10:30	1.898	3.824
11:00	1.743	3.512
11:30	1.656	3.337
12:00	1.629	3.282
12:30	1.656	3.337
13:00	1.743	3.512
13:30	1.898	3.824
14:00	2.145	4.322
14:30	2.527	5.092
15:00	3.144	6.335
15:30	4.246	8.556
16:00	6.706	13.513

日影長さ表 [緯度 = 35°][冬至]
高さ=11.715(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=7.715(m) [E 計画建物]

時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.706	51.737
8:30	4.246	32.758
9:00	3.144	24.256
9:30	2.527	19.496
10:00	2.145	16.549
10:30	1.898	14.643
11:00	1.743	13.447
11:30	1.656	12.776
12:00	1.629	12.568
12:30	1.656	12.776
13:00	1.743	13.447
13:30	1.898	14.643
14:00	2.145	16.549
14:30	2.527	19.496
15:00	3.144	24.256
15:30	4.246	32.758
16:00	6.706	51.737

日影長さ表 [緯度 = 35°][冬至]
高さ=12.405(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=8.405(m) [F 計画建物]

時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.706	56.364
8:30	4.246	35.688
9:00	3.144	26.425
9:30	2.527	21.239
10:00	2.145	18.029
10:30	1.898	15.953
11:00	1.743	14.650
11:30	1.656	13.919
12:00	1.629	13.692
12:30	1.656	13.919
13:00	1.743	14.650
13:30	1.898	15.953
14:00	2.145	18.029
14:30	2.527	21.239
15:00	3.144	26.425
15:30	4.246	35.688
16:00	6.706	56.364

日影長さ表 [緯度 = 35°][冬至]
高さ=9.655(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=5.655(m) [G 資材管理棟]

時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.706	37.922
8:30	4.246	24.011
9:00	3.144	17.779
9:30	2.527	14.290
10:00	2.145	12.130
10:30	1.898	10.733
11:00	1.743	9.857
11:30	1.656	9.365
12:00	1.629	9.212
12:30	1.656	9.365
13:00	1.743	9.857
13:30	1.898	10.733
14:00	2.145	12.130
14:30	2.527	14.290
15:00	3.144	17.779
15:30	4.246	24.011
16:00	6.706	37.922

日影長さ表 [緯度 = 35°][冬至]
高さ=6.875(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=2.875(m) [H ろ過池]

時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.706	19.280
8:30	4.246	12.207
9:00	3.144	9.039
9:30	2.527	7.265
10:00	2.145	6.167
10:30	1.898	5.457
11:00	1.743	5.011
11:30	1.656	4.761
12:00	1.629	4.683
12:30	1.656	4.761
13:00	1.743	5.011
13:30	1.898	5.457
14:00	2.145	6.167
14:30	2.527	7.265
15:00	3.144	9.039
15:30	4.246	12.207
16:00	6.706	19.280

日影長さ表 [緯度 = 35°][冬至]
高さ=15.105(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=11.105(m) [I 高度処理棟]

時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.706	74.470
8:30	4.246	47.152
9:00	3.144	34.914
9:30	2.527	28.062
10:00	2.145	23.820
10:30	1.898	21.077
11:00	1.743	19.356
11:30	1.656	18.390
12:00	1.629	18.090
12:30	1.656	18.390
13:00	1.743	19.356
13:30	1.898	21.077
14:00	2.145	23.820
14:30	2.527	28.062
15:00	3.144	34.914
15:30	4.246	47.152
16:00	6.706	74.470

日影長さ表 [緯度 = 35°][冬至]
高さ=13.355(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=9.355(m) [J 高度処理棟]

時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.706	62.735
8:30	4.246	39.721
9:00	3.144	29.412
9:30	2.527	23.640
10:00	2.145	20.066
10:30	1.898	17.756
11:00	1.743	16.306
11:30	1.656	15.492
12:00	1.629	15.239
12:30	1.656	15.492
13:00	1.743	16.306
13:30	1.898	17.756
14:00	2.145	20.066
14:30	2.527	23.640
15:00	3.144	29.412
15:30	4.246	39.721
16:00	6.706	62.735

日影長さ表 [緯度 = 35°][冬至]
高さ=11.405(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=7.405(m) [K 高度処理棟]

時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.706	49.658
8:30	4.246	31.442
9:00	3.144	23.281
9:30	2.527	18.712
10:00	2.145	15.884
10:30	1.898	14.055
11:00	1.743	12.907
11:30	1.656	12.263
12:00	1.629	12.063
12:30	1.656	12.263
13:00	1.743	12.907
13:30	1.898	14.055
14:00	2.145	15.884
14:30	2.527	18.712
15:00	3.144	23.281
15:30	4.246	31.442
16:00	6.706	49.658

日影長さ表 [緯度 = 35°][冬至]
高さ=7.405(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=3.405(m) [L 高度処理棟]

時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.706	22.834
8:30	4.246	14.458
9:00	3.144	10.705
9:30	2.527	8.604
10:00	2.145	7.304
10:30	1.898	6.463
11:00	1.743	5.935
11:30	1.656	5.639
12:00	1.629	5.547
12:30	1.656	5.639
13:00	1.743	5.935
13:30	1.898	6.463
14:00	2.145	7.304
14:30	2.527	8.604
15:00	3.144	10.705
15:30	4.246	14.458
16:00	6.706	22.834

日影長さ表 [緯度 = 35°][冬至]
高さ=4.605(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=0.605(m) [M 高度処理棟]

時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.706	4.057
8:30	4.246	2.569
9:00	3.144	1.902
9:30	2.527	1.529
10:00	2.145	1.298
10:30	1.898	1.148
11:00	1.743	1.055
11:30	1.656	1.002
12:00	1.629	0.986
12:30	1.656	1.002
13:00	1.743	1.055
13:30	1.898	1.148
14:00	2.145	1.298
14:30	2.527	1.529
15:00	3.144	1.902
15:30	4.246	2.569
16:00	6.706	4.057

日影長さ表 [緯度 = 35°][冬至]
高さ=12.955(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=8.955(m) [N 排水処理棟]

時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.706	60.052
8:30	4.246	38.023
9:00	3.144	28.155
9:30	2.527	22.629
10:00	2.145	19.208
10:30	1.898	16.977
11:00	1.743	15.609
11:30	1.656	14.829
12:00	1.629	14.588
12:30	1.656	14.829
13:00	1.743	15.609
13:30	1.898	16.977
14:00	2.145	19.208
14:30	2.527	22.629
15:00	3.144	28.155
15:30	4.246	38.023
16:00	6.706	60.052

日影長さ表 [緯度 = 35°][冬至]
高さ=14.909(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=10.909(m) [O 管理棟]

時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.706	73.156
8:30	4.246	46.320
9:00	3.144	34.298
9:30	2.527	27.567
10:00	2.145	23.400
10:30	1.898	20.705
11:00	1.743	19.014
11:30	1.656	18.065
12:00	1.629	17.771
12:30	1.656	18.065
13:00	1.743	19.014
13:30	1.898	20.705
14:00	2.145	23.400
14:30	2.527	27.567
15:00	3.144	34.298
15:30	4.246	46.320
16:00	6.706	73.156

日影長さ表 [緯度 = 35°][冬至]
高さ=12.089(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=8.089(m) [P 管理棟]

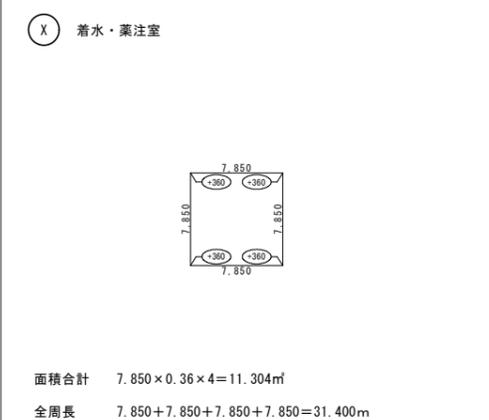
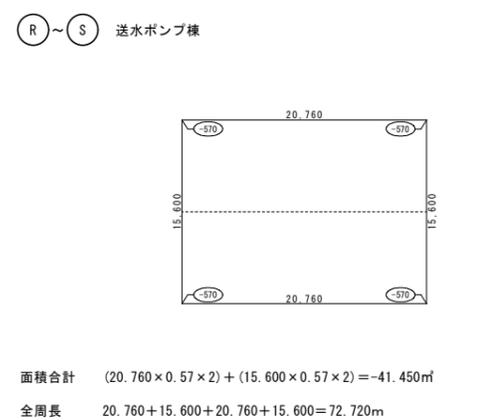
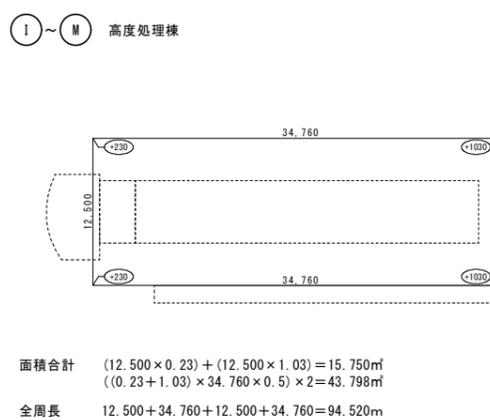
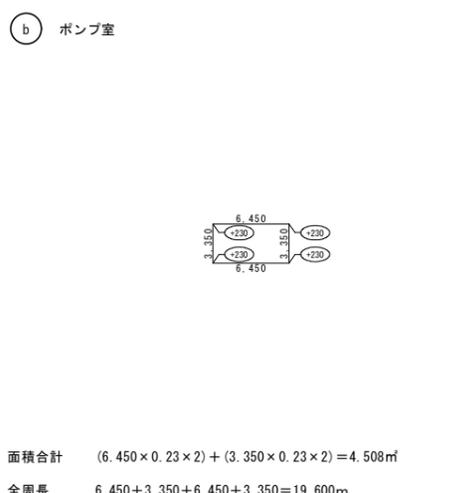
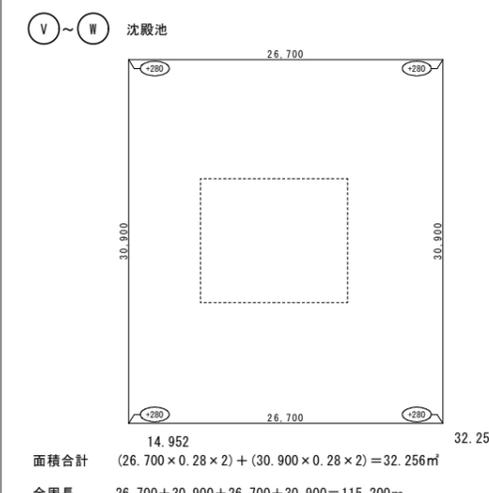
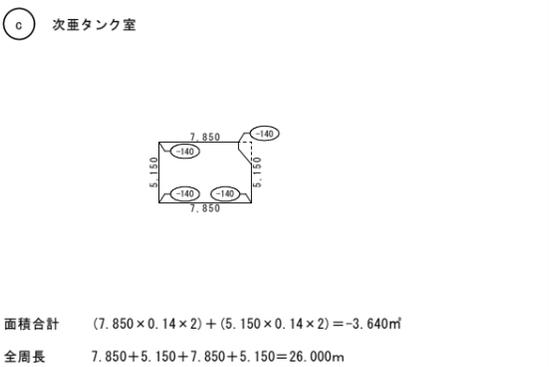
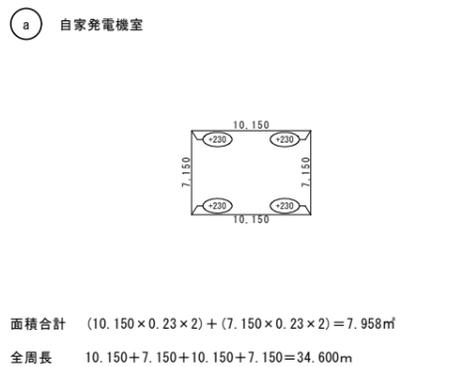
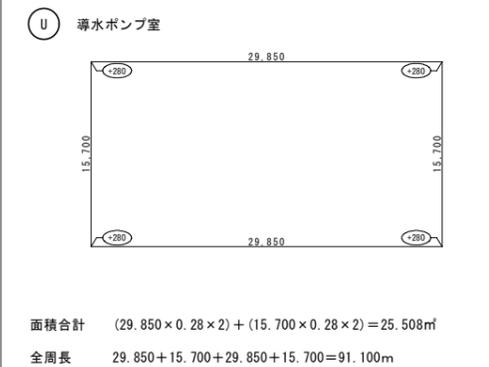
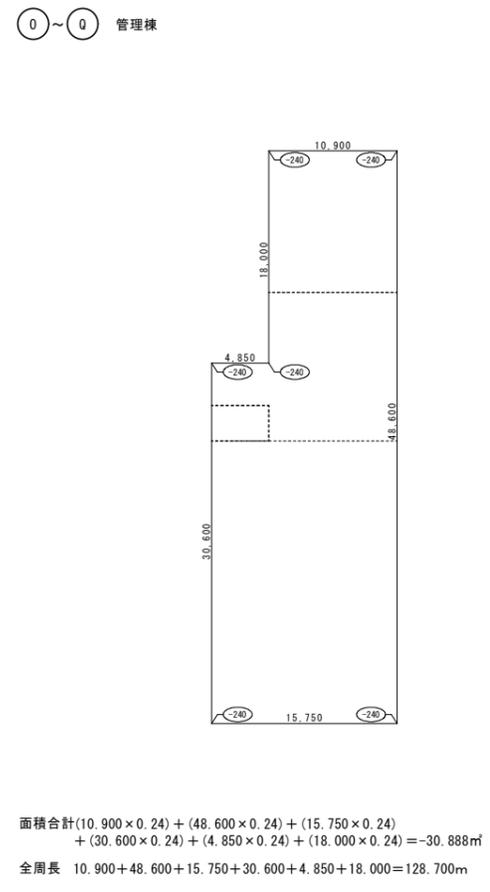
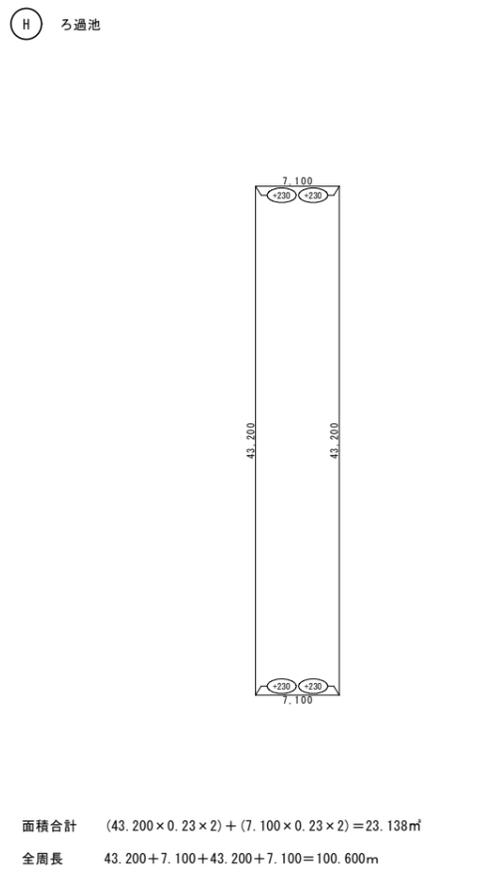
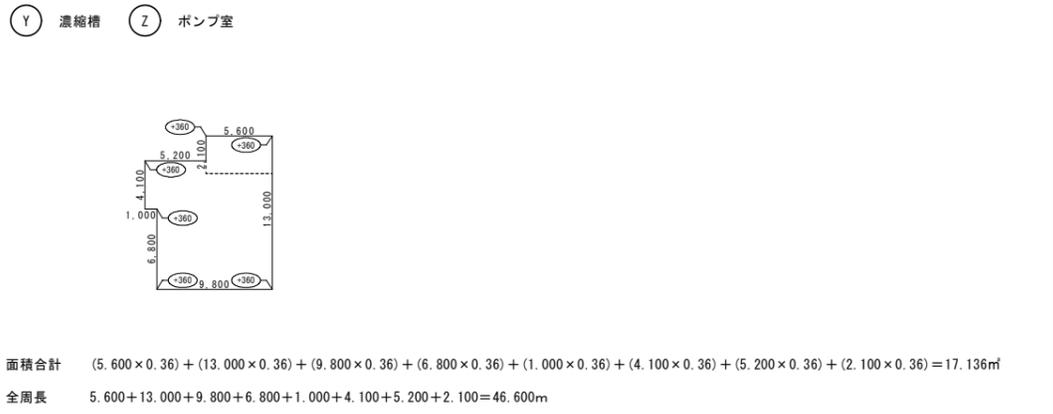
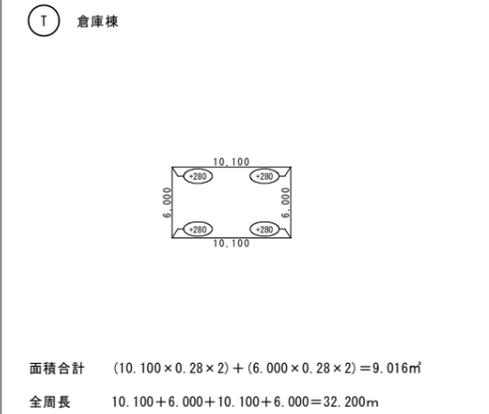
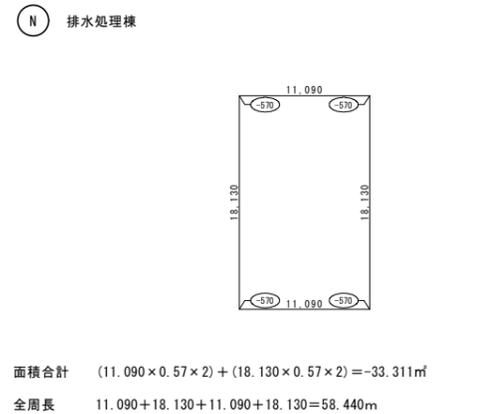
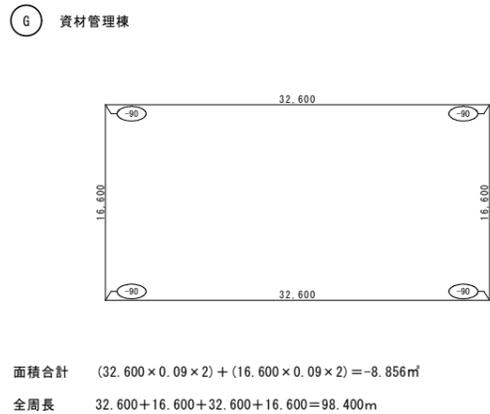
時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.706	54.245
8:30	4.246	34.346
9:00	3.144	25.432
9:30	2.527	20.441
10:00	2.145	17.351
10:30	1.898	15.353
11:00	1.743	14.099
11:30	1.656	13.395
12:00	1.629	13.177
12:30	1.656	13.395
13:00	1.743	14.099
13:30	1.898	15.353
14:00	2.145	17.351
14:30	2.527	20.441
15:00	3.144	25.432
15:30	4.246	34.346
16:00	6.706	54.245

日影長さ表 [緯度 = 35°][冬至]
高さ=4.109(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=0.109(m) [Q 管理棟]

時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.706	0.731
8:30	4.246	0.463
9:00	3.144	0.343
9:30	2.527	0.275
10:00	2.145	0.234
10:30	1.898	0.207
11:00	1.743	0.190
11:30	1.656	0.181
12:00	1.629	0.178
12:30	1.656	0.181
13:00	1.743	0.190
13:30	1.898	0.207
14:00	2.145	0.234
14:30	2.527	0.275
15:00	3.144	0.343
15:30	4.246	0.463
16:00	6.706	0.731

日影長さ表 [緯度 = 35°][冬至]
高さ=8.865(m) 測定面高さ=4(m)
計算高さ=4.865(m) [R 送水ポンプ棟]

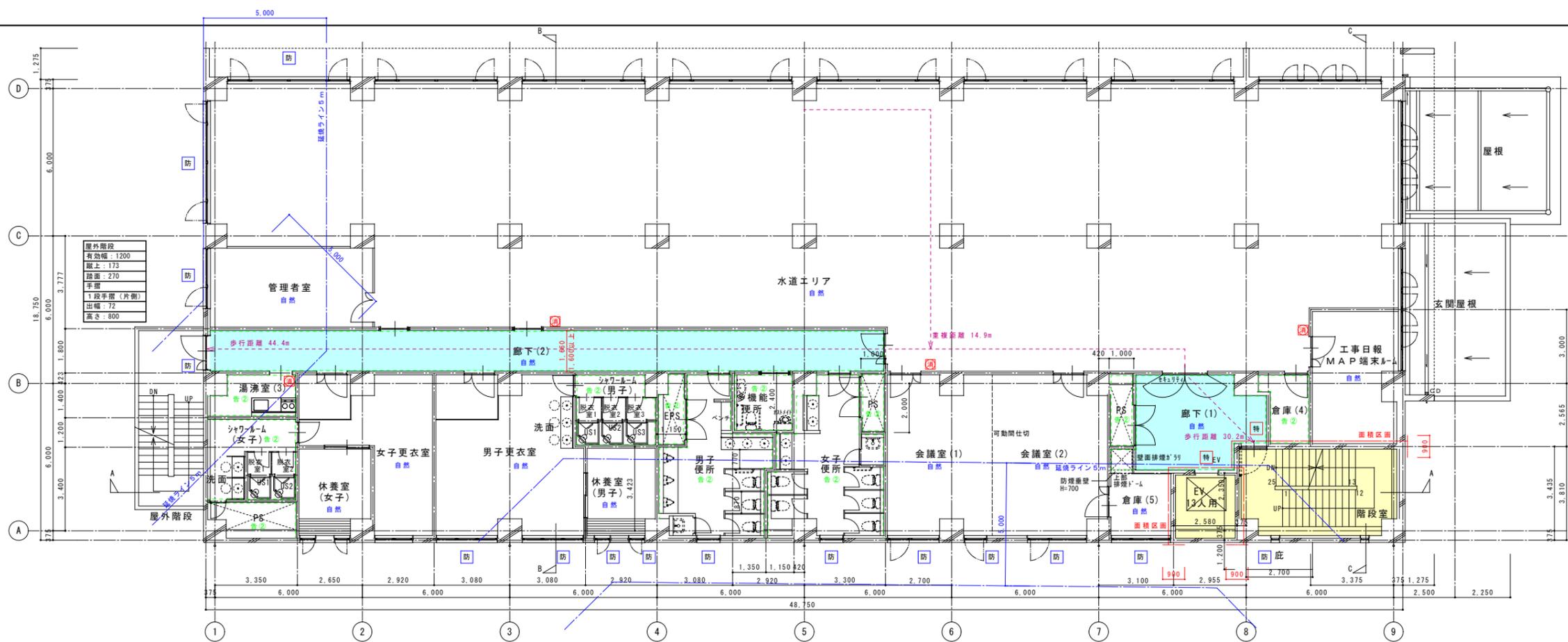
時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.706	32.625
8:30	4.246	20.657
9:00	3.144	15.296
9:30		



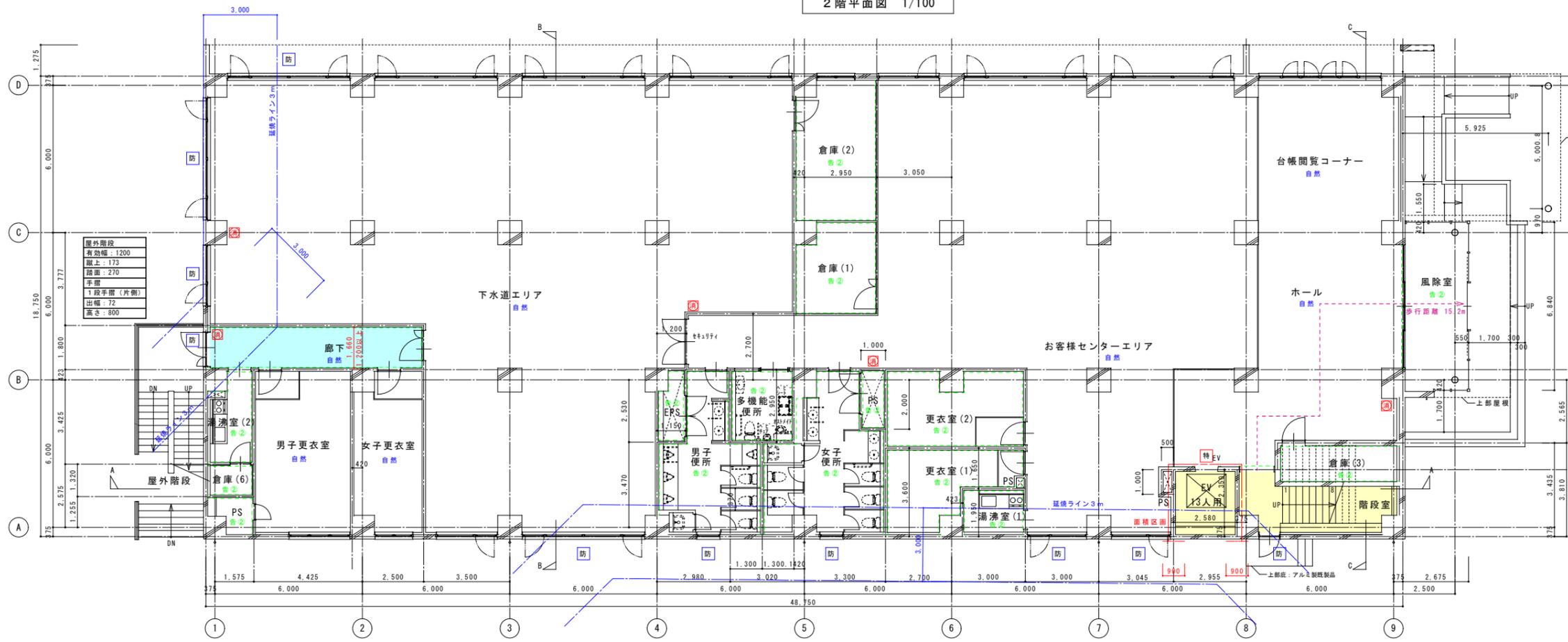
平均地盤面の計算

面積合計 96.561 (申請建物) $-8.856 + 23.138 + 15.750 + 43.798 - 33.311 - 30.888 - 41.450 + 9.016 + 25.508 + 32.256 + 11.304 + 17.136 + 7.958 + 4.508 - 3.640 = 168.788\text{m}^2$
 全周長 135.760 (申請建物) $+98.400 + 100.600 + 94.520 + 58.440 + 128.700 + 72.720 + 32.200 + 91.100 + 115.200 + 31.400 + 46.600 + 34.600 + 19.600 + 26.000 = 1,085.840\text{m}$
 平均地盤面 $168.788 \div 1,085.840 = 0.155444\text{m}$
 よって平均地盤面=設計G L ②+155

凡例
 (***): 設計G L ②からの高さを示す



2階平面図 1/100



1階平面図 1/100

屋外階段

有効幅	1200
屋上	173
踏面	270
手摺	1段手摺(片側)
出幅	72
高さ	800

屋内階段

有効幅	1465
屋上	180
踏面	270
手摺	1段手摺(両側)
出幅	72
高さ	800

ベビーチェア設置表

用途	用途別面積 (㎡)	設置数	
既存	工場	5,709.98	-
増築	官公署	1,980.16	1

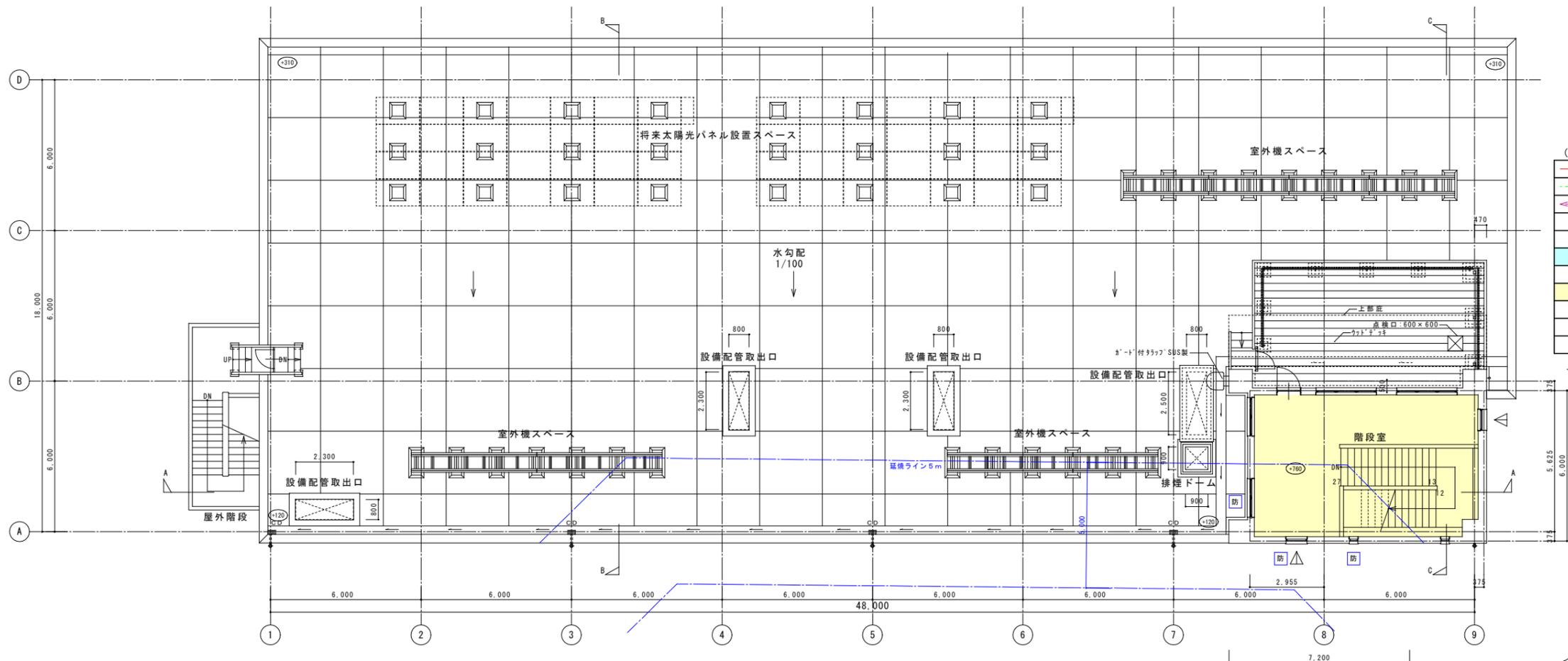
(凡例)

面積区画 (耐火1時間)
防煙区画 (防煙垂壁: 1F=500~800、2F=500~700)
避難経路
特 特定防火設備 (遮煙・随閉(煙感))
特Ev 特定防火設備 (遮煙) (EV扉)
防 防火設備
自然排煙設備 (廊下)
自然排煙設備 (居室・室)
排煙免除 令126条の2第1項3号
排煙免除 告1436-4-(2)
消火器
非常用進入口 代替進入口

■歩行距離 (内装不燃材料とする)
 【1階(避難階)】 【2~3階】
 ・一般居室 歩行距離 ≤ 100m
 ・一般居室 歩行距離 ≤ 50m + 10m (内装準不燃)
 ・無窓居室: 該当無し 重複距離 ≤ 25m + 5m (内装準不燃)
 ・階段 歩行距離 ≤ 50m
 ・無窓居室: 該当無し

屋内階段

有効幅	1465
屋上	180
踏面	270
手摺	1段手摺(両側)
出幅	72
高さ	800



(凡例)

	面積区画 (耐火1時間)
	防煙区画 (防煙垂壁: 1F=500~800、2F=500~700)
←	避難経路
	特定防火設備 (遮煙・随閉(煙感))
	防火設備
	自然排煙設備 (廊下)
	自然排煙設備 (居室、室)
	排煙免除 令126条の2第1項3号
	排煙免除 告1436-4-A(2)
	消火器
	非常用出入口 代替出入口

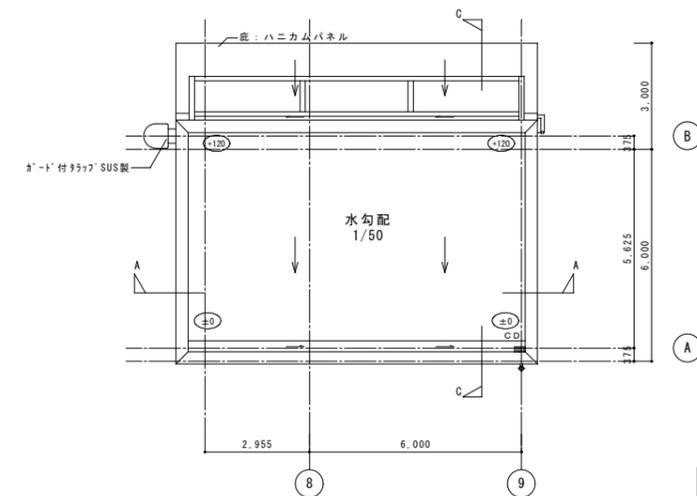
屋内階段

有効幅: 1465
蹴上: 180
踏面: 270
手摺: 1段手摺 (両側)
出幅: 72
高さ: 800

3階平面図、屋根伏図 1/100

耐火リスト

梁	柱	屋根	梁	風除室屋根
RC造 (1時間耐火)	RC造 (1時間耐火)	RC造 (30分耐火) スラブ厚70mm以上	S造 (1時間耐火) ロックウール吹付25mm以上 認定番号: FP060BM-9408	S造 (30分耐火)
建告第1399号第4第四号口	建告第1399号第2第四号口	建告第1399号第5第一号	建築基準法施行令第107条第一号	建告第1399号第5第二号
床	階段	壁	柱	
RC造 (1時間耐火) スラブ厚70mm以上	RC造 (30分耐火)	RC造 (1時間耐火)	S造 (1時間耐火) ロックウール吹付25mm以上 認定番号: FP060CN-9460	
建告第1399号第3第三号イ	建告第1399号第6第一号	建告第1399号第1第三号イ	建築基準法施行令第107条第一号	



3階屋根伏図 1/100

Ⓜ RFLからの仕上げ高さを示す

Ⓜ RFL-2からの仕上げ高さを示す